令和3年度

主 要 施 策 の 成 果

北　栄　町

目　　　　次

○　一般会計

議会事務局、監査委員事務局 ・・・・ 1
総務課 ・・・・・・・・・・・・・・ 4
企画財政課 ・・・・・・・・・・・・ 14
町民課 ・・・・・・・・・・・・・・ 20
福祉課 ・・・・・・・・・・・・・・ 26
健康推進課 ・・・・・・・・・・・・ 39
環境エネルギー課 ・・・・・・・・・ 48
農業委員会 ・・・・・・・・・・・・ 53
産業振興課 ・・・・・・・・・・・・ 56
観光交流課 ・・・・・・・・・・・・ 71
地域整備課 ・・・・・・・・・・・・ 75
教育総務課 ・・・・・・・・・・・・ 81
生涯学習課 ・・・・・・・・・・・・ 95
中央公民館 ・・・・・・・・・・・・106
図書館 ・・・・・・・・・・・・110

その他
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 ・・・・・・・・・・・113

○　特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計 ・・・・ 117
介護保険事業特別会計 ・・・・・・ 119
農業集落排水事業特別会計・・・・・124
栄財産区特別会計 ・・・・・・・・ 125
合併処理浄化槽事業特別会計 ・・・ 126
大栄歴史文化学習館特別会計 ・・・ 127
後期高齢者医療事業特別会計 ・・・ 129
水道事業会計・・・・・・・・・・・・130
下水道事業会計 ・・・・・・・・・・ 132
風力発電事業会計・・・・・・・・・・134

○ 資 料 編

令和3年度各会計別決算状況 ・・・ 137
令和3年度普通会計決算状況 ・・・ 138
財政状況・財政指標の推移 ・・・・ 143
財政健全化判断比率等の状況 ・・・ 148
財政健全化判断比率の推移 ・・・・ 156

款	1　議会費	項	1　議会費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　議会費	96,656千円	95,960千円

①議員経費事業　　　　　　　　1，２０２千円

（１）本会議の開催状況

区　分		R3年									R4年	
		第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第1回	第2回
		臨時会	定例会	臨時会	臨時会	定例会	臨時会	臨時会	臨時会	定例会	臨時会	定例会
招集日		4/12	6/4	7/9	8/2	9/1	10/12	10/25	11/11	12/6	1/18	3/7
会　期		1日	13日	1日	1日	15日	1日	1日	1日	12日	1日	16日
会議日数		1日	5日	1日	1日	5日	1日	1日	1日	5日	1日	6日
議案	町長提出	4件	13件	2件	1件	26件	9件	3件	1件	16件	2件	34件
	委員会提出	0件	2件	0件	0件	5件	0件	0件	0件	2件	0件	2件
	議員提出	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	1件
一般質問		－	7人	－	－	5人	－	－	－	11人	－	11人
		－	16問	－	－	10問	－	－	－	27問	－	21問
傍聴者数		0人	11人	1人	0人	22人	2人	1人	0人	60人	0人	23人

（２）委員会、全員協議会の開催状況

区　分	全員協議会	議会運営委員会	広報広聴常任委員会	総務教育常任委員会	民生経済常任委員会
会議日数	19日	18日	24日	5日	5日

区　分	特別委員会	
	道の駅整備	北条川放水路
会議日数	2日	0日

（３）請願・陳情状況

区　分	受理件数	審査件数	その他
請　願	3件	3件	0件
陳　情	14件	10件	0件

（４）意見書提出状況
　　提出件数　　10件

（５）議会決議提出状況
　　提出件数　2件

（６）調査研究活動及び議員研修旅費　　　43千円
- 鳥取県町村議会広報研修会（湯梨浜町）　　【議員2人】
- 鳥取県町村議会議員研修会（三朝町）　　【全議員】
- 鳥取県町村議会女性議員研修会（湯梨浜町）　　【議員2人】
- 北栄町議会議員研修（北栄町：大栄農村環境改善センター）　　【全議員】
- 市町村議会議員研修（滋賀県大津市）　　【議員1人】
- 災害現場視察（北栄町内）　　【議員10人】

勤労者体育センター法面崩落の状況を確認

双子池決壊による農業被害を確認

・総務教育常任委員会と大谷こども園関係者との意見交換会
（北栄町：大栄農村環境改善センター）　【委員8人】
・新議員事業・予算研修会（北栄町：役場）【議員6人】
・タブレット研修（北栄町：議場）　【全議員】

タブレット研修

（７）議長交際費　46千円
議長または議会が行政執行上必要な外部との交際に要した経費
慶弔費等　6件

（８）高校生議会
鳥取中央育英高等学校生徒による高校生議会21人の高校生が参加し、一般質問(15問）を実施。
議長（1人）・高校生議員（20人）

（９）議会だより発行事業　1,113千円
議会の情報公開を図った。
発行回数　年3回　発行部数　5,400部

【成果】　議会だよりを発行し、情報公開、情報発信を積極的に行った。
高校生議会を開催し、若い世代に町政への関心を持ってもらうよう努めた。
新型コロナウイルス感染状況により、予定していた研修会に参加できないなどあったが、参加できる研修には積極的に参加し、また自己研鑽することで資質の向上を図り、適正で効率的な議会運営に努めた。

②事務局経費事業　４，９０２千円
・会議録調製並びに検索システム委託　4,427千円
定例会・臨時会の会議録を調製し、ホームページで公開した。

【成果】　議会の情報公開、情報発信を広く行うことができた。
（議長交際費の公開、会議結果の公表等）

③議会関係負担金事業　１，８４９千円
・県議長会負担金　1,721千円
・中部議長会負担金　128千円

高校生議会

款	2　総務費	項	6　監査委員費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　監査委員費	1,113千円	1,095千円

①監査委員事業　　　　　　　　　１，０９５千円

（１）監査委員　2人
・識見監査委員（代表監査委員）
・議会選出監査委員

現金等価物実査

（２）活動状況

○検査
・例月現金出納検査　12回（毎月1回）
・現金及び現金等価物実査　　（年1回）

○監査
・定期監査　（年2回）
5月
・委託状況について

定期監査報告

11月
・補助金状況について
・工事状況について
・現場確認（風車倉庫）

○審査
・決算審査　（12会計）
・基金の運用状況審査　（16件）
・普通会計の財政健全化審査　（2件）
・公営企業会計の経営健全化審査　（1件）

決算審査　調書の聞き取り

○各種研修会
・鳥取県町村監査委員研修会：2回（湯梨浜町）
・中部町村監査委員協議会研修会：2回　（三朝町・琴浦町）

【成果】　年間監査計画を作成し、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営確保のため、計画的に監査を実施した。監査結果は講評や町長報告によりフィードバックしたほか、告示、ホームページ、町報により町民に向けて公表した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	1 一般管理費	1,262,564千円	1,215,756千円

①一般管理事業　８８，８７８ 千円

・職員研修関係　1,964 千円

団体等が実施する各種研修に参加させたほか、町単独で財政研修等を実施した。

（研修参加の状況）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
中央研修	6人	2人	3人
実務研修（県外）	8人	0人	0人
県自治研修	65人	92人	43人
町単独研修	693人	799人	272人

・町長交際費　550 千円

（交際費の支出件数）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
支出件数	117件	32件	28件

・電話、郵便代等通信運搬費　16,302 千円
・職員健康診断経費（ドック含む）　4,594 千円
・公共施設産業廃棄物収集委託料　2,581 千円

【成果】職員を各種の研修に参加させ、職員の資質の向上及び能力開発を行ったが、新型コロナ感染防止による研修参加自粛を行ったため受講者数は大きく減少した。

②電算処理委託事業　５５，６１５ 千円

公会計、住基、税務、上下水道、介護保険、給与、農業行政、国民健康保険、保育料、特別医療、後期高齢、選挙、町営住宅などの業務処理に係る経費を支出。

基幹システム運用委託：（株）鳥取県情報センター

【成果】各業務の電算処理委託によって、事務の効率化を図った。

③一般管理関係負担金事業　２，４９９ 千円

・県、中部町村会負担金　2,463 千円
・行政不服審査会共同設置負担金　24 千円

【成果】各種団体等への負担を行い、事務運営等の効率化を図った。

④事務用品一括購入事業　３，０２３ 千円

・事務用品等消耗品費　3,023 千円

【成果】事務用品等の一括購入により、各部署での購入事務・経費を節減した。

⑤鳥取県中部ふるさと広域連合負担金事業　２３，１５０ 千円

・管理費（一般管理費、議会費、監査委員費等）19,051 千円
・休日急患診療所及び病院群輪番制病院運営費　4,099 千円

【成果】休日急患診療所等の運営に対して負担することにより、運営体制を維持した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	3 会計管理費	287千円	271千円

①会計管理事業　２７１ 千円

銀行オンラインシステム回線使用料、事務用品の購入に要した経費

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 財産管理費	474,495千円	468,331千円

①町有財産管理事業　　　　　　　　　　　１６,７０８ 千円
- 町有建物災害共済保険料　　　　6,649 千円
- 町有施設電気設備保安委託料　　4,339 千円

②大栄庁舎管理事業　　　　　　　　　　　１５,９９４ 千円

大栄庁舎の維持管理をするとともに、施設の老朽化に伴う修繕などを行った。
- 修繕費（施設修繕）　　　　　　　　　　　　862 千円
- 委託料（清掃、冷暖房機保守、植木管理など） 5,697 千円
- 庁舎及び改善センター自動ドア改修工事　　　957 千円
- 備品購入費（事務イス、書類ケースなど）　　1,040 千円

【成果】管理・修繕を行い、業務の円滑な推進に寄与した。

③公用車管理事業　　　　　　　　　　　　４,５５２ 千円

各課が共有して利用する公用車の管理を行った。主な経費は次のとおり。
- 自動車損害共済保険料　　1,281 千円
- 公用車修繕費　　　　　　840 千円

（大栄庁舎集中管理車両）

区　　分	R1年度	R2年度	R3年度
普通乗用自動車	3台	3台	3台
軽自動車	9台	9台	13台

④コナン駅前広場等管理事業　　　　　　　１,９５２ 千円

コナン駅前広場及び旧鳥取県運転免許試験場の維持管理を実施した。
主な経費は次のとおり。
- 修繕費(建物・設備)　　　　184 千円
- トイレ清掃委託料　　　　1,247 千円

⑤防災無線維持管理事業　　　　　　　　　７,４４３ 千円

防災行政無線の維持管理等を行った。主な経費は次のとおり。
- 防災無線保守点検業務委託料　　2,640 千円
- 備品購入費（個別受信機96台）　3,485 千円
- 屋外拡声器バッテリー更新　　　　825 千円

(戸別受信機の設置状況)

区　　分	R1年度末	R2年度末	R3年度末
一般家庭	4,910台	4,945台	4,996台
企業等	59台	58台	61台
自治会・公共施設	136台	136台	136台

【成果】　防災行政無線設備を維持管理することにより、情報伝達手段の確保を図った。

⑥天神いこいの広場管理事業　　　　　　　３,０７４ 千円

天神いこいの広場の維持管理を行った。主な経費は次のとおり。
- 光熱水費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　89 千円
- 修繕費（遊具修繕・撤去及びレンガ花壇修繕等）　2,451 千円
- 維持管理委託料（みどり2区）、トイレ清掃委託料　526 千円

⑦天神桜づつみ管理事業　　　　　　　　　　３２０ 千円

天神桜づつみ（2か所）の維持管理を行った。主な経費は次のとおり。
- 維持管理委託料（江北／東新田場）　　　　320 千円

⑧北条多目的広場管理事業　　　　　　５，１１９ 千円

北条多目的広場に町民ボランティアの協力で芝生の植付作業を行うなど、広場の整備・維持管理を行った。

- 芝生維持管理委託料　　　　　648 千円
（芝刈、散水、施肥等）
- 広場整備等工事請負費　　　2,842 千円
（土壌改良、電気設備、散水栓設置等）
- 芝生ポット購入　　　　　　　528 千円

旧テニスコートを芝生化
（北条地区こども園・小学校交流事業）

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	5 北条庁舎管理費	6,585千円	5,605千円

①北条庁舎管理事業　　　　　　５，６０５ 千円

旧北条庁舎の維持管理の警備、事務等に必要な経費を支払った。

- 光熱水費　　　　　　　　　　　　　　　3,524 千円
- 修繕費（駐車場外灯交換、車庫壁修繕等）　783 千円
- 施設管理委託料（警備、清掃、消防設備等）　1,278 千円
- 鳥取中部ふるさと広域連合事務所経費負担金（町収入）

R1年度	R2年度	R3年度
3,406千円	4,215千円	4,210千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	6 北条支所管理費	5,070千円	3,955千円

①北条支所管理事業　　　　　　２，６８４ 千円

北条支所としての総合窓口業務と北条健康福祉センターの維持管理を行った。

- 光熱水費　　　　　　　　　　　　　　　850 千円
- 施設管理委託料（警備、消防設備、清掃等）　493 千円

（窓口取扱件数の状況）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
窓口取扱数	14,559件	14,236件	15,651件
うち現金取扱数	5,665件	5,540件	5,677件

（北条健康福祉センターの利用状況）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
回　数	364回	218回	117回
利用者	6,381人	4,745人	1,764人

②北条地区振興事業　　　　　　　３３８ 千円

住民有志が集い、コロナウイルス感染対策を実施して北条地区振興の活動を実施した。

- 報償費（体験等指導謝金）　　　30 千円
- 消耗品費（会議等消耗品）　　127 千円
- 印刷製本費（広報紙製作）　　163 千円

【成果】　「あつまらいや北条」を中心に学校等と「児童もち米作り体験」、「異世代交流記念植樹」等を実施。コロナ禍においても記憶や記録に残る活動機会を提供した。

北条小児童もち米作り体験　収穫祭！

③公用車管理事業　　　　　　　　　　　９３２ 千円

（北条庁舎集中管理車両）

区分	R1年度	R2年度	R3年度
マイクロバス	2台	2台	2台
軽自動車	1台	1台	1台

【成果】　バス予約・運転手手配等の手続きが北条支所に一元化されたことに伴い、利用者の利便性が向上した。また事務の効率化も図れ適切に管理・運営できた。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	7　北条改善センター費	3,399千円	1,956千円

①北条改善センター管理事業　　　　　１，９５６ 千円

・光熱水費　1,282 千円
・施設修繕費（洗面所水栓等修理）　100 千円
・施設管理委託料（警備、消防設備、清掃等）　438 千円

（センターの利用状況）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
回　数	238回	83回	141回
利用者	13,502人	4,896人	12,258人

【成果】多くの方に安全に施設を使っていただけるよう、適切な維持管理を実施した。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	8　大栄改善センター費	6,826千円	6,747千円

①大栄改善センター管理事業　　　　　６，７４７ 千円

・修繕費（トイレ修繕、ガスメーター取替など）　682 千円
・センター外壁防水改修工事設計委託　3,597 千円
・センター女子トイレ洋式化工事　1,243 千円

（センターの利用状況）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
回　数	1,331回	1,702回	1,441回
利用者	23,578人	20,456人	13,205人

【成果】　多くの方に安全に施設を使っていただけるよう、適切な維持管理を実施した。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	10　自治会活動促進費	15,185千円	14,591千円

①自治会総合交付金事業　　　　　１４，１２５ 千円

（１）自治会運営交付金　12,185 千円
自治組織の活性化を図るため、全自治会に事務費等の補助を行った。

（２）防犯灯維持管理交付金　916 千円
61自治会に対し、自治会が設置した防犯灯の電気料金の3分の1の補助を行った。

（３）再生可能エネルギー交付金　1,024 千円
63自治会に対し、自治会が設置した太陽光発電設備などに対して補助を行った。

②自治会集会施設整備費補助金事業　　　　　４６６ 千円

・自治会が行った集会施設のバリアフリー化等整備に対し助成を行った。
　助成自治会　4自治会　　　　　　　　　※令和3年度に補助制度新設

【成果】町と地域（自治会）との連携を強化するとともに、自治活動の推進を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	11 交通安全対策費	6,381千円	5,698千円

①交通安全対策事業　　　　　　　　　２，１８８ 千円

交通指導員を配置し、交通安全パトロール、イベント等で交通指導を行った。
・交通安全指導員出動手当　　　779 千円
（交通指導員等の状況）

年度		R1年度	R2年度	R3年度
交通指導員数（定員22人）		20人	19人	19人
活動延人数	研修長時間指導	36人	12人	11人
	啓発パトロール等	390人	313人	349人

（本町で発生した交通死亡事故等の状況）

年	R1年	R2年	R3年
交通事故死亡者数	2人	1人	1人
人身事故件数	30件	17件	24件

※県警資料

【成果】 全国交通安全運動期間の取り組みを中心に、交通事故の犠牲が多い子どもや高齢者への交通安全啓発を実施し、交通安全意識の向上を図った。

②交通安全施設整備事業　　　　　　　３，２７４ 千円

カーブミラーの修繕、整備を行った。
（カーブミラー整備等の状況）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
カーブミラー修繕	26基	46基	39基
カーブミラー設置	1基	2基	2基

【成果】カーブミラーの新設・修繕により、町内の交通安全に寄与した。

③交通安全負担金事業／交通安全補助金事業　　　２３７ 千円

・交通安全協会倉吉地区協会負担金　　　　　6 千円
・ルートナイン交通安全対策協議会負担金　　20 千円
・交通安全協会北条支部活動費補助金　　　189 千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	12 光ファイバーネットワーク施設管理費	83,716千円	77,516千円

①光ファイバーネットワーク施設管理事業　　７７，５１６ 千円

各種情報の提供、地域住民のコミュニティの醸成、農業構造の改善を図るための光ファイバーネットワーク施設の管理を行った。
・光ファイバー施設サブセンター機器更改工事　　20,680 千円
・伝送路ケーブル新設・移設・撤去工事　　　　　16,557 千円
・電柱共架料、自営柱用地借上料　　　　　　　　15,478 千円
・光ファイバーネットワーク施設保守　　　　　　14,847 千円

【成果】 光ファイバーネットワーク施設を適切に維持管理することにより、安定した各種サービス提供を図った。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　算　額
		目	13　情報処理費	28,168千円	27,209千円

①情報処理事業　２７，２０９ 千円

機器及び各庁舎及び出先施設を結ぶネットワークの維持管理等を行った。

・行政情報システム保守委託　14,829 千円
・パソコン購入（50台）　5,819 千円
・自治体ICT共同化推進等県負担金　2,681 千円

【成果】 庁内ネットワークの維持管理に努め、業務の効率化を図った。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　算　額
		目	14　防犯対策費	5,461千円	5,431千円

①防犯対策事業　５，４３１ 千円

・LED化対策工事請負費　3,644 千円
・環境にやさしいLED防犯灯整備補助金　268 千円

（防犯灯整備等の状況）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
公設防犯灯整備	25灯	26灯	35灯
自治会整備補助	10自治会	13自治会	9自治会
防犯カメラ整備	−	1基	−

【成果】防犯灯の新設・修繕、防犯カメラの設置により、町内の防犯、環境にやさしいまちづくりを推進した。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　算　額
		目	15　諸費	974千円	964千円

①諸費事業　８９０ 千円

・倉吉地区防犯協議会負担金　248 千円
・安全運転運行管理者協議会負担金　30 千円

②自衛隊募集事業　７４ 千円

自衛隊鳥取地方本部倉吉地域事務所及び北栄町自衛隊友の会と連携し、自衛官募集にかかる広報、啓発活動を実施した。

（新入隊の状況）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
北栄町内	4人	0人	4人

款	2　総務費	項	4　選挙費	予　算　現　額	決　算　額
		目	1　選挙管理委員会費	297千円	260千円

①選挙管理委員会事業　２６０ 千円

選挙管理委員会の開催　8 回開催

・委員会の主な内容
各種選挙人名簿登録、裁判員候補者予定者の選定、検察審査員候補者の選定
住民投票資格者名簿の作成、投票機会の確保対策と実施

款	2　総務費	項	4　選挙費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　選挙啓発費	59千円	45千円

①選挙啓発事業　　　　　　　　　　　　４５ 千円　（県明るい選挙推進負担金含む）

実施事業等

北栄町明るい選挙推進協議会の開催　令和4年2月2日開催
主権者教育に関する授業（選挙出前講座）の実施　　令和3年11月26日開催
明るい選挙啓発ポスター募集事業　令和3年5月～9月募集
鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金　　4 千円

【成果】　町内の高校で主権者教育に関する授業（選挙出前講座や模擬投票）を実施し、明るい選挙の推進を行った。

款	2　総務費	項	4　選挙費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	3　町長町議会議員選挙費	13,711千円	13,602千円

①町長町議会議員選挙事業　　　　　１３,６０２ 千円

告示日　令和3年9月28日　　　　投票日　令和3年10月3日

・町長選挙　　投票率　65.71%
・町議会議員一般選挙　　投票率　65.70%
・選挙の公費負担　　　　3,137 千円

内訳　自動車475千円　　運転手638千円　　燃料121千円
　　　ハガキ317千円　　ビラ122千円　　ポスター1,464千円

款	2　総務費	項	4　選挙費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	17　衆議院議員総選挙費	10,937千円	10,928千円

①衆議院議員総選挙事業　　　　　１０,９２８ 千円

公示日　令和3年10月19日　　投票日　令和3年10月31日
投票率　63.87%

款	8　消防費	項	1　消防費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　常備消防費	207,238千円	201,124千円

①中部ふるさと広域連合負担金（消防）事業　　２０１,１２４ 千円

常備消防として整備している鳥取中部ふるさと広域連合消防局への負担金支出。

（火災発生件数等）

区	分	R1年度	R2年度	R3年度
火災発生	北栄町内	5件	7件	6件
	広域連合内	38件	28件	35件
救急出動	北栄町内	599件	537件	533件
	広域連合内	4,712件	4,472件	4,677件

款	8　消防費	項	1　消防費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　非常備消防費	14,464千円	11,000千円

①消防団活動事業　　　　　　　　　７,４５５ 千円

町消防団の消防活動における出動経費などの支弁を行うとともに、必要な消防ホースなどの消防器具や団員装備の整備を実施。

（町消防団の状況）　　　　　　　　　　　　　　　　　　（人数は年度末）

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団
実数／定員	95人／110人	94人／110人	92人／110人
うち女性団員数	4人	8人	8人

（町消防団の出動等の状況）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">区分</th><th colspan="2">R1年度</th><th colspan="2">R2年度</th><th colspan="2">R3年度</th></tr>
<tr><th>件数</th><th>延人数</th><th>件数</th><th>延人数</th><th>件数</th><th>延人数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">出動</td><td>火　　災</td><td>6件</td><td>183人</td><td>7件</td><td>175人</td><td>6件</td><td>96人</td></tr>
<tr><td>非火災</td><td>1件</td><td>4人</td><td>9件</td><td>59人</td><td>0件</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>捜　　索</td><td>0件</td><td>0人</td><td>0件</td><td>0人</td><td>0件</td><td>0人</td></tr>
<tr><td>警　　戒</td><td>0件</td><td>0人</td><td>1件</td><td>16人</td><td>1件</td><td>78人</td></tr>
<tr><td colspan="2">操法水防訓練等</td><td>19件</td><td>741人</td><td>16件</td><td>291人</td><td>15件</td><td>223人</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議・研修等</td><td>39件</td><td>181人</td><td>17件</td><td>96人</td><td>14件</td><td>50人</td></tr>
<tr><td colspan="2">火災予防広報等</td><td>45件</td><td>409人</td><td>42件</td><td>329人</td><td>47件</td><td>388人</td></tr>
</table>

（消防ポンプ操法大会の状況）

<table>
<tr><th colspan="2">大会名等</th><th colspan="2">R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th></tr>
<tr><td rowspan="3">町操法大会</td><td>優勝</td><td colspan="2">第4分団Aチーム</td><td rowspan="7">新型コロナウイルスの影響により中止</td><td rowspan="7">新型コロナウイルスの影響により中止</td></tr>
<tr><td>2位</td><td colspan="2">第3分団Aチーム</td></tr>
<tr><td>3位</td><td colspan="2">第1分団Aチーム</td></tr>
<tr><td rowspan="2">郡操法大会</td><td>出場</td><td>第4分団</td><td>第3分団</td></tr>
<tr><td>順位</td><td>優勝</td><td>6位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">県操法大会</td><td>出場</td><td colspan="2">第4分団</td></tr>
<tr><td>順位</td><td colspan="2">4位</td></tr>
</table>

【成果】　火災出動や警報発令時における警戒出動を行ったほか、操法訓練・水防訓練活動や、女性消防団員などによる防火啓発活動を行い、災害対応能力を強めた。

②消防関係負担事業　　　　　　３，５４５ 千円

- 県、郡消防協会負担金　278 千円
- 鳥取県町村消防災害補償組合負担金　411 千円
- 消防団員退職報奨金掛金負担金　2,112 千円
- 消防賞じゅつ金負担金　440 千円

<table>
<tr><td rowspan="2">款</td><td rowspan="2">8　消防費</td><td>項</td><td>1　消防費</td><td>予　算　現　額</td><td>決　　算　　額</td></tr>
<tr><td>目</td><td>3　消防施設費</td><td>13,005千円</td><td>12,608千円</td></tr>
</table>

①消防施設設置事業　　　　　１２，６０８ 千円

- 女性操法用軽可搬ポンプ一式購入
  （コミュニティ助成事業活用）　1,098 千円
- 消火栓工事負担金（水道会計へ）　6,986 千円
- 消火栓維持管理負担金（　〃　）　600 千円
- 防火水槽撤去工事（青木）　523 千円

女性操法用
可搬ポンプ

（消火栓修繕等の状況）

区分	R1年度	R2年度	R3年度
消火栓修繕	24か所	14か所	8か所
消火栓新設	－	－	－
防火水槽	修繕2	修繕1、撤去1、標識更新17	修繕1、撤去1、標識更新4

【成果】　消火栓等の維持管理を行い、火災予防・消防団活動の安全確保を行った。

款	8　消防費	項	1　消防費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　災害対策費	54,667千円	51,280千円

①災害対策事業　　　　　　　　６，６１０ 千円

・備蓄品購入費　　　　　　1,316 千円（飲料水、毛布、アルファ米ほか）
・災害対策費用保険掛金　　　862 千円
・災害見舞金　　　　　　　　360 千円（火災1件、水害24件）

（防災訓練等の状況）

区分		R1年度	R2年度	R3年度
防災会議	開催日	R2.3.5	R3.2.17	R4.3.18
	内　容	計画の見直し等	計画の見直し等	計画の見直し等
防災訓練	開催日	R1.9.1	R2.9.6	中止
	主会場	北条改善センター	大栄中学校	
	想　定	水害	水害/コロナ対策	
防災士資格取得(累計)	町職員	0人	1人	2人（累計16人）
	一　般	10人	3人	6人（累計26人）
他市町村災害への職員応援派遣		長野県飯山市2人	派遣なし	派遣なし

（警報等による町の警戒等体制の配備状況）

区分	R1年度	R2年度	R3年度
警戒体制配備	暴風2	大雨等2、大雪等4	大雨等2、大雪等3、暴風2
非常体制配備	-	-	大雨等1
避難所開設	-	-	大雨等2
避難指示	-	-	大雨等1（7/7）

※大雨等＝大雨警報、洪水警報、大雪等＝大雪警報、暴風雪警報

【成果】　警報発令ごとに警戒体制等を配備し対応した。7月7日発令の大雨警報は7月11日まで継続、近年にない大雨となった。雨量増によりレベル4の土砂災害警戒情報が発令され、災害対策本部を設置し避難指示を発令するなど、対応にあたった。

②防災用備品購入補助金事業　　　　２，０００ 千円

コミュニティ助成事業（地域防災組織育成）助成金　　　2,000 千円
江北自治会自衛消防団　消防可搬ポンプ購入

③自主防災組織育成事業　　　　　　４，１７３ 千円

自主防災組織、自衛消防団の運営や訓練、資機材購入に対して、交付金等を支給した。

（自主防災組織等の状況）

区　　分		R1年度	R2年度	R3年度
自主防災	組織設置数	48組織	48組織	48組織
	訓練活動数	34組織	42組織	28組織
	資機材整備数	5組織	4組織	4組織
自衛消防	自衛消防団（隊）数	50団、4隊	50団、4隊	50団、4隊
	消防器具整備数	41組織	39組織	33組織

④空家等対策事業　　　　　　　　９，８４５ 千円

・助言等の実施件数　助言指導14件、勧告0件、命令0件

（空家除却費助成等の状況）

区　　分		R1年度	R2年度	R3年度
老朽危険空家除却費助成	件数	8件	10件	6件
	金額	18,566千円	16,600千円	9,189千円
空家把握数（年度末）		298件	284件	283件

【成果】　危険空家の除却を促し、地域住民の安心・安全に寄与した。

⑤自治会除雪活動支援事業　　　　　　　１，６７５ 千円

（除雪等補助の状況）･･･1/2補助

区　　　　分		R1年度	R2年度	R3年度
除雪費用	自治会数	-	24自治会	32自治会
	金　　額	-	1,190千円	1,675千円

※除雪機補助の実績なし

⑥被災者住宅再建支援基金積立事業　　１，２７５ 千円

指定自然災害で被害を受けた世帯へ給付金を支給するための基金拠出（H30年～10年間）

・被災者住宅再建支援負担金　　1,275 千円

⑦災害対応人件費事業　　　　　　　　３，３０４ 千円

・警戒体制配備による職員給与費　　　3,304 千円

⑧防災拠点等設置事業　　　　　　　２２，３９８ 千円

B&G財団が実施する「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業」の採択を受け、3千万円の機械等導入と、3百万円の機器等操作研修を実施した。

・導入した機械、備品等
油圧ショベル1台、救助艇（船外機付）1台、パトカー1台、軽トラック2台、消防バイク2台、ドローン2台、非常用電源、非常用照明、移動式暖冷風機、土のう製作機、防災倉庫、避難所用パーティション、多目的トイレ、毛布、マイク・アンプ、備蓄食糧　など

・研修内容
ドローン操作研修、避難所研修、油圧ショベル操作研修

【成果】B&G財団事業の活用により、町職員等で使用・操作できる機器・設備が充実した。

導入した油圧ショベルと消防用バイク

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 一般管理費	1,262,564千円	1,215,756千円

①ふるさと北栄基金事業　　　　７５０，０５３千円

受け入れた寄附金を次年度の財源とするため基金へ積み立てた。

（単位：千円）

	R1年度	R2年度	R3年度
基金残高	238,610 (487,414)	305,786 (639,046)	347,564 (753,076)

( ) 内は、寄附金額

※寄附金から経費（返礼品など）を差し引いた額の積み立て

②行政改革事業　　　　３２，２５９千円

北条支所総合窓口業務、庶務業務の民間委託を継続して行った。ただし、大栄庁舎総合窓口業務については、委託契約を継続せず、令和3年10月から直営とした。

委託契約期間：令和3年10月1日から令和6年9月30日まで

・3業務についてRPAの構築（委託）を行い、業務の効率化を図った。

【成果】窓口サービスのワンストップ化による住民の利便性の向上、職員の負担軽減により職員が行うべき業務の質の向上及び効率化を図ることができた。

③統一的な基準による地方公会計整備事業　９６８千円

財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）の作成支援業務を委託し、令和2年度決算に係る財務書類を作成した。

【成果】統一的な基準による令和2年度決算財務書類を作成し、その財務情報を公表することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 広報費	4,374千円	4,332千円

①広報事業　　　　４，３３２ 千円

・町報印刷　　　　3,274　千円

町の情報を広くお知らせする重要なツールとして「広報 北栄」を発行した。

区　　分	R1年度	R2年度	R3年度
ページ数（延べ）	244ページ	252ページ	248ページ
発行部数（部/月）	5,600	5,600	5,600

・ホームページ保守業務　　　　772 千円

町ホームページを安定して稼働させることができた。

・情報発信の取り組み

フェイスブック、ユーチューブ、ツイッター、インスタグラムなどを幅広いツールを活用し、行政情報のみならず、ドローン映像など楽しめる情報を発信した。

区　　分			R1年度		R2年度		R3年度	
フェイスブック	いいね！	投稿数	3,958	762	4,112	722	4,480	1,184
ツイッター	フォロワー数	投稿数	2,283	693	2,728	427	3,365	422
インスタグラム	フォロワー数	投稿数	1,050	851	1,489	135	1,636	234
ユーチューブ	フォロワー数	投稿数	859	52	1,350	14	1,680	42
外国人向け紹介動画の作成（英語）			6本		2本		5本	

・外部広報誌仕分け作業委託料　　　　　120 千円
　県等が発行する広報誌の仕分け作業を、障がい者就労施設に委託した。

【成果】町内外への北栄町の魅力発信のほか、災害に関する情報などを、SNSだけでなくドローン映像も使い、より伝わりやすい形で発信することができた。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　財産管理費	474,495千円	468,331千円

①財政調整基金積立金事業　　　　２９７，４３０千円

将来の財政対応のため、町の「貯金」にあたる財政調整基金を積み立てた。

（単位：千円）

	R1年度	R2年度	R3年度
基金残高	1,633,660	1,459,187	1,756,617

②減債基金積立金事業　　　　　　６０，６１８千円

将来の起債償還財源となる減債基金を積み立てた。

（単位：千円）

	R1年度	R2年度	R3年度
基金残高	44,058	44,062	104,680

③普通財産管理事業　　　　　　　　３，１４１千円

町有地の維持管理、町有地売却業務の民間委託、町有地の貸付、不要財産の売却を行った。

（単位：千円）

区分	R1年度	R2年度	R3年度
町有地貸付収入	4,812	4,095	4,531
財産売払収入	2,873	2,796	8,937

【成果】町有地、町有財産の管理を行い、所有財産を適切に維持することができた。
また、未利用町有地の貸付と不要財産の売却により、自主財源の確保につなげた。

④風のまちづくり基金積立金事業　５０，０００千円

環境施策、子どもの育成支援に係る施策の財源として活用した。
・再生可能エネルギー等導入事業、省エネ住宅リフォーム補助金事業、観光振興事業
　在宅育児支援事業、各小中学校管理事業、中央公民館管理事業ほか

⑤公共施設等総合管理計画改訂事業　　１，９８０千円

公共施設総合管理計画について改訂し、昨年度策定した個別施設計画との統合及び数値の更新を行った。（委託実施）

【成果】本計画について再整理し、人口減少や少子高齢化、財政状況などの課題や制約を踏まえた上で、最新の情報に更新することができた。これにより、持続可能な町民サービスを提供するための公共施設等のあり方など基本的な方針を改めて示すことができた。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	9　企画費	28,833千円	26,784千円

①企画事業　　　　　　　　　　　　　１，６９５千円

政策企画に関する事業（まちづくり、地方創生、男女共同参画、広域行政等）を行った。

倉吉未来中心管理運営負担金　　　　　1,352　千円
過疎地域振興に関する意見交換会　　　3地区　　　参加者　34人

【成果】第4次北栄町男女共同参画推進計画策定（R4年3月）、北栄町過疎地域持続的発展計画策定（R3年9月策定、R4年2月改訂）など、まちづくりに関する計画を策定、改訂を行った。

②女性団体連絡協議会補助金事業　　　　　　６２千円

町内11団体で組織する女性団体連絡協議会に対し、補助金を交付した。

【成果】　日本女性会議のアーカイブ視聴、女性と町長と語る会の開催、協議会会員のSDGｓ研修等、男女共同参画社会の実現に向けて広く町民に啓発を図る女性団体連絡協議会の活動に対し補助金を交付した。

③地域の自立活性化活動支援交付金事業　　１９２千円

地域の活性化・自立に向けて積極的な活動を行おうとするコミュニティに対し、活動に必要な交付金を交付した。

	R1年度	R2年度	R3年度
交付団体数	6団体	5団体	2団体

【成果】　積極的に地域で活動する団体を支援することで、町全体の活性につなげることができた。

持続可能な自治会の構築をめざす（高千穂自治会：2年目）

地域の危険家屋の雑木処分や交流事業を実施（東亀谷振興会）

④交通対策事業　　　　　　　　　１３，５５９千円

輸送人員の減少による利用者の減少で維持が困難なバス路線に対し、路線維持に必要な経費を補助した。

・路線維持費補助金　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

		路　　　線	区　　分	R1年度	R2年度	R3年度
日交	国庫	北条線（西倉吉～倉吉駅～江北～由良駅）	路線維持費補填分	3,293	2,371	3,558
			路線維持費嵩上げ分	600	1,595	1,487
	計			3,893	3,966	5,045
日ノ丸バス	国庫	赤碕線（倉吉駅～由良駅入口～赤碕駅）	路線維持費補填分	5,537	2,100	1,962
			路線維持費嵩上げ分	4,098	4,138	3,970
	広域	栄線（倉吉駅～西亀谷）	広域バス路線維持費分	685	736	690
	計			10,320	6,974	6,622
合　　計				14,213	10,940	11,667

・乗りあいタクシー運行支援事業費補助金

区　　分	R1年度	R2年度	R3年度
利用者数	303人	412人	250人
補助金額	625千円	872千円	525千円

・鳥取砂丘コナン空港連絡バス運行支援事業補助金

区　　分	R1年度	R2年度	R3年度
利用者数	1,441人	190人	416人
補助金額	0	740千円	740千円

【成果】　バス路線、乗りあいタクシーの運行を維持することで、地域住民の生活交通路線及び観光客の移動手段を確保した。

⑤コミュニティ助成事業　　　　　　９，２００千円

一般財団法人自治総合センターが実施する助成事業を活用し、コミュニティの健全な発展を図るため、活動に必要な施設や設備の整備に対する助成金を交付した。

	R1年度	R2年度	R3年度
交付自治会	北尾、西高尾	国坂、みどり二区 大島、由良宿７区	上種、弓原浜、みどり南、高千穂

【成果】整備により、自治会活動の活性化を図るとともに、自治会に安心して集える環境を整えた。

コピー機の導入（みどり南自治会）

掲示板の設置（弓原浜自治会）

⑥しあわせ♡創生事業　　　　　　　５４５千円

若い男女が安心して結婚できるような環境づくり、新婚生活を応援する取り組みを行った。

・広域婚活事業負担金　　　　　　　200　千円
婚活セミナー（動画配信）5回、イベント・パーティ・7回、個別相談1回

・結婚新生活支援事業補助金　　　　300　千円
新婚生活の応援として、新居の住居費や引越費用を支援した。（支援件数１件）

・婚活支援事業負担金　　　　　　　　45　千円
県が開設した婚活サポートセンター「えんトリー」の婚活事業負担（新規加入6人、更新3人）

【成果】婚活イベント・パーティ参加者：男性　延べ89人　女性　延べ41人
婚活イベント・パーティでのカップル成立数：11組（うち町内2組（※））
※カップルのどちらかが町民の数

⑦官学連携事業　　　　　　　　　　　　　　６７千円

高校、大学と連携し、地域をフィールドにした実習、地域課題の研究を行った。

・地域探究の時間（鳥取中央育英高校）
2年生120人が13テーマに分かれてフィールドワークに取り組んだ。
・鳥取大学地方創生政策体験学習
9月28日～30日　鳥取大学工学部3人を受け入れ体験学習を実施し、高千穂自治会が発行する広報誌に対するアイデア発表などを行った。
・Let’s Go北栄ツアー（鳥取中央育英高校、鳥取大学、由良宿まちづくりの会等）
11月20日　参加者30人

【成果】　地域資源等を活用した実践型学習の場を提供し、課題発見、解決力の向上につなげることができた。

高校生ボランティアによる花壇の草取り
（5月15日）

高校生ガイドによる「Let’s go北栄ツアー2021」
（11月20日）

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	20　持続可能なまちづくり推進費	3,766千円	3,293千円

①ＳＤＧｓ推進事業　　　　　　　　　　３０１千円

SDGsの知識だけでなく、実際にどうやって取り組んでいけばいいかということについて、それぞれの立場に合わせた啓発活動を行った。

・「私たちが取り組めるSDGs」研修会
11月20日　参加者43人
・「SDGs講演会」
12月16日　参加者39人（対象者：商工会員）
・北栄町「SDGs本」作成
町内中学生、小学5，6年生および町内施設に配架
・北栄町まちづくりビジョン×SDGｓ動画作成
北条大トーク大会、大栄中学校参観授業等で利用

北栄町SDGs啓発本

【成果】SDGsが日常の暮らしの中にあることを学び、持続可能な地域の実現について参加者の意識を高めることができた。事業者や、小中学生などターゲットに合わせた啓発を実施することで、それぞれの立場で具体的に何から始められるかを明確にできた。

款	2　総務費	項	5　統計調査費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　統計費	850千円	848千円

①統計調査事業　８４８千円

主な調査　　経済センサス、県人口移動調査、学校基本調査

【成果】各種統計調査を円滑に進めることができた。

款	10 公債費	項	1　公債費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　元金	775,218千円	775,218千円

①町債償還元金事業　７７５，２１８千円

款	10 公債費	項	1　公債費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　利子	31,833千円	28,671千円

①町債償還利子事業　２８，６７１千円

	R1年度	R2年度	R3年度
起債残高	7,125,356千円	7,366,453千円	7,463,965千円

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	9　企画費	28,833千円	26,784千円

①消費者行政推進事業　　　　　　　　１，３７０千円

消費生活相談窓口（町民課内）及び中部消費生活センター（専門相談員設置）にて消費者相談の受付・対応を行った。

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
相談受付件数	82件	56件	78件

町報やチラシなどを通じ、消費者トラブルについて注意喚起を行ったほか、中部消費生活センター相談員と連携し、出前講座など地域住民への啓発活動を実施した。
11月には、小学生向けの金銭講座、消費者事業所見学を実施した。

- ・出前講座（シニアクラブ、いきいきサロン）　2回
- ・小学生金銭講座　1回
- ・消費者事業所見学（鳥取市）　1回
- ・チラシ、パンフレット配布等での啓発活動　2回
- ・高齢者等への「自動通話録音装置」の貸出　18台（貸出）/29台（保有）※年度末現在

【成果】　専門相談員を置く中部消費生活センターとの連携により、相談体制が充実した。
地域住民への各種啓発活動（消費者講座等）により、特殊詐欺などの情報提供を行い、消費者被害の予防に努め、『くらしの安心・安全』につなげることができた。

款	2　総務費	項	2　徴税費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　税務総務費	87,631千円	86,740千円

①税務総務事業　　　　　　　　５，１６８千円

コンビニ収納手数料　　　　　792 千円
土地管理システム等委託料　　1,701 千円　　など

【成果】経常的な税務事務を実施し、課税や徴収環境の安定を図ることができた。

②税務総務関係負担金事業　　　　１，３３８千円

軽自動車事務取扱事務費負担金　753 千円
地方税共同機構負担金　　　　　344 千円

【成果】負担により必要な税務情報を入手し、適正課税につながった。

③中部ふるさと広域連合負担金事業　４，６３９千円

（単位：千円）

滞納徴収分	R1年度	R2年度	R3年度	
広域連合負担金	7,994	7,386	8,058	※国保会計分を含む。
広域連合徴収額	7,355	4,004	3,877	※延滞金含む

（単位：千円）

年度	徴収状況				処理状況				
	委託金額(A)	徴収額		徴収率(B)/(A)	受託人数	処理人数			処理率
		本税（B）	延滞金			完結	執行停止	取消	
R1	9,511	6,339	1,016	66.6%	75	57	2	0	78.7%
R2	6,363	3,111	893	48.9%	54	38	1	0	72.2%
R3	7,658	3,435	442	44.9%	57	31	0	0	54.4%

【成果】新型コロナの影響から臨戸や捜索に制限がかかったものの、累積滞納案件が着実に減少している。

款	2　総務費	項	2　徴税費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　賦課徴収費	5,956千円	5,779千円

①賦課徴収事務事業　　　　　　５，５７９千円

過誤納還付金　4,867 千円　　納付書等印刷費　725 千円　など

【成果】きめ細やかな催告や調査を実施し、新型コロナの影響による徴収率の低下を最小限にすることができた。

・徴収率の状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円・％）

区　分		徴収率　b/(a-c)			R3年度の収納状況		
		R1年度	R2年度	R3年度	調定額a	収入額b	不納欠損c
町民税（個人＋法人）		99.6	99.5	99.6	593,611	591,274	4
	現年課税分	99.7	99.7	99.8	590,340	589,149	4
	滞納繰越分	71.3	57.3	64.9	3,272	2,125	0
固定資産税		99.1	97.1	99.4	663,891	659,304	652
	現年課税分	99.7	97.6	99.8	644,294	643,010	0
	滞納繰越分	39.0	42.0	86.0	19,597	16,294	652
軽自動車税		99.6	99.7	99.8	68,032	67,864	44
	現年課税分	99.7	99.8	99.9	67,806	67,747	0
	滞納繰越分	64.1	65.3	64.9	225	118	44
町たばこ税		100.0	100.0	100.0	96,256	96,256	0
	現年課税分	100.0	100.0	100.0	96,256	96,256	0
小　計　（税合計）		99.4	98.4	99.6	1,421,790	1,414,698	700
	現年課税分	99.7	98.7	99.8	1,398,695	1,396,161	4
	滞納繰越分	51.1	47.0	82.8	23,095	18,536	696
国民健康保険税		97.9	98.2	98.5	433,914	427,584	5
	現年課税分	98.5	99.0	99.3	426,184	423,316	0
	滞納繰越分	68.7	61.3	55.2	7,729	4,267	5
介護保険料		99.6	99.7	99.8	363,691	363,059	24
	現年課税分	99.7	99.7	99.9	362,515	362,133	0
	滞納繰越分	76.3	82.6	80.3	1,177	926	24
後期高齢者医療保険料		99.5	99.6	99.6	130,014	129,465	16
	現年課税分	99.6	99.7	99.6	129,534	129,053	0
	滞納繰越分	43.1	89.7	88.9	480	413	16
小　計（保険合計）		98.8	99.0	99.2	927,619	920,108	44
	現年課税分	99.1	99.4	99.6	918,233	914,502	0
	滞納繰越分	68.9	65.5	60.0	9,386	5,606	44
合　計		99.1	98.6	99.4	2,349,408	2,334,805	744
	現年課税分	99.5	99.0	99.7	2,316,928	2,310,663	4
	滞納繰越分	60.1	57.1	76.1	32,481	24,142	741

・税等の収納比率　（上段：R1年度、中段：R2年度、下段：R3年度）

区　　分	口座振替	コンビニ	町差押え	広域連合	特別徴収	窓口等	合計
町・県民税	18.9 %	4.1 %	0.1 %	0.3 %	73.5 %	3.1 %	100%
	15.1 %	4.4 %	0.0 %	0.0 %	75.4 %	5.1 %	100%
	16.0 %	4.4 %	0.1 %	0.1 %	74.0 %	5.4 %	100%
固定資産税	49.6 %	7.5 %	0.2 %	0.1 %	- %	42.6 %	100%
	51.8 %	8.8 %	0.1 %	0.0 %	- %	39.3 %	100%
	50.7 %	9.4 %	0.2 %	0.1 %	- %	39.6 %	100%
軽自動車税	46.9 %	29.3 %	0.1 %	0.2 %	- %	23.5 %	100%
	47.0 %	29.7 %	0.0 %	1.0 %	- %	22.3 %	100%
	47.1 %	32.6 %	0.1 %	0.0 %	- %	20.2 %	100%
国民健康保険税	70.5 %	8.4 %	0.2 %	0.7 %	12.3 %	7.9 %	100%
	64.9 %	9.1 %	0.0 %	0.3 %	13.7 %	12.0 %	100%
	62.7 %	9.5 %	0.1 %	0.4 %	13.7 %	13.6 %	100%
介護保険料	1.6 %	1.6 %	0.1 %	- %	93.1 %	3.6 %	100%
	1.6 %	1.9 %	0.1 %	- %	93.9 %	2.5 %	100%
	1.6 %	2.1 %	0.0 %	- %	92.7 %	3.6 %	100%
後期高齢者医療保険料	15.0 %	2.1 %	0.1 %	- %	74.3 %	8.5 %	100%
	13.3 %	2.0 %	0.2 %	- %	76.1 %	8.4 %	100%
	14.8 %	2.1 %	0.1 %	- %	75.5 %	7.5 %	100%

款	2　総務費	項	3　戸籍住民基本台帳費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　戸籍住民基本台帳費	59,310千円	54,272千円

①戸籍及び住民登録事務事業　　　　４，９２９千円

・住民基本台帳事務関係

令和4年3月末の住民基本台帳人口は14,613人、世帯数は5,456世帯で、令和3年3月末と比較して人口は107人減少し、世帯は39世帯の増加であった。

（１）住民基本台帳人口及び世帯数（年齢階層別人口）

（単位：人）

年　齢	区分	R1年度	R2年度	R3年度	対前年比
年少人口（0～14歳）	男	973	954	953	△ 1
	女	872	861	873	12
	計	1,845	1,815	1,826	11
	構成比率	12.42%	12.33%	12.50%	0.17%
生産年齢人口（15～64歳）	男	4,002	3,906	3,831	△ 75
	女	3,911	3,826	3,765	△ 61
	計	7,913	7,732	7,596	△ 136
	構成比率	53.27%	52.53%	51.98%	△0.55%
老年人口（65歳以上）	男	2,187	2,216	2,221	5
	女	2,909	2,957	2,970	13
	計	5,096	5,173	5,191	18
	構成比率	34.31%	35.14%	35.52%	0.38%
合計	男	7,162	7,076	7,005	△ 71
	女	7,692	7,644	7,608	△ 36
	計	14,854	14,720	14,613	△ 107
世帯数		5,408世帯	5,417世帯	5,456世帯	39世帯
（再掲）75歳以上	男	942	949	946	△ 3
	女	1,592	1,567	1,574	7
	計	2,534	2,516	2,520	4
	構成比率	17.06%	17.09%	17.24%	0.15%

（２）住民基本台帳関係事務処理数

（単位：人）

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
転　入　者	343	378	367
出　生　者	103	80	102
そ　の　他	5	6	5
計　(A)	451	464	474
転　出　者	400	402	349
死　亡　者	238	192	226
そ　の　他	4	4	6
計　(B)	642	598	581

（単位：件）

種　　別	件　数
転　　　居	98
世帯変更	160
職権修正	231
違反通知	0
戸籍の附票	2,326
計	2,815

社会増減	△ 57	△ 24	18
自然増減	△ 135	△ 112	△ 124
その他	1	2	△ 1
計 (A)－(B)	△ 191	△ 134	△ 107

（３）印鑑登録関係件数

（単位：件）

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
登　　録 (うち再登録)	476 (196)	463 (198)	473 (174)
抹　　消	586	523	516
年度末登録者数	10,520人	10,460人	10,417人

・戸籍事務関係事業

（１）本籍数及び本籍人口など

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
本　籍　数	8,322戸籍	8,254戸籍	8,166戸籍
本 籍 人 口	20,030人	19,850人	19,609人

（２）戸籍届書の取扱い件数　（単位：件）

事件の種類 ＼ 年度	R1年度	R2年度	R3年度
出生	179	162	186
国籍留保	0	1	0
認知	2	3	2
養子縁組	12	15	21
養子離縁	7	0	3
離縁の際に称していた氏を称する届	0	0	0
婚姻	199	178	182
離婚	41	29	41
離婚の際に称していた氏を称する届	16	11	20
親権変更	0	0	3
死亡	301	265	291
失踪	0	0	0
復氏	0	0	0
姻族関係終了	1	0	1
入籍	41	17	50
分籍	3	4	5
帰化	0	0	0
国籍喪失・選択	0	1	3
氏の変更	3	1	1
転籍	61	60	67
戸籍訂正	16	10	12
続柄の記載更正	0	0	0
その他	2	1	0
不受理申出	1	3	4
合計	885	761	892

年度	R1年度	R2年度	R3年度
新戸籍編製	105	84	91
戸籍全部消除	182	152	179

・住民票・戸籍など取扱い件数　（単位：件）

区分	有料			無料		
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度	R2年度	R3年度
住民票謄抄本	4,991	5,011	4,771	418	341	239
記載事項証明	148	119	109	4	3	5
戸籍の附票	297	342	350	906	1,015	977
閲覧	339	160	75	11,472	8,311	7,134
小計	5,775	5,632	5,305	12,800	9,670	8,355
印鑑登録証明書	3,692	3,888	4,061	19	95	83
身分証明書	112	176	151	0	0	0
その他証明	260	259	239	22	40	105
小計	4,064	4,323	4,451	41	135	188
計	9,839	9,955	9,756	12,841	9,805	8,543
戸籍謄抄本	2,754	2,438	2,289	992	1,089	1,087
除籍謄抄本	2,393	2,386	2,240	2,471	2,715	2,766
戸籍記載事項証明	5	3	0	0	0	0
受理証明	13	21	21	0	0	0
計	5,165	4,848	4,550	3,463	3,804	3,853
合計	15,004	14,803	14,306	16,304	13,609	12,396

【成果】法令等に基づく届出の処理、証明発行を適正に行った。

②個人番号カード事務事業　　　　　１９，１５７千円

通知カード（個人番号通知書）及び個人番号カードの作成、発送等の関連事務を地方公共団体情報システム機構に委任するために要する経費（事務費交付金）

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
個人番号カード交付枚数	322枚	2,076枚	2,118枚

【成果】個人番号カードの交付、電子証明書の更新等の手続きについて、専用窓口で適正かつ円滑に行うことができた。
また、休日交付窓口や出張申請受付等、交付・申請支援体制の実施により、交付率を上げることができた。

［子育て支援センターでの
出張申請受付の様子］

款	3　民生費	項	3　国民年金事務取扱費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　国民年金事務取扱費	1,292千円	1,291千円

①国民年金事務取扱事業　　　　　１，２９１千円

国民年金に係る法定受託事務(資格取得ほか住民記録事項の変更に伴う各種届出、保険料免除、裁定請求等)を処理した。
また、年金事務所との情報共有(年金加入状況、所得状況)により、年金加入者に不利益が生じることがないよう必要な情報を提供するなど、サービス向上に努めた。

拠出年金被保険者数　　　　　　　　　　（単位：人）

区分	R1年度	R2年度	R3年度
１号	1,480	1,482	1,459
３号	498	477	444
任意	15	14	17
計	1,993	1,973	1,920

窓口事務受付件数　　　　　　　　　　（単位：件）

区　　分	R1年度	R2年度	R3年度
資格取得	164	137	144
種別変更	22	17	24
保険料減免	293	86	83
学生納付特例	76	33	44
年金裁定請求	8	4	5
未支給請求	53	47	52
その他	373	72	52
計	989	396	404

【成果】国民年金加入者の年金相談、年金手続きを行い、適正なサービスの提供を行った。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	19　災害復興支援費	174千円	173千円

①災害援護資金貸付利子補助金　　　　　　１７３千円

鳥取県中部地震による災害援護資金の償還にあたり、利子相当額を助成した。

【成果】被災者の生活再建、安定につながった。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　社会福祉総務費	399,683千円	382,877千円

①社会を明るくする運動事業　　　　　　　９１千円

全国統一の「社会を明るくする運動」月間（7月）に保護司等による啓発、小・中学生に作文コンテスト（県主催）を周知し、応募を行った。

【成果】のぼり旗・懸垂幕の掲出と、町放送・町報等による啓発を行ったことにより、町民への啓発を図った。

②戦没者追悼式事業　　　　　　　　　　　１１５千円

諸英霊に対し、町主催の追悼式を行った。

期　　　日　　令和3年9月17日
場　　　所　　大栄農村環境改善センター
参列者数　　　遺族46人、来賓5人

【成果】遺族、来賓とともに戦没者の慰霊を行うことで、世界平和を祈念した。

③民生児童委員協議会事業　　　　　　２，４７４千円

地域福祉向上のため活動する民生委員・児童委員、主任児童委員に対し、活動費として補助金を交付した。また、中部協議会へ負担金を支払った。

・町協議会（委員45人）への活動補助　2,316千円
・中部民生委員協議会負担金　　　　　　158千円

【成果】ひとり暮らし高齢者等の見守り、あいさつ運動期間中の街頭啓発、各種研修会参加による資質向上に努めたことで、地域福祉の推進を図った。

④社会福祉費補助金事業　　　　　　　　１４０千円

町遺族会（3地区）の活動に対して、補助金を交付した。

【成果】補助金を交付したことで、各遺族会の活性化を図った。

⑤社会福祉協議会補助金事業　　　１２，６９３千円

地域福祉事業の推進のため、町社会福祉協議会に補助金を交付した。また、県社協として行う事業に負担金を支払った。

・町社会福祉協議会補助金　　　　　12,626千円
・鳥取県社会福祉協議会負担金　　　　　67千円

【成果】社協職員人件費、マイクロバス運営維持管理費、配食サービス事業等への補助で福祉サービスの充実を進めた。

⑥介護保険特別会計繰出金事業　２２６，２１９千円

介護保険事業特別会計へ法定の負担分を繰出した。

・介護給付費町負担分　192,704千円
・地域支援（介護予防）事業分　5,250千円
・地域支援（包括的支援・任意）事業分　505千円
・一般事務費分　11,728千円
・低所得者軽減分　16,032千円

【成果】介護保険特別会計の健全な運営を行った。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	3　老人福祉費	30,884千円	22,617千円

①老人福祉事業　６２８千円

米寿（数え年の88歳）、金婚（結婚50年）の方に祝詞、記念品を贈り祝意を表した。

	R1年度	R2年度	R3年度
米寿	122　人	143　人	113　人
金婚	40　組	50　組	54　組

【成果】町長及び町の幹部が直接長寿のお祝いを述べ、ご労苦をねぎらった。

②敬老会事業　２，４０８千円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき1,000円の補助を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度
自治会数	53	54	53
対象者数	2,477　人	2,417　人	2,408　人

【成果】自治会単位で実施することにより、自治会の多世代との交流が図られ、敬老や支え合いの気持ちにつながっている。

③老人保護措置事業　１１，６９１千円

環境的、経済的理由により、在宅生活の維持が困難な高齢者を老人福祉法に基づき養護老人ホームに措置入所させ、安心安全な生活のため適切な支援を実施した。

	R1年度	R2年度	R3年度
入所者数	7　人	6　人	7　人

【成果】入所により高齢者が適切な指導や見守りを受けて、安心安全な環境での生活ができている。

④北栄町シルバー人材センター負担金事業　４，５００千円

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、北栄町シルバー人材センターの事業安定のため運営補助を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度
会員数	172 人	155 人	161 人

【成果】高齢者の技能を活かし簡易な仕事の提供をするシルバー事業に補助することで、組織の安定運営、会員の生きがいと自立した生活につながっている。

⑤老人クラブ補助金事業　　　　　　　　１，８１３千円

老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動・運営に対し補助を行い、高齢者が地域で役割を果たすなど社会参加を促進した。

会員数	補助金額（※）	R1年度	R2年度	R3年度
50人～	70,000円	5	4	4
40人～49人	60,000円	2	3	4
30人～39人	50,000円	7	6	5
20人～29人	40,000円	6	6	7
10人～19人	30,000円	1	1	0
合　　計	クラブ数	21	20	20
	補助金額	880 千円	1,030 千円	1,050 千円

※組織強化支援としてR2より補助金額を一律10,000円増額。

・老人クラブ連合会補助　　　　　　　　　　729千円

【成果】仲間づくり、生きがいと健康づくり、奉仕活動など地域支え合いに積極的に取り組む単位老人クラブと、それを支援、育成する連合会に補助し、高齢者の自主活動を促した。令和2年度以降はコロナ禍により、連合会活動の縮小が続いている。

⑥成年後見支援センター事業　　　　　　　　７５８千円

中部圏域で成年後見ネットワーク倉吉に委託してセンターを設置し、困難事例の専門職による相談、申し立て事務、制度の広報、啓発を進めた。

		R1年度	R2年度	R3年度
後見委任数		4件	4件	5件
相談件数	高齢者	0件	10件	13件
	障がい者	4件	1件	10件

(延件数)

【成果】困難事例が増える中、中部市町が協力して法人後見ができる体制が整った。

⑦地域医療介護総合確保基金事業補助金　　　０千円

※令和4年度に繰越(7,560千円)

事業概要

介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入を支援する。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　介護予防生活支援費	91,318千円	88,627千円

①タクシー利用料助成事業　　　　　９，１３９千円

高齢者の方や障がい等特別な事情で移動手段に困っている方、免許証を自主返納された方へタクシー利用料を助成し、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	R1年度	R2年度	R3年度
登録者数	598 人	603 人	595 人
延利用件数	11,786 件	11,969 件	12,976 件
助成額	7,988 千円	7,951 千円	8,731 千円

【成果】移動手段を持たない高齢者等へタクシーの利用助成を行うことにより、日常生活の移動支援につながった。

②在宅通院支援事業　　　　　　　　　　１０，７３２千円

　要支援・要介護の認定を受けている方、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の基準に該当する方、または障がいのある方で通院の必要性がある方に対し、公共交通機関利用困難な場合にタクシー利用による病院送迎への助成を行い、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	R1年度	R2年度	R3年度
登録者数	203 人	224 人	226 人
延利用件数	5,702 件	5,605 件	6,039 件
助成額	10,173 千円	9,981 千円	10,673 千円

【成果】タクシーを利用した通院送迎を行い利用者の通院に利便を図り、身体状況の悪化等の防止につながった。

③介護予防地域支え合い事業　　　　　５，３３９千円

・いきいきサロン　　　　　　　　　　　　　　4,806千円

高齢者の交流の場として、自治会自主運営や社協支援で実施し、介護予防につなげた。

	R1年度	R2年度	R3年度
自治会数	45	45	44
開催回数	1,073 回	798 回	678 回
参加延べ人数	13,507 人	8,856 人	7,226 人

・災害時要支援者台帳管理システム事業　　　533千円

災害時要支援者として登載する対象者のデータ管理のためシステムの保守管理を委託した。

【成果】介護に関する相談に応じ、自立支援の意識、高齢者の閉じこもり防止等、介護予防につながった。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予算現額	決算額
		目	5　障害者福祉費	507,451千円	488,522千円

①障がい者福祉関係負担補助金事業　　　２９８千円

　町身体障がい者福祉協会などの活動に対する補助を行い、障がい者福祉の増進を図った。

・町身体障がい者福祉協会補助金　　　　　　　137千円
・町心身障がい児者育成会（ひまわり会）補助金　115千円
・町精神障がい者家族会補助金　　　　　　　　20千円
・東伯郡身体障害者福祉協会負担金　　　　　　26千円

【成果】障がい者が団体の活動に参加し交流することで、更生意欲、自立支援、社会参加への意欲を高めた。

②心身障がい者医療費扶助事業　　　　３，８４１千円

　中度の心身障がい者（身体障害者手帳3,4級、療育手帳B、精神手帳2級の交付を受けた者）で町民税非課税者に対し医療費を助成することにより、特別医療費助成制度対象外の障がい者の医療費負担の軽減を図った。

	R1年度	R2年度	R3年度
件数	305 件	268 件	266 件
金額	4,178 千円	4,209 千円	3,841 千円

【成果】医療費助成を行ったことにより、中度障がい者の健康保持、負担軽減を図った。

③障害支援区分認定事務事業　　　　　　６３２千円

障がいの程度に応じた支援区分決定のため、主治医意見書の作成手数料負担や広域連合委託で認定審査を実施した。

	R1年度	R2年度	R3年度
認定件数	51 件	22 件	27 件

【成果】認定審査を中部ふるさと広域連合に委託し、スムーズな障害福祉サービスの利用につながった。

④自立支援給付事業　　　　　　４２０，５２１千円

障害者総合支援法に基づき、障がい児・者の障害福祉サービス利用の支援を行った。

	R1年度		R2年度		R3年度	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
居宅介護、重度訪問介護等	229	8,784	190	9,045	159	11,527
上記以外の介護給付費等	2,269	355,988	2,295	365,415	2,364	384,785
サービス利用計画作成費	409	6,042	529	6,605	539	6,979
補装具費	28	2,897	28	4,195	23	2,483

【成果】心身に障がいのある方の自立した日常生活や社会生活を維持することができた。

⑤自立支援医療給付事業　　　　　２１，７３２千円

人工透析医療、ペースメーカー植込み術等に係る医療費を給付し、身体等の障がいの軽減、機能回復を図った。（更生医療、育成医療、療養介護医療）

	R1年度		R2年度		R3年度	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
更生医療	1,039	12,024	1,113	11,976	1,204	17,294
育成医療	25	935	14	131	9	23
療養介護医療	44	2,757	47	2,762	45	2,728

【成果】医療費助成を行ったことにより、障がい者の自立した日常生活、社会生活につながった。

⑥障がい者地域生活支援事業　　　　３２，２０８千円

・意思疎通支援事業　　　　　　　　　　5,200千円

聴覚障がい者等の手話通訳や要約筆記などのコミュニケーション支援を行った。

委託先：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

	R1年度	R2年度	R3年度
延派遣依頼件数	193 件	90 件	79 件

・日常生活用具給付等事業　　　　　　　3,991千円

障がい者等に対し、ストマ用装具等の福祉用具の給付を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度
延利用件数	340 件	330 件	347 件

・移動支援事業　　　　　　　　　　　　1,164千円

屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度
延利用者数	135 人	121 人	74 人

・日中一時支援事業　　　　　　　　　　7,945千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等が活動できる場を確保した。

	R1年度	R2年度	R3年度
延利用者数	264 人	318 人	232 人

・地域活動支援センター事業　　　　　　12,325千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等の創作的活動、生産活動の場を提供した。

	R1年度	R2年度	R3年度
延利用者数	147 人	131 人	122 人

【成果】障がいに応じた様々なサービスを提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

⑦障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業　　　９７４千円

地域生活の受け皿となるグループホーム等で夜間・休日の世話人を配置し、障がい者の地域移行を進める事業所に対し補助を行った。

【成果】グループホーム等利用者の安心安全な生活に資することができた。

⑧障がい者相談員設置事業　　　　　　　　　　　７５千円

身体・知的・精神障がい者相談員を委嘱し、当事者や家族が地域で相談できる体制を作った。

【成果】身近な相談員を設置していることで、相談しやすい体制ができた。

⑨特別障害者手当等給付事業　　　　５，５９６千円

日常生活において、常時特別な介護を要する在宅の重度の障がい児・者に対し、精神的・物理的な負担を軽減するため、手当てを給付した。

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
受給者数（延べ）	254 人	230 人	268 人

【成果】在宅で生活する重度の障がい児・者の負担軽減を図った。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	6　生活困窮者自立支援費	3,110千円	2,345千円

①生活困窮者自立相談支援事業　　　　　７１２ 千円

・住居確保給付金

休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれがある方に対し、家賃相当額を支給した。

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
延支給件数	0件	9件	21件

【成果】生活や就労に向けた相談支援を行うとともに、住まいの確保につながった。

②就労準備支援事業　　　　　　　　１，５０７千円

・学習支援事業　　　　　　　　　　　　　　29 千円

生活困窮世帯の小学生（4～6年生）及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業を実施した。

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
小学生延利用者数	－	135人	187人
中学生延利用者数	622人	577人	647人

・生理の貧困対策事業　　　　　　　　　　　42 千円

経済的理由等で生理用品を十分に買うことができない人に対し、生理用品を配布するとともに必要な相談支援を行った。

＊配布場所等：北栄町役場大栄庁舎、北条支所、中央公民館、図書館、小中学校、放課後児童クラブ

・地域づくりモデル事業　　　　　　　　　300 千円

生活困窮者支援を通じて、地域づくりの推進を図る取組みを行う就労訓練事業所に対して補助を行った。

【成果】生活困窮者の自立促進や社会参加につながった。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	7　重層的支援体制整備事業費	30,247千円	26,760千円

①地域包括支援センター事業　　　　　　　　　０千円

・相談支援事業　　地域包括支援センターにて、高齢者に関する相談支援を行った。

地域包括支援センター相談件数

	R1年度	R2年度	R3年度
一般相談	1,522 件	1,934 件	1,843 件
地域支援	752 件	711 件	797 件
予防給付	1,725 件	1,762 件	1,535 件
計	3,999 件	4,407 件	4,175 件

・地域ネットワーク会議

関係機関のネットワークの構築及び資質向上のための研修会・意見交換会を年3回開催した。

・権利擁護事業

高齢者虐待対応の状況（実数）

	通報相談件数	虐待判断件数
養護者による虐待	5件	2件
施設従事者による虐待	0件	0件

【成果】相談に応じた支援を提供、高齢者の自立支援、重度化予防、権利擁護の支援を行った。

②障がい者相談支援事業　　　　　４，０５９千円

・相談支援事業　　　　　　　　　　　　　3,192千円

障がい者地域生活支援センターを設置し、障がいのある人やその家族の相談支援を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度	
町障がい者地域生活支援センター	472 件	468 件	268 件	
障がい者虐待相談数（実数）	2 件	4 件	2 件	
中部障害者地域生活支援センター（仁厚会へ委託）	445 件	295 件	299 件	
障がい児相談支援（りっかへ委託）	件	1123 件	1071 件	（延件数）

・中部圏域障がい者地域自立支援協議会事務局運営事業　　867千円

相談支援事業を効果的に実施するため、圏域自立支援協議会事務局に専門職を配置した。

【成果】障がいに応じた相談支援を提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

③生活困窮者自立相談支援事業　　　７，３７７千円

・自立相談支援事業

相談支援員、就労支援員など職員を配置し、生活困窮者の自立相談支援、就労支援等を実施した。

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
新規相談者数	23人	34人	35人

【成果】コロナウイルス感染症の影響による生活困難も含め、相談支援や就労支援など分野を超えた包括的支援を実施し、生活困窮者の自立促進を図った。

④地域介護予防活動支援事業　　　　　　４３５千円

・高齢者サークル活動支援事業委託料

介護予防活動の地域展開に資する住民主体の通いの場等の活動支援を行った。

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
団体数	20 団体	21 団体	26 団体
延回数	1,123 回	1,101 回	1,173 回
延人数	7,976 人	7,306 人	7,456 人

・地域介護予防活動支援事業

事業名	延人数	開催回数	備考
こけないからだ講座	74 人	5 回	新規：西園自治会
こけないからだ講座（フォロー）	243 人	21 回	21自治会

【こけないからだ講座の状況】

講座終了後、住民主体で地域の公民館などで週1～月1回程度集まり、体操を継続することで、筋力の維持・向上、閉じこもり予防、交流の場となっている。

	R1年度	R2年度	R3年度
実施自治会(内新規)	27（1）	28（1）	30（1）
その他（介護事業所等）	3	3	3

R3～再開　１自治会あり

【成果】閉じこもりの解消や支え合う関係づくり、介護予防活動の推進を図った。

⑤生活支援体制整備事業　　　　　６，６０７千円

生活支援コーディネーターを配置（委託）するとともに、第1層（町全域）協議体「ほくえい支え愛協議体」、および第2層（小学校区単位）協議体「よっしゃやらあ会」を設置。生活支援や見守り、助け合い活動の推進に取り組んだ。

生活支援サポータ養成講座	8人	1回
第1層協議体	6人	1回
第2層協議体	78人	12回

【成果】ちょっとした困りごとに対する生活支援サービスの提供を図るとともに、地域内の見守りや助け合い活動の推進を図った。

⑥生活困窮者等共助の基盤づくり事業　２，８５８千円

共助の取組みを活性化し、地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスの創出・推進を図る取組みを実施した。

【成果】他事業（生活支援体制整備事業等）と連携して取組み、支え合うしくみづくりの推進やインフォーマル活動の活性化を図った。

⑦参加支援事業　　　　　　　　　　　７５８千円

社会参加しにくい人などを対象とした、社会とのつながりづくりや参加の支援を実施するとともに、支援メニューづくりの取組みを行った。

【成果】就労支援事業所等に対し、参加支援への理解・協力を推進したが、ニーズ把握や具体的なメニューづくりを引き続き推進していく必要がある。

⑧アウトリーチ等を通じた断続的支援事業　４４６千円

・アウトリーチ訪問等の実施

必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、アウトリーチによる対象者との信頼関係づくり、制度等へのつなぎ等の支援を行った。

・世帯訪問調査の実施

福祉の相談窓口の周知及び必要な支援へのつなぎを目的に全戸訪問を実施（3自治会）した。

【成果】必要な支援が届いていない人への相談支援体制の基盤づくりを図った。

⑨多機関協働事業　３６０千円

複雑化・複合化した課題を抱え単独の支援機関では対応が難しい事例に対し支援を実施した。また、横断的な相談支援体制の構築に向け、福祉施策アドバイザーを設置し体制整備を推進した。

【成果】重層的支援体制整備事業の開始にあたって、実施計画の策定が完了し、今後の取組みの方向性や多分野連携が促進された。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予算現額	決算額
		目	8　住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費	203,408千円	65,328千円

①住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業　６５，３２８千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に給付金を支給した。

支給対象世帯の世帯主635人×100千円＝63,500千円

※令和4年度に繰越（138,075千円）

【成果】生活が困窮した住民税非課税世帯等に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予算現額	決算額
		目	13　新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業費	4,400千円	1,210千円

①新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業　１，２１０千円

新型コロナウィルス感染症の影響が長期化する中で、特例貸付を利用できない方に対して就労による自立を図る為、支給対象者に給付金を支給した。

支給対象者：　単身世帯（1世帯）60千円×1回＝60千円

2人世帯（1世帯）80千円×3回＝240千円

3人以上世帯（3世帯）100千円×8回＝800千円（※再支給1世帯含）

※令和4年度に繰越（3,189千円）

【成果】生活が困窮しているが特例貸付を利用できない方に対して、給付金を支給するとともに、生活困窮相談員と連携し、就労に向けた支援を行った。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　母子父子福祉費	22,070千円	21,041千円

①母子父子福祉事業　　　　　　　　　　　　２０千円

・ひとり親家庭の小中入学支度金　　　　　　　　　20千円
ひとり親で所得税非課税世帯に対し入学支度金を給付　10千円×2人

【成果】ひとり親家庭に支度金の支給を行ったことで、災害遺児やひとり親世帯の児童の健全育成、経済的な支援を図った。

②母子福祉事業　　　　　　　　　２１，０２１千円

・ひとり親家庭等学習支援事業　　　　　　　　2,180千円
ひとり親世帯の小学生（4～6年生）及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業を実施した。（生活困窮者自立支援事業における学習支援事業と対象者により費用を按分）

・母子生活支援施設措置委託料　　　　　　　　14,832千円
配偶者がいない又は、これに準ずる女子とその者が監護すべき児童を保護し、自立促進のため生活の支援及び相談に応じた。

・母子寡婦福祉資金の貸付　　　　　　　　　　1,000千円

要件を満たす母子及び寡婦に対し、上限20万円（無利子）の貸付を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度
借入件数	5　件	6　件	4　件
借入金総額	900 千円	950 千円	700 千円

【成果】母子寡婦貸付や、施設に保護し就労、子育て支援等の指導を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	6　児童手当費	219,515千円	215,353千円

①児童手当等給付事業　　　　２１５，３５３千円

次代を担う児童の健全育成や子育て家庭の生活の安定を図るため、児童を養育する保護者等に対し手当を支給した。

区分		一人当たり月額
0歳～3歳未満		15,000　円
3歳以上小学校修了前	第1子、第2子	10,000　円
	第3子以降	15,000　円
中学生		10,000　円
所得制限対象		5,000　円

児童手当対象児童数　　　延べ　19,254人

【成果】児童手当を支給したことにより、児童の健全育成、子育て家庭の生活の安定を図った。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	7　児童扶養手当費	68,237千円	65,799千円

①児童扶養手当給付事業　　　　　６５，７９９千円

ひとり親で18歳までの子どもを扶養している家庭の生活の安定と自立を助けるため手当を支給した。

対象児童数	全部支給	一部支給
1人	月額 43,160円	月額 43,150円～10,180円
2人目	月額 10,190円	月額 10,180円～ 5,100円
3人目以降	月額　6,110円	月額　6,100円～ 3,060円

実支給家庭数	R1年度	R2年度	R3年度
母子家庭数	116 世帯	115 世帯	114 世帯
父子家庭数	12 世帯	12 世帯	11 世帯

【成果】児童扶養手当を支給したことにより、受給者世帯の生活の安定と児童の福祉の増進を図った。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	8　児童措置費	79,610千円	77,550千円

①障害児通所給付事業　　　　　７７，５５０千円

障がい児の機能訓練、集団生活適応訓練、社会との交流支援など必要に応じたサービスに係る給付を行った。

	R1年度		R2年度		R3年度	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
児童発達支援	64	1,795	39	796	58	1,502
医療型児童発達支援	34	425	30	213	27	298
放課後等デイサービス	468	22,292	656	41,628	861	66,640
保育所等訪問支援	6	61	28	524	49	1,168
相談支援	101	1,759	230	4,596	231	4,760

【成果】発達障がいを含めた障がい児・者に対し事業の連携により一貫した支援ができた。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	9　子育て世帯臨時特別給付金事業費	261,154千円	225,336千円

①子育て世帯臨時特別給付金事業　　　　２２５，３１８千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため高校生までの児童を養育している保護者に給付金を支給した。

支給対象者2,236人×100千円＝223,600千円

【成果】子育て世帯に給付金を支給したことにより、受給者世帯の負担軽減を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	10 子育て世帯生活支援特別給付金事業費	24,398千円	19,186千円

①子育て世帯生活支援特別給付金（児扶）事業　１０，５７９千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）への生活支援として児童扶養手当受給者等に給付金を給付した。

支給対象者210人×50千円＝10,500千円

【成果】新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

②子育て世帯生活支援特別給付金（他世帯）事業　８，６０７千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）への生活支援として住民税非課税相当かつ児童手当等受給者等に給付金を給付した。

支給対象者147人×50千円＝7,350千円

【成果】新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予算現額	決算額
		目	1 生活保護総務費	70,159千円	69,221千円

①生活保護総務事業　５，７２６千円

福祉事務所で、生活保護業務を迅速かつ円滑に処理した。

生活保護 人員体制　所長、課長、査察指導員、ケースワーカー2人

・嘱託医報酬　310千円
・生活保護システム保守委託料1,370千円
・レセプト管理システム委託料2,298千円
・被保護者夏季見舞金　215千円
・灯油購入費等支援金　1,300千円

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
総務事業費	5,163千円	4,232千円	5,726千円

【成果】生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予算現額	決算額
		目	2 生活保護扶助費	121,705千円	92,451千円

①生活保護扶助事業　９２，４５１千円

生活に困窮する者に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を促すため、必要な扶助を行った。

・生活扶助　30,223千円
・医療扶助　45,876千円
・介護扶助　1,409千円

年　度	R1年度末	R2年度末	R3年度末
受給者数	66 人	58 人	53 人
世帯数	55 世帯	50 世帯	45 世帯
扶助費	98,255千円	97,231千円	77,508千円

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
相談数		22 件	24 件	23 件
申請数		13 件	8 件	6 件
結果	決定	10 件	5 件	5 件
	却下	2 件	1 件	1 件
	取下	1 件	2 件	0 件
廃止		7 件	10 件	10 件
内訳	就労	0 件	0 件	0 件
	死亡	2 件	2 件	2 件
	その他	5 件	8 件	8 件

【成果】生活保護費の給付を適正に行った。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　社会福祉総務費	399,683千円	382,877千円

①国民健康保険特別会計繰出金事業　１１９，１７８千円

・保険基盤安定分　92,571 千円　・出産育児一時金分　2,800 千円
・保険財政安定化支援分　6,484 千円　・事務費、職員給与分　17,323 千円

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　特別医療費助成事業費	92,174千円	87,218千円

①特別医療費助成事業　８２，７３３千円

対象者にかかる医療費を助成した。

・特別医療費審査手数料　60,626 件　2,079 千円
・特別医療費助成費　30,407 件　80,654 千円

（単位：千円）

	R1年度			R2年度			R3年度		
	延人数	件　数	金　額	延人数	件　数	金　額	延人数	件　数	金　額
身障1,2級	239	6,499	41,033	235	6,080	36,249	233	5,976	31,144
重度知的障がい者	40	1,054	1,821	41	976	1,759	41	989	1,695
精神障がい者	7	244	3,471	7	160	2,473	8	147	2,679
特定疾病	2	10	184	1	13	177	1	10	148
ひとり親家庭	64	810	1,972	75	761	2,069	54	688	1,820
小児	2,418	26,408	47,820	2,352	20,666	38,433	2,357	22,597	43,168
合　計	2,770	35,025	96,301	2,711	28,656	81,160	2,694	30,407	80,654

【成果】

・小児は18歳までを助成対象とし、対象者の医療費負担を軽減することができた。

②養育医療費助成事業　１，４０４千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院養育を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において養育に必要な医療の給付を行った。

（単位：件、千円）

	R1年度		R2年度		R3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未熟児養育医療扶助費	4	1,712	5	6,273	1	1,404

【成果】

対象者の医療費負担を軽減することができた。

③特定不妊治療費助成事業　３，０８２千円

	R1年度	R2年度	R3年度
特定不妊治療	12件　（人数5人）	22件　（人数11人）	31件　（人数12人）
人工授精	6件　（人数6人）	1件　（人数1人）	7件　（人数7人）
金額（千円）	1,622	2,748	3,082

【成果】一人175,000円／回を上限に助成を行い、対象者の負担を軽減することができた。
年度助成の回数制限をなくしたことで治療が受けやすくなり、負担軽減につながった。

款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　保健衛生総務費	150,812千円	147,673千円

①保健衛生総務事業　　　　　　　　　１，３０３千円

保健事業の推進のための各種事業を行った。

・健康推進員活動支援　　　　・健康計画推進委員会の開催3回
・公用車の燃料費及び管理費

【成果】健康推進員が健診受診啓発や健康づくりの推進活動を行った。また、第３次健康ほくえい計画を策定することで健康課題に即した目標を定めることができた。

②健康管理システム委託事業　　　１０，１４６千円

健康かるてシステムを活用し各種健診・予防接種の通知や、健診結果・予防接種の管理を実施し、庁舎内で情報共有を図った。

【成果】健診結果、予防接種履歴等をシステムで一元管理することにより、保健指導、接種勧奨等に役立った。

③献血事業　　　　　　　　　　　　　　　　４千円

町内の各施設、事業所の協力のもと、献血を行った。

区　分	R1年度		R2年度		R3年度	
	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数
400ml	165人	132人	146人	126人	165人	139人
実施回数	3日（延10会場）		3日（延9会場）		3日（延9会場）	

【成果】巡回可能会場数が減少する中、献血協力者の確保に努めた。

款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　健康増進センター費	3,823千円	3,607千円

①健康増進センター管理事業　　　　３，６０７千円

各種健診をはじめとする保健、健康増進事業の拠点として健康増進センターの管理運営を行った。

（利用状況）

区　　　分	利用者数		
	R1年度	R2年度	R3年度
健　診　棟	4,114人	3,535人	9,132人
調　理　室	1,006人	570人	178人
会　議　室	2,979人	2,307人	8,296人

※新型コロナウィルス感染症ワクチンの集団接種会場となったため、利用増
※トレーニング室は、北栄子育て支援センターが通年利用

（利用内容）

区　　　　分	利用回数		
	R1年度	R2年度	R3年度
母子保健事業・成人健診事業	84回	92回	158回
子育て支援センター	通年利用	通年利用	通年利用
その他各種会議等	135回	98回	92回

【成果】施設の維持管理を行い、保健事業や子育て事業の場として活用した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	3 感染症等予防費	177,839千円	139,627千円

①感染症等予防事業　　　　　　　３９，０９０千円

・定期予防接種

予防接種法に基づき、乳幼児・児童・生徒及び65歳以上の高齢者等に対する定期予防接種を実施し、感染症の予防を図った。

（延人数）

区　　分	接種者数					
	R1年度	R2年度		R3年度		
四種混合(DTP-IPV)	404人	354人		218人		
二種混合(DT)	95人	107人		121人		
ポリオ（ＩＰＶ）	0人	0人		0人		
麻しん風しん混合	229人	212人		208人		
日本脳炎	574人	527人		302人		
BCG	91人	89人		95人		
ヒブワクチン	391人	350人		199人		
小児肺炎球菌ワクチン	395人	345人		199人		
子宮頸がん予防ワクチン	5人	16人		13人		
水痘	193人	186人		165人		
B型肝炎　（H28.10～）	286人	261人		153人		
ロタウイルス　（R2.10～）	-	82人		117人		
高齢者インフルエンザ	3,012人	3,496人		3,031人		
高齢者肺炎球菌	185人	208人		225人		
風しん（第5期）　（H31.4～）	-	273人	75人	118人	29人	

※子宮頸がん予防ワクチンは平成25年6月から令和3年度末日まで積極的勧奨を控えることとなっている。

※風しん（第5期）は左が抗体検査、右が予防接種の人数。

・任意予防接種　費用助成

なるべく受けておきたい予防接種について、任意接種に係る費用の一部助成を行い、感染症の予防を図った。

（延人数）

区　　分	接種者数		
	R1年度	R2年度	R3年度
乳幼児インフルエンザ	734人	751人	616人
小学生インフルエンザ（H27.10～）	652人	710人	583人
中学生インフルエンザ（H27.10～）	172人	163人	109人
障がい児･者インフルエンザ（R2.10.1～）	-	21人	16人
ロタウイルス　（H27.4～R2.9）	174人	118人	-
おたふくかぜ	112人	119人	85人
風しん（大人）	23人	17人	9人

【成果】　医師会・医療機関と連携し、予防接種事業を実施することで感染症予防につながった。

②新型コロナウイルス予防接種事業　１００，５３７千円

予防接種法に基づき新型コロナウイルスワクチン接種の初回接種（1・2回目）と追加接種（3回目）を実施し、感染予防・重症化予防を図った。

※接種はR3年度から開始

・接種者数

区分	接種者数	内訳		
		集団接種	巡回接種	個別接種等
1回目	11,778人	3,852人	149人	7,777人
2回目	11,632人	3,857人	143人	7,632人
3回目	7,001人	2,983人	253人	3,765人
合計	30,411人	10,692人	545人	19,174人

・接種率

区分	接種率
1回目	80.2%
2回目	79.4%
3回目	46.0%

・集団・巡回接種実施回数

区分	実施回数	
	集団接種	巡回接種
1回目 2回目	52回	22回
3回目	16回	16回
合計	68回	38回

【成果】　町による集団接種、高齢者施設等への巡回接種、中部一市四町の医療機関での個別接種を実施することで新型コロナウイルスの感染予防・重症化予防につながった。

款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　母子衛生費	15,820千円	15,495千円

①母子衛生事業　　　　　　　　１５，４９５千円

・乳幼児健康診査

乳児、1歳6か月児、3歳児を対象に、心身の発達状態を観察するとともに、医師の診察を実施し、健康状態、育児、食事等について相談・助言を行った。

5歳児は保護者の希望等による相談（医師・心理士・就学に関する）を行った。

	R1年度				R2年度				R3年度			
項目	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児
実施回数	6回	5回	6回	4回	6回	7回	6回	4回	6回	6回	6回	4回
対象者	94人	91人	100人	27人	93人	111人	111人	17人	95人	94人	101人	23人
受診者	94人	91人	100人	27人	93人	110人	111人	17人	93人	89人	97人	19人
要精密	4人	2人	10人	13人	4人	3人	12人	9人	4人	1人	13人	6人
追跡観察	1人	7人	13人	4人	7人	15人	22人	3人	21人	22人	27人	6人
要治療	0人	0人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人

・妊婦乳児一般健康診査

妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して実施した。

※延件数

項　目	R1年度	R2年度	R3年度
妊婦一般健康診査	1,202件	1,026件	1,244件
乳児一般健康診査	167件	179件	154件

・乳幼児健康相談及び健康教室
各健康相談、教室を実施するとともに、訪問による指導により、母子保健の推進を図った。

項目	R1年度			R2年度			R3年度		
	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者
離乳食講習会	6回	100人	38人	5回	87人	31人	5回	97人	30人
1歳児教室	6回	88人	45人	5回	75人	36人	5回	88人	36人
2歳児教室	5回	81人	53人	5回	75人	55人	5回	75人	49人
2歳6か月児教室	4回	93人	58人	3回	77人	65人	3回	92人	43人

・訪問指導

	R1年度	R2年度	R3年度
妊産婦	125人	102人	100人
乳児	101人	94人	98人

※延人数

・歯科対策
（1歳6か月児、3歳児健診を除く）

項目		R1年度			R2年度			R3年度		
		回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者
フッ素塗布	3歳未満	9回	174人	111人	8回	152人	120人	8回	167人	92人
	3歳以上	6回	342人	318人	5回	324人	321人	5回	311人	307人
フッ化物洗口	年中・年長	5回	206人	196人	5回	215人	215人	5回	206人	206人
	小学生				26回	803人	731人	29回	818人	742人
歯磨き指導（夏・冬）		12回	686人	668人	11回	649人	640人	10回	628人	622人

※フッ素塗布3歳以上は年1回実施。
　平成29年度から全園で実施。
※歯磨き指導は年2回、全園の3歳以上のクラスで実施。
※フッ化物洗口は町立4園、私立1園の4・5歳児を対象に実施した実人数。
※令和3年度は、コロナ感染拡大により、小学校・こども園とも2月頃から実施を一時中止した。

・妊婦歯科健診、ふしめ歯科検診

	対象者	対象者数	受診者数
妊婦歯科健診	妊婦の方	91人	48人
ふしめ歯科検診	20.30.40 50.60.70歳	1,020人	86人

・保育所・こども園食育
　各園の食育年間計画に基づき食育事業を実施された。町栄養士、食生活改善推進員（食推）も参加し、体験型クッキング活動として味噌汁作りを1園で行った。その他、手洗いチェッカー体験、カレー作り等も行った。

【成果】
　こども園訪問を計画的に実施し、こども園・教育総務課・健康推進課でこどもの発達等について支援を共有・協議し、保護者支援を行うことができた。
　クッキング活動では、子ども達が五感を使って体験し、食に興味を持つ事ができた。正しい手洗いの方法やポイントを確認する事ができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	5 健康支援費	44,592千円	42,139千円

①健康診査等事業　　　　　　　　４０，６６８千円

・基本健康診査、特定健診

病気の早期発見、早期治療、また、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的に実施した。令和元年度より、基本健診、後期高齢者健診は医療機関委託を開始した。

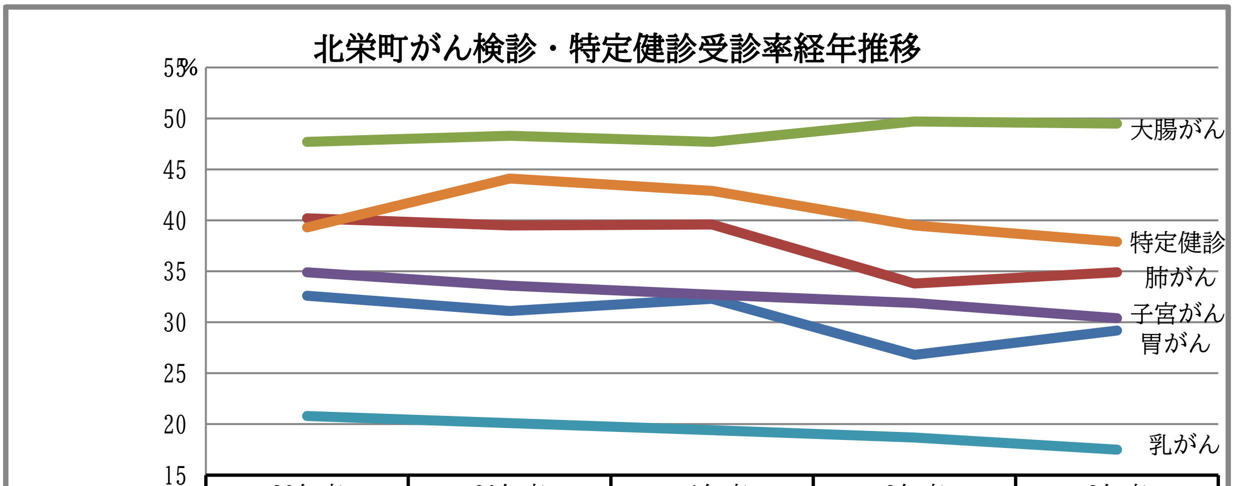
健診区分		受診者数			
		R1年度	R2年度	R3年度	
基本健康診査		154人	125人	108人	
特定健診（国保）		1,291人	1,156人	1,175人	＊費用は国保会計で支出
内訳	集団健診	796人	673人	663人	
	個別健診	391人	402人	512人	
	人間ドック	104人	81人	126人	
特定健診（国保外）		92人	68人	61人	＊支出なし
後期高齢者健診		470人	415人	393人	

・各種がん検診

がんは、総死亡の3割を占めており全がん死亡率は現在も増加傾向にある。がん検診により早期発見し、早期治療を行うことでがん死亡を減少させるために実施した。

※精密受診者はR4年3月31日現在

		R1年度				R2年度				R3年度			
		胃	肺結核	喀痰	前立腺	胃	肺結核	喀痰	前立腺	胃	肺結核	喀痰	前立腺
受診者数	集団	537人	1,620人	9人	196人	394人	1,295人	5人	157人	377人	1,281人	4人	154人
	ドック	266人	266人	3人	120人	210人	210人	3人	89人	275人	277人	2人	130人
	個別	979人	296人	14人	／	876人	357人	18人	／	956人	366人	12人	／
	合計	1,782人	2,182人	26人	316人	1,480人	1,862人	26人	246人	1,608人	1,924人	18人	284人
	うち要精密 ()は受診者	54人 (49)	93人 (71)	0人	15人 (9)	29人 (26)	89人 (74)	0人	12人 (7)	36人 (30)	91人 (78)	0人	14人 (6)
	精密受診率(%)	90.7	76.3	／	60	89.7	83.1	／	58.3	83.3	85.7	／	42.9
		肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸
受診者数	集団	50人	759人	515人	2,777人	32人	697人	475人	2,739人	36人	647人	430人	2,666人
	ドック	72人	／	／	267人	50人	／	／	212人	63人	／	／	274人
	個別	77人	400人	116人	／	47人	435人	134人	／	41人	433人	140人	／
	合計	199人	1,159人	631人	3,044人	129人	1,132人	609人	2,951人	140人	1,080人	570人	2,940人
	うち要精密 ()は受診者	1人 (1)	7人 (7)	40人 (38)	233人 (183)	1人 (1)	14人 (13)	47人 (46)	237人 (170)	3人 (2)	7人 (2)	29人 (28)	188人 (138)
	精密受診率(%)	100	100	95	78.5	100	92.9	97.9	71.7	66.7	28.6	96.6	73.4



	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
胃がん	32.6	31.1	32.3	26.8	29.2
肺がん	40.2	39.5	39.6	33.8	34.9
大腸がん	47.7	48.3	47.7	49.7	49.5
子宮がん	34.9	33.6	32.7	31.9	30.4
乳がん	20.8	20.1	19.4	18.7	17.5
特定健診	39.3	44.1	42.9	39.5	37.9

（速報値）

・人間ドック委託　（対象年齢　40歳、45歳、50歳、55歳、61歳、65歳、70歳）

受診者	R1年度	R2年度	R3年度
男性	122人	90人	132人
女性	145人	123人	146人
計	267人	213人	278人

・訪問指導
健診の事後に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項　目	R1年度	R2年度	R3年度
特定保健指導	51 人	26 人	46 人
健診事後指導	14 人	18 人	28 人

（実人数）

【成果】各がん検診を実施し、胃・肺・大腸・子宮・乳がんにおいて早期がんの人が発見できた。

②健康支援事業　　　　　　　　１，１４５千円

食生活改善推進員（食推）に健康づくりや食育推進に関する知識をさらに深める学習会を開催し、推進員が各自治会において食の分野を中心に健康づくりについての伝達講習会を行った。

項　目	対象者	R1年度		R2年度		R3年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
学習会	食生活改善推進員	6回	187人	6回	103人	6回	93人
伝達講習会	自治会住民	19回	290人	7回	69人	3回	33人
食生活改善推進員養成講座				6回	32人		

・健康相談及び健康教育

健診の事後や自治会を対象に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

・食推伝達講習会は、町補助金で3回、町食推補助金で6回、県・国補助金で9回実施された。

項　目	R1年度		R2年度		R3年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
歯科相談	6回	432人	6	306人	6	256人
いきいき健康講座（各自治会）	41回	847人	11	163人	11	153人
その他の健康教室(出前講座等)	13回	211人	4	68人	4	49人
※ 健診事後教室	7回	83人	4	26人	4	31人
生活習慣病予防講演会	（骨）	52人	（血圧）	48人	（血圧）	41人

※健診事後教室：「食べ方講座」「運動教室」

・小学校食育『弁当の日』の取り組み
小学校、栄養教諭、食生活改善推進員と連携して実施した。
小学6年生が弁当の日に取り組んだ。小学5年生が家庭科の授業を利用した弁当作りに取り組んだ。

・健康ポイントラリー　（健康マイレージ）
健(検)診事業（赤シール）と、健康づくり事業（青シール）の両方を必ず1つ以上使用して5ポイント貯まった方（抽選で200人）に、健康に関する賞品を贈呈した。
事業を2つに分類することで、講座や教室等の参加者を増やし、健(検)診・運動・食事など日常生活における健康づくりの大切さについて健康意識の向上を図った。

応募者数	R1年度	R2年度	R3年度
	561人	317人	335人

※応募条件変更あり

※健診受診・健康づくり事業への参加動機となった割合83.8%　（応募時アンケートより）
※R3年度も新型コロナウイルスの影響により事業等減少したため、応募数は伸びなかった。

・ヘルスアップ教室　（糖尿病性腎症重症化予防）
糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者、受診中断者に適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析等への理解促進と生活習慣を振り返る機会とした。
参加者26人、延43人（医師講演会18人、食事教室11人、血液検査11人、保健指導3人）
※教室参加者の健診・血液検査結果から改善　　HbA1c　35.0%、腎機能　10.0%
医療機関未受診者33人中、受診勧奨により14人受診(42.4%)

【成果】
・食推予算分を含めると12自治会（延16自治会）及び健診会場で合計20回の伝達講習会を実施し、望ましい食習慣の啓発の機会となった。(参加者414人)
・他の組織・団体と連携した食生活推進活動を実施し、食育の普及を図った。
（小・中学校、学校栄養職員、公民館等）

・小学校6年生の『弁当の日』では事前学習、弁当作りを通して、栄養バランスの学習や感謝の気持ちや自立心を養う機会となった。5年生の家庭科授業での弁当作りでは、弁当作りの基礎を学ぶ事ができた。

・血圧講演会は、3職種(看護師、理学療法士、管理栄養士)の先生から血圧測定方法、減塩のコツ、実践しやすい軽運動を学び、血圧管理の大切さを再確認する機会となった。
・いきいき健康講座は、コロナにより開催自治会が少なかったが、開催自治会では健康の意識向上につながった。また健康推進員等合同研修会をTCCでテレビ健康講座として放映したことで広く啓発につながった。
・運動教室終了後、北栄スポーツクラブの回数券11回分を付与し、教室後の運動習慣定着を支援した。

③生活習慣病予防事業　　　　　　　　　　３２５千円

・子どものよい生活習慣づくり
　子どものころからの生活習慣病予防を推進するため、小学6年生を対象に生活習慣病予防講演会を実施した。喫煙の害や糖分摂取、メディア利用の注意など、生活習慣病予防について学ぶ事ができた。新型コロナウイルス感染症予防のため保護者参観はなしとし、啓発として講演内容をYoutubeに動画掲載した。

・中学生におけるピロリ菌検査及び除菌
中学3年生を対象に、将来に向けて胃がんを予防する目的で行った。

項　目	R1年度	R2年度	R3年度
一次検査受診率	81　%	78　%	82.5　%
真の陽性率	4.8　%	2.0　%	3.5　%

④健康づくり人材育成事業　　　　　　　　１千円
　健康サポーターは、運動教室でレクリエーションを担当するなど自主的に活動を続けている。また、自治会や事業所を対象に各種団体と連携を図りながら出前健康講座を企画、運営した。

款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	予　算　現　額	決　算　額
		目	6　後期高齢者医療対策費	235,378千円	231,838千円

①後期高齢者医療対策事業　　　　１８９，１３８千円
　後期高齢者医療広域連合へ支払う療養給付費の町負担分　　180,144 千円
　後期高齢者医療広域連合へ支払う共通経費の町負担分　　　　8,994 千円

【成果】
後期高齢者医療に関する給付及び事務を広域連合で行うことにより効率的な運営となっている。

②後期高齢者重複・頻回受診者訪問指導事業　３６８千円

【成果】
医療費適正化のため、重複受診者6人に対して訪問指導を行った。

③後期高齢者医療特別会計繰出金事業　４２，３３２千円
・基盤安定分　　　39,761 千円
・一般事務費等分　　2,368 千円
・健診個人負担分　　　203 千円

【成果】後期高齢者の健診の個人負担を無料、健診勧奨の一助としている。

款	2　総務費	項	1　総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	20　持続可能なまちづくり推進費	3,766千円	3,293千円

①地域新電力推進事業　　　　　　　２，９９２千円

・鳥取県中部地域新電力構想検討事業
・脱炭素と地域経済の活性化を目指した地域新電力事業について、琴浦町及び湯梨浜町と共同で事業体設立に向けた詳細検討を実施した。

【成果】　理念を共有する企業体を公募し、県中部地区の4社で構成する企業体を選定した。
企業体と3町による協議を行い、民間主導・官民連携で新電力事業を行う(株)鳥取みらい電力が設立された。今後、小売電気事業の資格申請を行い、脱炭素と地域経済の循環を目指した新電力事業がスタートする予定。

款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	7　環境衛生費	17,761千円	14,240千円

①環境衛生事業　　　　　　　　　　１，２２９千円

・環境審議会開催（3回実施：7/2,12/8,3/2）
・環境推進員会開催（3/24）
・クリーンランドほうき管理委員会開催（3/23）
・環境ワークショップ開催（7/25）
・環境学習会

	R1年度	R2年度	R3年度
開催数	1小学校 3自治会 1団体	2小学校 1自治会 3団体	2小学校 2自治会 1団体

・こどもエコクラブ活動支援補助金
（町内の保育所、こども園、小・中学校等）

	R1年度	R2年度	R3年度
活動人数	1,598人	1,584人	1,620人

【成果】第2次環境基本計画の中間見直しを町民参画のもと行った。 環境基本計画に沿った環境衛生事業、環境教育を実施し、住民の環境意識の高揚が図られた。

②広域連合負担金（火葬）事業　　７，５４９千円

斎場の管理運営に要した経費
・中部ふるさと斎場　　　　　7,129 千円
・琴浦斎場（相互利用負担金）　420 千円

【成果】中部ふるさと斎場の維持管理に寄与した。

③猫避妊・去勢手術費補助金事業　　　９３２千円

補助金申請件数・金額　　　　　　900千円

	R1年度	R2年度	R3年度
申請数	47件	72件	112件

【成果】　「人と動物の共生」を理念に、飼い主のいない猫の繁殖抑制と、生活環境の保全を図った。

④犬登録等事業　　　　　　　　　　　１００千円

（単位:頭）

	R1年度	R2年度	R3年度
予防注射済証発行	512	486	423
登録数	730	637	661

【成果】　新型コロナ感染症拡大防止のため、集団接種実施回数が減る中、犬の登録制度に基づき、狂犬病予防注射の徹底を図った。
※R1からR2の登録数の減少については、登録台帳の整理による。

款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	8　環境保全費	254,879千円	254,217千円

①省エネルギー普及啓発事業　　　　　　　１０２千円
・「かんきょうチェックノート」配布（小学4年生）
配布　142人　　提出　123人　　（回収率　86.6%）

【成果】　小学4年生を対象に事前学習を行った上で夏休みに「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギーの取組を実践し、家族を含めた普及啓発ができた。

②創エネ設備等設置費補助金事業　　９，９６７千円　※風のまちづくり事業充当4,883千円
町内の住宅等に太陽光発電システムやその他の創エネルギー設備等を設置する者に設置費用の一部を補助した。

太陽光発電システム			創エネルギー設備等		
年度	件数	出力	木質ﾊﾞｲｵﾏｽ	太陽熱	蓄電池等
R1	12	59.30kW	0件	0件	8件
R2	15	66.84kW	0件	0件	18件
R3	15	81.74kW	1件	0件	19件

【成果】　太陽光発電システムや創エネ設備設置費の一部を補助し、導入促進したことにより、エネルギーの自家消費が増加し、化石燃料由来電力の消費削減につなげた。

③電気自動車急速充電器管理事業　　　　３４６千円　※風のまちづくり事業充当117千円
・道の駅北条公園に設置している電気自動車急速充電器の管理を行った。

【成果】EV車利用者の利便性を確保し、EV車の普及に貢献した。

④省エネ住宅リフォーム補助金事業　２，４１８千円　※風のまちづくり事業充当2,418千円
省エネ推進のため、断熱改修などの省エネリフォームに特化し、改修費用の一部を補助した。
【実績】

	R1年度	R2年度	R3年度
申請件数（件）	23	7	16
補助対象経費（千円）	19,523	3,840	11,209
補助金支給額（千円）	4,634	967	2,418

【成果】　快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギーを進めることができた。

⑤木質バイオマス導入事業　　　２４１，３７４千円
B&G海洋センターに木質バイオマスボイラー（300kW）、太陽光発電設備（54.4kW）、蓄電池(32.2kWh)などを導入した.

ボイラー倉庫

木質バイオマスボイラー

蓄電池倉庫

【成果】　再生可能エネルギーによるクリーンなエネルギーを利用し、災害時における避難所利用の利便性（冬季の暖房利用、停電時の電気利用）を確保した。
　また、夏季は木質バイオマスボイラーをプールの加温に利用することで営業期間の延長などを検討し、町民の健康増進の効果が期待できる。

款	4　衛生費	項	2　清掃費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　塵芥処理費	134,551千円	130,841千円

①塵芥処理事業　　　　　　　　　　　　４９８千円

・R4ごみ収集日程表作成　　5,500部　　　・リサイクルステーション管理
・国坂浜土砂捨場管理

②一般廃棄物収集事業　　　　　　３４，６５２千円

ごみ収集所に排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を委託した。

《収集量》　（単位：t）

	可燃ごみ	不燃ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
R1年度	3,315	131	209	59	92	25	29
R2年度	3,162	133	205	79	86	19	26
R3年度	3,204	134	216	80	82	19	24

③広域連合負担金（ごみ）事業　７７，８４７千円

ほうきリサイクルセンター（ごみ処理施設）、クリーンランドほうき（最終処分場）の管理運営に要した経費

・ごみ処理費　　　　　77,726 千円　　・ごみ処理施設建設費　　　121 千円

④再生資源収集委託事業　　　　　６，３４０千円

再生資源の収集・運搬・処理業務を委託した。

《収集量》　（単位：t）

	ペットボトル	発泡スチロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着
R1年度	20	3	77	41	1	80	64
R2年度	21	3	76	40	1	74	39
R3年度	22	3	77	41	2	80	35

《廃食用油回収量実績》

	収集量（kg）
R1年度	11,986
R2年度	10,427
R3年度	10,677

⑤再生資源回収団体事業　　　　　　　６０２千円

再生資源の回収を行った団体に対し助成金を交付した。

実施団体数　　71　団体

《回収量》

	古紙	缶	びん
R1年度	214 t	25 t	2,499本
R2年度	168 t	24 t	1,628本
R3年度	161 t	23 t	1,021本

《廃棄物のリサイクル状況》

	総排出量 ①	うち再生資源 ②	リサイクル率 ②/①
R1年度	4,391 t	757 t	17.2%
R2年度	4,157 t	674 t	16.2%
R3年度	4,213 t	662 t	15.7%

⑥統一指定ごみ袋事業　　　　　　３，３６６千円

町指定ごみ袋作成

大：150,000枚（300箱）
大：20,000枚（40箱）（環境配慮型）
中：100,000枚（200箱）

⑦海岸漂着物処理事業　　　　　　　２，１９４千円

海岸に漂着した廃棄物を撤去処分するため沿岸16自治会に年3回程度の清掃活動を依頼して手数料を交付した。また、ボランティアで海岸清掃を行われる方々への協力、支援等を行った。

沿岸自治会実施状況

	のべ回数	参加人数
R1年度	45回	1,817人
R2年度	53回	1,670人
R3年度	50回	2,116人

⑧不法投棄対策事業　　　　　　　　　２１５千円

不法投棄防止のため、パトロールや看板設置を行った。

不法投棄防止啓発用看板

	貸出	看板作成
R1年度	6カ所15枚	50枚
R2年度	16カ所25枚	－
R3年度	4カ所5枚	50枚

撤去事業等補助金

	対象数	補助金額
R1年度	－	－
R2年度	6件	346,000円
R3年度	－	－

【成果】　ごみの分別・収集を適正に行えるよう環境整備、体制を整えるとともに、ごみの減量化・再資源化に対し、普及啓発を行った。

地域の美化活動や不法投棄対策事業を推進することで、美しい環境を守るとともに、環境保全意識の高揚を図った。

款	4　衛生費	項	2　清掃費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　し尿処理費	7,640千円	7,622千円

①広域連合負担金（し尿）事業　　　７，６２２千円

クリーンセンター（し尿処理施設）の管理運営に要する経費

・クリーンセンター費　　7,021 千円　　・施設建設費　　601 千円

【成果】クリーンセンターの維持管理に寄与した。

款	7　土木費	項	4　住宅費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　町営住宅管理費	6,569千円	6,032千円

①町営住宅管理事業　　　　　　　５，８９２千円

2団地105戸を管理。

年度内の入居件数は3件、退去件数は6件で、3月末現在の入居率は86.7%となっている。

・修繕費　　2,090 千円　　・昇降設備保守　　2,105 千円
・消防用設備保守　　275 千円　　・白アリ防除　　653 千円
・遊具撤去　　321 千円

・町営住宅の入居状況（令和4年3月31日現在）

団地名	管理戸数	入居戸数
由良宿団地	60戸	59戸
六尾北団地	45戸	32戸
町営住宅合計	105戸	91戸

【成果】　適正に募集、管理し、入所希望者、入居者へ適切に住環境を提供した。

②民間賃貸住宅家賃補助事業　　　　　１４０千円

六尾北団地の用途廃止に伴い、民間賃貸住宅に移転された方への家賃補助を行った。

【成果】用途廃止に向けて円滑な移転を行うことができた。

款	7　土木費	項	4　住宅費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　由良宿団地建設費	33,329千円	33,250千円

①由良宿団地建替事業　　　　　　３３，２５０千円

令和3年2月から事業着手した集会所の建替、駐車場の整備が、令和3年10月に完成した。

集会所

駐車場

【成果】地域住宅計画に基づく建替えにより、適切な住環境の整備を行った。

款	7　土木費	項	4　住宅費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	3　県営住宅費	715千円	579千円

①県営住宅団地管理事業　　　　　　５７９千円

県から3団地22戸の管理委託を受けている。

年度内の入居件数は1件、退去件数は0件で、3月末現在の入居率は95.5%となっている。

・県営住宅の入居状況（令和4年3月31日現在）

団地名	管理戸数	入居戸数
栄第1団地	8戸	7戸
栄第2団地	8戸	8戸
大野団地	6戸	6戸
県営住宅合計	22戸	21戸

【成果】　適正に管理し、入居者に適切な住環境を提供した。

款	7　土木費	項	4　住宅費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	5　向山団地用途廃止費	52,101千円	51,866千円

①向山団地用途廃止事業　　　　　５１，８６６千円

老朽化した町営住宅の解体工事を行った。

【成果】老朽化した町営住宅を解体し、集約化を進めることができた。

款	7　土木費	項	4　住宅費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	9　六尾北団地用途廃止費	444千円	324千円

①六尾北団地用途廃止事業　　　　　　３２４千円

用途廃止に伴う移転費用の補助を行った。

【成果】用途廃止に向けて円滑な移転を行うことができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	1 農業委員会費	42,375千円	41,009千円

①農業委員会総務事業　２０，４３７千円

総会開催等の委員会事務を行う。
（１）　現員　26人　うち農業委員　13人　農地利用最適化推進委員　13人
（２）　総会開催状況　総会13回

・農地法事務処理状況
処理件数

年度	R1年度	R2年度	R3年度
農地法第3条	33件	18件	18件
農地法第4条	6件	1件	1件
農地法第5条	17件	16件	19件
農地法第3条の3	47件	68件	72件
農地法第18条	75件	95件	85件
非農地証明	9件	10件	2件
2a未満転用	1件	0件	0件
土地改良届	0件	2件	0件

農地法第3条　：所有権の移転又は使用貸借権等の設定
農地法第4条　：所有者による農地の転用
農地法第5条　：所有権の移転又は使用貸借権等の設定を伴う農地の転用
農地法第3条の3　：相続等の権利取得の届出
農地法第18条　：農地使用貸借等の解約
非農地証明　：非農地であることの承認
2a未満転用　：小規模な農業用施設設置に係る転用
土地改良届　：水田の畑への変換

・農用地利用集積事業処理状況
処理件数

年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用権設定（筆）	1137筆	1545筆	775筆
うち解除条件付	41筆	65筆	29筆
所有権移転	15件	19件	9件

・農地利用状況調査
遊休農地の状況

年度	R1年度	R2年度	R3年度
再生利用が可能な農地	361,119㎡	383,693㎡	579,774㎡
うち田	84,580㎡	82,375㎡	129,607㎡
うち畑	276,539㎡	301,318㎡	450,167㎡

・農家相談の実施状況
農地などの困りごとについて、農業委員が相談を受ける。　（毎月１回実施）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
相談件数	-	8件	15件

※　令和3年1月から実施

・家族経営協定の新規締結状況

年度	R1年度	R2年度	R3年度
新規締結件数	6件	6件	4件

（３）　委員会活動状況

農地委員会	法人営農状況調査1回（2法人）
農政委員会	意見書提出1回
広報委員会	農業委員会だより『菜種』発行4回

法人営農状況調査

意見書提出

菜種

（４）　農振法事務処理状況

処理件数及び面積

年度	R1年度		R2年度		R3年度	
軽微変更	2件	1,458㎡	－	－	1件	45㎡
重要変更	7件	95,860㎡	2件	10,739㎡	3件	1,554㎡

軽微変更　：農業用施設用地への用途変更等
重要変更　：農用地区域からの除外（農地転用）等

【成果】農地法、農業経営基盤強化促進法、農振法の趣旨に基づき、農地を守り活かすことができた。

②農地流動化推進事業助成金事業　　３，３１５千円

認定農業者等の農地の賃借を助成金で支援し、経営規模の拡大と農地の流動化を図る。

・助成要件　　令和3年1月1日から令和3年12月31日までの間における賃貸借3年以上の利用権設定

・認定農業者　　　　　　　　　　（新規2,000円/10a、更新1,000円/10a）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
対象者（人）	41人	52人	29人
うち家族経営協定締結者	16人	17人	7人
対象面積（㎡）	432,413㎡	942,952㎡	400,359㎡
うち家族経営協定締結者	124,863㎡	125,446㎡	29,261㎡

・認定農業者以外　　　　　　　　（新規1,000円/10a、更新500円/10a）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
対象者（人）	40人	98人	46人
うち家族経営協定締結者	3人	6人	5人
対象面積（㎡）	265,326㎡	568,178㎡	219,400㎡
うち家族経営協定締結者	16,496㎡	35,945㎡	28,736㎡

【成果】認定農業者等の経営規模の拡大、農地の流動化、及び、遊休農地の解消を図ることができた。

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　国有農地等管理処分費	24千円	24千円

①国有農地等管理処分事業　　　　　　　　２４千円

国有農地借受者の耕作状況の把握及び貸付使用料の徴収事務を行う。

【成果】国有農地の有効活用を図ることができた。

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	3　農業者年金費	881千円	881千円

①農業者年金事業　　　　　　　　　　　８８１千円

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上と併せて、農業の担い手を確保するため、新・旧農業者年金加入者の各種手続きや新農業者年金の加入推進を行う。

・農業者年金受給者の届出処理及び指導

被保険者

年度	R1年度	R2年度	R3年度
新農業者年金	47人	54人	54人
うち新規加入者	7人	8人	3人

受給待期者

年度	R1年度	R2年度	R3年度
旧農業者年金	18人	13人	12人
新農業者年金	21人	20人	20人

受給者

年度	R1年度	R2年度	R3年度
旧農業者年金	203人	191人	167人
新農業者年金	28人	31人	34人

【成果】農業者に豊かで安定した老後の生活を提供できた。

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	17　農地中間管理費	2,930千円	2,826千円

①農地中間管理事業　　　　　　　　２，８２６千円

農業の生産性向上や農業経営の効率化を進める担い手への集積・集約を加速させることにより、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、有効利用、効率化を図る。

・中間管理事業による実績

年度	R1年度		R2年度		R3年度	
マッチング（中間管理権設定）	筆数	面積（㎡）	筆数	面積（㎡）	筆数	面積（㎡）
	212筆	380,922㎡	258筆	390,051㎡	121筆	228,046㎡

【成果】担い手への農地の集積を推進することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	16 移住推進費	104,794千円	94,082千円

①上種・両高尾地区地域おこし協力隊事業　4,056千円 ＊国事業(特交)
上種・両高尾地区地域の住民と連携しながら有害鳥獣対策を行うなど地域の活性化となる活動を行った。
【成果】 地域の人と関わり合いを持った有害鳥獣駆除を通じて、上種・両高尾地域の活性化が図れた。

②イチゴ産地化地域おこし協力隊事業　27,112千円 ＊国事業(特交)
イチゴの栽培やイチゴのPR活動を行った。また、先進地の取り組みを調べ、実践し栽培技術の向上に努めた。その他にも、地元農家との意見交換を行い地元との交流を深めるとともに、清掃活動等の地域行事に参加した。
【成果】地域おこし協力隊として、イチゴの栽培技術を学ぶとともに、SNS等によりイチゴのPR活動を行うことができた。また、町内で就農した元地域おこし協力隊を通じ、地元農家との意見交換を行う等、地元との交流を深めた。コロナ禍で県外視察ができない中、ウェブで先進地の取り組みを調べ、栽培に活かし作業効率をアップさせるなど知識・技術の向上を図ることができた。

③ブドウ産地活性化地域おこし協力隊事業　7,841千円 ＊国事業(特交)
（株）北条ワイン醸造所でワイン用ブドウ栽培を学んだほか、北条ワインのPR活動を行った。その他にも、居住地域において地域の清掃活動等に参加し地域住民との交流を深めた。
【成果】年間をとおした一連のブドウ栽培に加え、圃場管理者のもとでの成木の管理や農地拡大に伴う苗植えなどについても、初年度で幅広く実地で学び、基礎的な栽培技術を習得できた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 農業振興費	985,530千円	330,042千円

①農業振興事業　362千円 ＊町単独事業
大栄西瓜PRのため大栄西瓜マスコットキャラクター「夏味ちゃん」のマスク及びクリアファイルを作成して配布した。
マスク　1,000枚
クリアファイル　2,000枚
【成果】作成したノベルティをJAへ提供し、販促活動等で、大栄西瓜のPRができた。

②ブロッコリー産地の広域化・生産強化総合対策事業　1,007千円 ＊県事業（県1/3、町1/6）
ブロッコリーの産地化に向けた機械導入の支援を行った。
3件（管理機2台、運搬車1台、自走コンポキャスタ、フレールモア、刈払機）
【成果】機械導入の支援を行い、栽培面積の拡大につながった。

③経営改善支援活動事業　626千円
・認定農業者審査会報償費　16千円 ＊町単独事業
*審査内容：(7/16)新1,(8/23)新5・更新5,(10/5)新1,(11/25)新3・更7,(3/4)新9・更9
*審査委員＝農家代表2人、学識経験者1人、普及所1人、農業委員2人、JA（営農センター）１人、産業振興課１人
・農業経営基盤強化資金利子補助金　81千円 ＊県事業（県1/3、町1/6）
・果樹等経営安定資金利子助成　13千円 ＊町単独
・果樹共済農家負担軽減補助金　113千円 ＊町単独（自己負担1/2の20%）
・収入保険加入促進事業費補助金　402千円 ＊町単独

【過去の実績】 （件）

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
農業経営基盤強化資金利子補助	5	3	2
果樹共済農家負担軽減補助	41	38	31
認定農業者認定件数（新規）	15(14)	43(20)	40(19)

【参考資料】

認定農業者総数の推移	
R1	127人
R2	137人
R3	150人

＊所得380万円以上
1,800時間労働/年

【成果】安定的な経営をめざす農業者の育成につながった。

④野菜価格安定対策事業　　７５１千円

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業及び鳥取県ブランド野菜価格安定対策事業の資金造成に係る積立を行った。

【成果】野菜の価格下落に対する農家の支援を行い、営農の継続につながった。

⑤農業振興補助金事業　　２９，８６５千円

・北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金　　874千円 ＊町単独事業

コロナ禍で生産者自らが消費地に出かけて行う販売促進活動ができないなか、PR用ポスターやチラシの作成などに要する経費に対して補助金を交付し、さらなるブランド化の推進を図った。

6生産部（長芋、大栄西瓜、オリジナル野菜、花き、らっきょう、ぶどう）

【成果】農産物のブランド化を進め、市場での付加価値を高める取り組みを後押しできた。

・経営所得安定対策推進事業費補助金　　2,419千円 ＊国事業

経営所得安定対策制度を円滑に推進するため、実務を行う北栄町農業再生協議会に対して、補助金を交付した。

【成果】申請に必要な書類の配布や回収、データの整理など必要経費を支援することで、事業が円滑に進められるように支援できた。

・鳥取梨生産振興事業費補助金　　2,018千円 ＊県事業（県2/3）

鳥取県育成オリジナル新品種（新甘泉など）の導入と生産拡大のための費用に対する支援を行った。

3件（梨の改植　52.6a、176本）
（育苗委託　44a、415本）
（育苗委託　44a、413本）

【成果】新甘泉等の導入と生産拡大の支援により、梨生産の活性化を図れた。

・戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金　　10,608千円 ＊県事業（県3/4）

新規就農者の参入促進・梨産地活性化・生産者の所得向上のため、鳥取県育成新品種（新甘泉など）を主体とした果樹団地を戦略的に整備するための費用に対する支援を行った。

【成果】北条島地内で梨団地を整備することにより、効率的な農業運営の支援につながった。

・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金　　13,947千円 ＊県事業（県1/2）

産地で振興する果樹の優良品種の導入、生産基盤の整備のための費用に対する支援を行った。

3件（ぶどう新植　10.00a、15本、連棟ハウス10.00aの整備）
（ぶどう改植　9.17a、3本、連棟ハウス9.17aの整備）
（ぶどう果樹棚20.53aの設置）
１件（柿かん水施設25.61aの設置）

【成果】優良品種の導入及びハウスの整備等に対する支援により、生産拡大を図れた。

【過去の実績】 （千円）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金	994	1,125	874
経営所得安定対策推進事業費補助金	2,564	2,108	2,419
鳥取梨生産振興事業費補助金	2,975	5,632	2,018
戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金	1,551	-	10,608
鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金	15,172	9,621	13,947
水田共同利用機械整備事業費補助金	-	3,666	-

⑥がんばる農家プラン支援事業　　　　　１８，０５４千円 ＊県事業（県1/3、町1/6）

意欲ある農業者等が行う創意工夫を生かしたプランに対して補助金を交付し支援した。

・白ネギ、ブロッコリー拡大プラン（1/3年目）　4,500千円
　農業用作業場
・花壇苗生産拡大プラン（2/3年目）　10,500千円
　花壇苗、野菜苗ハウス
・中玉トマト、ストックの経営安定を図るプラン（2/3年目）　3,054千円
　資材倉庫、トラクター、循環扇

※1件は令和4年度へ繰越

【過去の実績】

R1年度		R2年度		R3年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
5	11,025	6	23,431	3	18,054

【成果】農業者による創意工夫を生かした取り組みにより、規模拡大、所得向上等が行われ、元気な農業者の育成、北栄町農業の振興、活性化につながった。

⑦就農条件整備事業　　　　　　　　　２，８２２千円 ＊県事業（県1/3、町1/6）

新規就農者に対し、就農時に必要な機械・施設の導入に対する補助を行うことにより、営農計画の実現と農業経営の安定を図った。

（整備内容）
○　運搬車（西瓜）　276千円
○　中古トラクター（ねばりっこ、すいか、中玉トマト）　385千円
○　パッケージコンプレッサー/自走動噴/管理機/白ネギ皮むき機（白ネギ）　754千円
○　トマト選果機（ミニトマト）　152千円
○　パイプハウス倉庫/冷蔵庫(ねばりっこほか)　1,255千円

【過去の実績】

R1年度		R2年度		R3年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
4	3,622	6	2,590	5	2,822

【成果】新規就農者の初期設備投資にかかる負担を軽減し、安定した経営への支援ができた。

⑧現地課題チャレンジ試験補助金　　　　１９９千円 ＊町事業

北栄町農業指導者連絡協議会の実施した有害鳥獣捕獲センサーの試験的な取り組みを支援した。

【成果】北栄町の抱える農業課題について、関係機関で情報共有しながら検証を行った。

⑨担い手確保・経営強化支援事業　　　５，２５１千円 ＊国事業（国1/2）

意欲のある担い手の規模拡大に向けた機械導入などについて支援を行った。

コンバイン　米色彩選別機

【成果】地域の水稲農業の担い手を支援することにより、面積拡大を支援できた。

⑩産地パワーアップ事業補助金　　　１０４，７７８千円

・産地生産基盤パワーアップ事業費補助金　1,699千円
　産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取り組みに対する支援を行った。
　＊国事業（国：資材費の1/2）
　　西瓜　寒冷紗　15戸　63枚
・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金　103,079千円
　＊県事業（国1/3（資材費の1/2）、県2/9、町1/9）
　　西瓜　鳥取型低コストハウス　20戸　81棟

【過去の実績】

年度	区分	R1年度		R2年度		R3年度	
西瓜　寒冷紗	繰越	–	–	123枚	–	–	–
	現年	248枚	–	185枚	–	63枚	–
西瓜　低コストハウス	繰越	–	–	20棟	6,862㎡	–	–
	現年	95棟	28,236㎡	47棟	14,627㎡	81棟	26,044㎡

≪繰越分≫

・産地生産基盤パワーアップ事業費補助金（繰越）　　　　１２７，８１７千円

長いも選果場の選果ラインの整備及び冷蔵庫を増設することで、腐れ対策の改善やブランド化を進めた。

＊国事業（国：資材費の1/2）

【成果】低コストハウスや寒冷紗の導入による栽培技術の向上や選果場改修による選果能力を向上することにより、産地活力の向上が図れた。

⑪園芸産地活力増進事業　　　　　　　　３３，９１３千円　＊県事業（県1/3、町1/6）

鳥取県農業の強みの一つである野菜等の振興を図るため、園芸品目の産地づくりや野菜等の供給体制整備の取り組みを支援する。

ストック葉取機（3台）　225千円
ストック切断機（2台）　450千円
らっきょう植付機（7台）　3,663千円
らっきょう洗浄機（一式）　29,545千円
輝太郎マルチ資材（3ロット）　30千円

【成果】各生産団体等の機材等を導入することにより、生産供給環境の整備を支援できた。

⑫農業経営サポート事業　　　　　　　　　　２７７千円　＊町単独事業

・体験農園の管理委託　250千円

JA鳥取中央青壮年部大栄支部ドリームクラブに体験農園の管理委託をし、町内の園児とサツマイモの芋掘りを通じて若手農家との交流を行った。

【成果】苗の定植、芋掘りについて園児と若手農家との交流と、農業体験を支援した。

⑬中部フェスタ事業　　　　　　　　　　　　１２４千円　＊町単独事業

コロナ禍により食のみやこフェスティバルは中止。代替事業として中部地区内のスタンプラリーを実施した。

【成果】多くの人が町内飲食店を訪れる機会とした。

⑭スマート農業社会実装促進事業　　　　２，４５７千円　＊県事業（県1/3、町1/6）

自動換気装置や環境測定装置の導入に関する支援を行った。

3件　ハウスの自動換気装置及び環境測定装置

【成果】自動換気装置の導入などにより持続可能な農業を推進できた。

⑮農産物ＰＲ事業　　　　　　　　　　　　　　３千円

以前から交流のある東京都港区三田一交会へねばりっこを送り、同会主催のこども祭りで販売していただいた。

【成果】コロナ禍で現地へ出向けない職員に代わって販売していただくことで、北栄町農産物の魅力を首都圏で発信することができた。これまでの交流も踏まえて、同区を中心に首都圏でのねばりっこ人気は年々高まっており、販路拡大への一助となった。

⑯戦略的園芸品目総合対策事業　　　　　　３４０千円　＊県事業　生産対策（県1/3、町1/6）

高設ベンチ、電気式農薬噴霧器など機械・設備導入を支援することにより、県育成のオリジナルいちご品種「とっておき」の拡大を図った。

【成果】「とっておき」の面積拡大を図り、産地化を図れた。

⑰鳥取の花いきいき総合戦略事業　　　　　　９８１千円 ＊県事業　生産対策（県1/3、町1/3）
高度な技術が必要である育苗を委託する体制整備の支援を行った。
【成果】品質の安定した苗を定植することで、安定して出荷本数を確保できた。

⑱ジャンボタニシ防除対策事業　　　　　　　４１６千円
町内水田においてジャンボタニシ（スクミリンゴカイ）による被害が拡大しているため、防除作業（農薬散布等）に対して補助金を交付したほか、広報用看板を作成して配布した。
【成果】9つの集落営農組織に交付し、農薬散布等を防除の最適な時期に行うことができた。

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　算　額
		目	6　担い手育成支援費	31,567千円	26,385千円

①担い手育成支援事業　　　　　　　２６，３８５千円

・東伯地区農業士会負担金　　　　　　　　　　35千円 ＊町単独事業
東伯地区指導農業士の活動費について、北栄町の推薦している東伯地区指導農業士5名分について負担金を交付した。

・農業次世代人材投資資金（経営開始型）　　　9,915千円 ＊国事業（10/10）
独立就農をする新規就農者に対して、就農から5年間の生活基盤の安定のため補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

【過去の実績】（交付金）

R1年度		R2年度		R3年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
9	10,265	8	7,341	9	9,915

・親元就農促進支援交付金　　　　　　　　　11,800千円 ＊県事業（県2/3、町1/3）
親元で就農しようとする後継者の農業研修をサポートすることにより、地域の農業力の底上げを図るとともに、将来の地域農業の中心となる人材の育成を行った。

【過去の実績】

R1年度		R2年度		R3年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
13	11,400	17	16,400	12	11,800

・就農応援交付金　　　　　　　　　　　　　1,985千円 ＊県事業（県2/3、町1/3）
独立就農をする新規就農者のうち農業次世代人材投資資金の対象外となった者について、就農から3年間の生活基盤の安定のため補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

【過去の実績】

R1年度		R2年度		R3年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
1	850	2	985	4	1,985

・産地主体型就農支援モデル確立事業　1,308千円 ＊県事業　チラシ作成（県1/3）
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　施設整備（県1/3、町1/6）
主体的に後継者を確保し育成する仕組みのモデル確立を目指す組織に対して、研修に必要な設備等の整備や体制構築の取り組みに対して支援を行った。

【成果】大栄西瓜組合協議会が主体となった新規就農者受入に必要な設備などを整備することにより、新規就農者が定着しやすい産地の体制づくりを行った。

・　農業次世代人材投資事業費補助金返還金　　　　408千円
所得による交付金額の変更に伴う交付金の返還（1人分）

・　親元就農促進支援交付金補助金返還金　　　　　933千円
対象者が交付の要件を満たさなくなったことによる補助金返還（1人分）

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	7　農林業地域改善対策費	1,396千円	1,122千円

①国坂地区砂丘暗渠排水管理負担金事業　　　６６千円 ＊町単独事業

地域改善対策事業で設置した暗渠について、砂堆積による放水口の閉塞を開削するため、維持管理をしている大野自治会へ開削費用を補助した。

【成果】地元負担の軽減となった。

②地域改善対策負担軽減事業　　　　　１，０５６千円 ＊町単独事業

県営ほ場整備事業（21世紀水田対策大倉地区）に係る地元負担金及び経常経費に対し補助した。

【成果】地元負担の軽減となった。

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	8　畜産振興費	8,064千円	5,376千円

①畜産振興事業　　　　　　　　　　５，３７６千円

・鳥取和牛振興計画推進事業補助金（増頭対策）　　4,193千円 ＊県事業（県1/3、町1/6）

繁殖雌牛の増頭（計19頭）に対する経費を支援した。

【成果】鳥取和牛の振興及び繁殖雌牛の導入費用の負担を軽減できた。

・乳用牛優良精液利用促進事業補助金　　　　　　　822千円 ＊町単独事業（町1/2）

優良精液の購入費の補助を行い、優良精液の種付けをすることにより、泌乳能力の向上と高品質な牛乳の生産を図り、安定した酪農経営を支援した。

【過去の実績】

R1年度		R2年度		R3年度	
配布本数	金額（千円）	配布本数	金額（千円）	配布本数	金額（千円）
203本	828	178本	731	161本	822

【成果】優良精液を各酪農家が利用し、優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保へ向けた支援ができた。

・畜産経営維持継続支援対策事業補助金　　　　　　279千円 ＊町単独事業（105円/1頭）

肉豚経営安定交付金制度（マルキン）負担金の一部を補助し、経営の維持継続を支援した。

（肉用牛についてはコロナ臨時交付金を利用）

【成果】2,660頭の肉豚に対し、肉豚経営安定交付金制度（マルキン）を掛け、その一部を補助することで経営の維持継続の支援をすることができた。

・後口谷畜産団地西側伐採・集積作業委託料　　　　55千円

後口谷畜産団地西側に繁茂している草木等の伐採した。

【成果】敷地内及び敷地外に垂れ下がっている草木を伐採することで、適正な施設管理ができた。

・鳥取県畜産推進機構負担金　　　　　　　　　　　24千円

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	9　農地費	83,983千円	55,429千円

①単町農業農村整備事業　　　　　　　　　４，０１６千円 ※町単独事業
町が管理する農道の除草、修繕等を行った。
・農道管理委託料　　　　　　　　　　　　2,901千円
シルバー人材センター、大栄西瓜組合協議会（スイカロード除草）、町内業者へ業務委託した。
・農道修繕工事請負費　　　　　　　　　　　848千円
町管理農道の修繕を行った。
・小規模修繕工事請負費　　　　　　　　　　39千円
災害復旧事業で仮設道路等を設置させていただいた個人所有の水田について、均平作業を実施した。
・農道台帳管理費　　　　　　　　　　　　　228千円
【成果】町が管理する農道等の適切な管理ができた。

②単県・団体営基幹農道借入金償還金事業　　　　　　　２３０千円 ＊町単独事業
・土地改良事業に係る町道新設改良事業費の債務負担
【成果】農道整備に係る負担軽減ができた。

③土地改良区地元負担軽減補助金事業　　　１３，２９７千円 ＊町単独事業
地域農業の経営安定と活性化を目的として、地元負担軽減のため土地改良区への補助を行った。（町道新設改良事業費償還金補助を含む）
・北条砂丘土地改良区関係　　　　　　　3,133千円
・北条水系土地改良区関係　　　　　　　4,636千円
・大倉土地改良区関係　　　　　　　　　1,904千円
・大栄町土地改良区関係　　　　　　　　3,624千円
【成果】土地改良区へ補助することにより農家の負担軽減となった。

④県営土地改良事業費負担金事業　　　　　　　４，５００千円

県営農業用河川工作物等応急対策事業（土地改良施設耐震対策事業）北条用水地区の市町村負担金
【成果】北条用水の耐震工事を進めることにより、安心して営農できる環境整備を行っている。

⑤国営事業　　　　　　　　　　　　　　１０，３１２千円
・西高尾ダムトイレ等修繕費　　　　　　　　309千円
・西高尾ダム周辺施設維持管理委託料　　　1,542千円 ＊町単独事業
・国営東伯地区維持管理事業負担金　　　　8,323千円 ＊国、県、町（北栄37.8%、琴浦62.2%）
・国営東伯地区基幹水利施設更新事業負担金　　124千円 ＊国、県、町（北栄37.8%、琴浦62.2%）
【成果】対象施設の適切な維持管理が図れた。

⑥ふるさと活性化基金積立金事業　　　１７，５５４千円
多面的機能支払交付金活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うための貸付（交付金交付時に償還）をするために、ふるさと農村活性化基金積立金を積立した。
【成果】基金を活用して貸付事業を行うことで、国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動をしてもらうことができた。

⑦団体営農業農村整備事業　　　　　　　　２，１８４千円

・農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金　　2,184千円

＊国51.7、県17.5、町17.5、改良区13.3%（北条砂丘）　＊国55.0、県17.5、町17.5、改良区10.0%（大栄町）

北条砂丘土地改良区と大栄町土地改良区が既存施設の機能診断結果に基づいて施設を修繕、更新する費用に対して、補助を行った。

【成果】土地改良区に事業費を補助することにより、農家の負担軽減となった。

⑧農村整備事業　　　　　　　　　　　　２，４１５千円

・農道橋定期点検業務委託料　　　　　2,415千円　＊国事業（10/10）

異常に起因した事故を防止し、適切な維持管理を行うため、各部材の点検・診断を実施した。

【成果】農産物の輸送（一般交通も含む）の安全を確保し、適切な維持管理を図れた。

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	10　中山間地域等直接支払費	176千円	176千円

①中山間地域等直接支払事業　　　　　　　１７６千円　＊国1/2、県1/4、町1/4

農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等（東高尾地区）における農業生産の維持を図るための活動に対し補助するもの。

年度	R2年度	R3年度
協定数	1	1
対象用地	15,689㎡	15,689㎡

※協定期間　R2～R6（第5期）

【成果】中山間地域の農業生産の維持が図れた。

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	11　有害鳥獣防除費	1,542千円	1,366千円

①有害鳥獣防除事業　　　　　　　　　　１，３６６千円

有害鳥獣の捕獲や駆除により、農産物への被害を防いだ。

・鳥獣被害対策実施隊賃金　　　　　　200千円　＊町単独事業

・射撃環境改善事業補助金　　　　　　33千円　＊県事業（県1/3、町1/3）

有害鳥獣捕獲に従事する者の射撃練習に係る費用を支援し、野生鳥獣の保護管理を図った。

・侵入防止柵購入支援補助金　　　　　244千円　＊県事業（県1/3、町1/3）

・ヌートリア等捕獲奨励金　　　　　　810千円　＊県事業（県1/3、町1/3）

一部町単独…カラス、アナグマ

・狩猟免許取得補助金　　　　　　　　1千円　＊町単独事業

・猟銃等購入費補助金　　　　　　　　15千円　＊町単独事業

【過去の実績】　（匹、頭、羽）

捕獲・駆除	奨励金	R1	R2	R3
ヌートリア	3,000円	33	120	94
イノシシ	10,000円	50	32	74
カラス	1,000円	92	37	42
シカ	猟期外10,000円	6	4	6
アナグマ	3,000円	17	5	10

・カラス一斉駆除用弾代　　33千円

・捕獲器等購入費　　30千円

＊シカの捕獲については、猟期（11/1～2月末）は奨励金5,000円。

【成果】実施隊による捕獲を積極的に行ったことにより、農作物等への被害の軽減を図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 多面的機能支払交付金費	109,191千円	107,269千円

①活動支援推進交付金　　　　　　　　　　　　１０７，２６９千円
・多面的機能支払交付金　　　　　　　　　88,780千円 ＊国1/2、県1/4、町1/4
・広域化事務局補助金　　　　　　　　　　　　160千円 ＊国1/2、県1/4、町1/4

地域住民が行う、農地や農業用施設などの農村資源や自然環境の保全の共同活動、農業用施設などの施設の長寿命化を図るための活動に対して交付金を交付した。

25の組織のうち24の組織で広域協定を締結し、より活動に専念できる環境となった。

ふるさと活性化基金を活用し、交付金支払いまでの間の各組織の活動費について貸付（無利子）事業を行った。（多面広域協定）

【過去の実績】（取組組織数）

	R1年度	R2年度	R3年度
多面的機能（農地維持、資源向上（共同））活動支援交付金	23（うち21は広域）	24（うち22は広域）	25（うち24は広域）
多面的機能（資源向上（長寿命））活動支援交付金	22（うち21は広域）	23（うち22は広域）	24（いずれも広域）

【成果】

各組織ごとで農地や自然環境の保全、施設等の長寿命化が図れた。

（組織数 2）広域協定組織、東高尾清流の郷

（広域協定組織数　24組織は下記のとおり）＊順不同

江北環境保全会	西園みどりの会	下種地域ふるさと保全会
弓原地区農地・水・環境保全会	六尾農地保全の会	妻波地区農地・水・環境保全会
下神地域環境保全隊	瀬戸みどりネット	大谷ふるさと愛創会
松神豊かな郷	原農村資源保全協議会	ＴＭＡ（田井）
北尾環境活動組織	穂波水とみどりの会	北条島地区水田耕作者の会
米里農地保全の会	大島みどりと水を守る会	上種ふるさと守る会
まがり美土里グループ	西穂波地区環境保全会	中北条水田を守る会
東園環境保全活動組織	亀谷環境保全会議	由良別所地域水田耕作者の会

・多面的機能支払交付金推進貸付金　　　　　　15,900千円

ふるさと農村活性化基金積立金を活用して、多面的機能支払の活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うために貸付をした。（多面的機能支払交付金交付時に償還）

【成果】国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動をしてもらうことができた。

●ふるさと農村活性化基金（＊R4.3.31現在）

	R3年度
基金残高	17,553,930円

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 しっかり守る農林基盤整備費	62,320千円	37,077千円

①しっかり守る農林基盤交付金　　　３７，０７７千円
①整備工事請負費　　　　　　　　　　1,793千円 ＊県事業（県1/2、町1/2）
②整備砕石購入費　　　　　　　　　　　223千円 ＊県事業（県37.5%、町37.5%）
③基盤整備補助金　　　　　　　　　　35,024千円 ＊県事業（内容により補助率が異なる）

農道補修、畑かん用水ポンプ修繕、畑かん用水管更新、令和3年7月豪雨災害による災害復旧などを行った。

【成果】農業生産基盤の改良、新設及び改修等が図れた。

※一部は令和4年度に繰越

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	14 環境保全型農業直接支援対策費	681千円	680千円

①環境保全型農業直接支払対策事業　　　　６８０千円 ＊県事業（国1/2、県1/4、町1/4）

農薬の50％削減と地球温暖化効果のある取り組み（カバークロップ（レンゲ草））など環境保全型農業に取り組む農家等に対し、交付金（6,000円/10a)を交付した。

【過去の実績】

R1年度		R2年度		R3年度	
件数	面積（a）	件数	面積（a）	件数	面積（a）
1	1,009	1	1,289	1	1,134

【成果】環境保全を重視した農業生の取り組みを支援できた。
＊取組団体：原西部営農組合

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	18 土地改良施設維持管理適正化事業費	4,703千円	4,703千円

①土地改良施設維持管理適正化事業　　４，７０３千円 ＊県事業（国30%、県30%、町30%、改良区等10%）

土地改良施設の整備・補修・維持管理に必要となる事業費を5年間積み立て、整備補修を実施する事業に取り組む改良区に対し交付金を交付した。

・北条砂丘土地改良区関係　　4,446千円　　・北条水系土地改良区関係　120千円
・大倉土地改良区関係　　　　137千円

【成果】5年後の事業実施に向け、積み立てができた。

改良区	積立金残高（全体額）	着工予定年度	主な工事（予定）内容
北条砂丘土地改良区	37,020千円	R4～R8	揚水機場ポンプ、機器整備補修
北条水系土地改良区	1,200千円	R6	揚水機場整備補修
大倉土地改良区	5,040千円	R5、R7、R8	揚水機場ポンプ整備補修

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	28 気象災害等対策費	73,496千円	9,027千円

①気象災害対策事業　　　　　　　　　　　５，２０４千円（県1/3　町1/6）

・　大雨被害農産物緊急防除対策事業費補助金　　　　　445千円（県1/3　町1/6）
令和3年7月豪雨の際に農作物の緊急防除を行った。
【成果】緊急防除により農作物の被害を最小限にくいとめた。

・大雨被害園芸パイプハウス等復旧対策事業費補助金　　4,759千円（県1/3　町1/6）
令和3年7月豪雨により被害を受けたパイプハウスの復旧を支援した。
【成果】早期に災害前の営農を行えるよう支援できた。

②　気象災害対策事業（繰越）　　　　　　３，７３１千円

令和2年12月の大雪により被害を受けたパイプハウス等の復旧を支援した。
【成果】早期に災害前の営農を行えるよう支援できた。

③緊急防除支援事業　　　　　　　　　　　　９２千円

湯梨浜町水田で被害が拡大するジャンボタニシと縞葉枯れ対策のため、湯梨浜町が実施する「水田病害虫緊急対策(秋耕うん推進)事業補助金」について、北栄町に住所を有する農家の経費分を負担した。
【成果】関係機関と連携しながら被害拡大に努めることができた。

※令和3年12月～令和4年1月の大雪被害については、令和4年度へ繰越

款	5　農林水産業費	項	2　林業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　林業振興費	14,155千円	13,402千円

①枯松伐採促進事業　８３５千円　＊町単独事業（事業費の60％を助成）

松くい虫による被害拡散防止と枯松による危険防止のために行った伐採に対し、経費を補助した。

＊　事業体：3団体2個人

【過去の実績】（本）

	R1年度	R2年度	R3年度
枯松伐採	7	9	87

【成果】枯松伐採費用の負担軽減を行うことで、被害拡大の防止につなげた。

②林業労働者福祉向上推進事業　１５１千円　＊町単独事業

林業労働者共済年金掛金及び林業労働者年末一時金支給の経費に対して助成を行った。

＊　事業体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団

【成果】　林業労働者の生活の安定と福祉の向上に寄与することで林業労働者の確保及び就労条件の改善を図れた。

③林業関係負担金事業　３７５千円　＊町単独事業

（社）鳥取県緑化推進委員会負担金　35千円
鳥取県治山林道協会負担金　10千円
天神川流域林業活性化センター負担金　10千円
日本伐木チャンピオンシップin鳥取負担金　320千円
【成果】　地域の森林整備により森林の公益的機能の充実を図れた。

④林道事業　５,３０１千円

林道大谷1号線の竹の根対策修繕工事を行った。

【成果】車両の通行に支障となっていた舗装の修繕を行い、林業作業車両及び一般車両の円滑な交通改善を図れた。

⑤間伐材搬出促進事業　６７５千円　＊町単独事業（1,000円/㎥を助成）

間伐の推進、間伐材の搬出を促進するため、間伐材の搬出経費に対して助成を行った。

＊　事業体：鳥取県中部森林組合

【過去の実績】（ha）

	R1年度	R2年度	R3年度
伐採面積	8.29	5.94	6.76

⑥森林クラウドシステム整備事業　７７千円

県・町・林業事業体が共有して森林情報を管理するシステムの整備を行った。

【成果】森林情報の更新を行うことで林業事業の推進に役立った。

⑦森林経営管理事業　５,９８９千円　※森林環境譲与税

森林環境譲与税を活用し、新たな森林管理システム推進センターの支援を受け、森林経営管理制度における経営管理意向調査及び経営管理権集積計画作成業務を行った。また、森林整備のための基金積立を行った。

経営管理意向調査業務　1,275千円
新たな森林管理システム推進センター負担金　589千円
森林環境譲与税積立金　4,125千円
【成果】　適切な森林経営管理を行うための計画策定を推進できた。

●森林環境譲与税積立金（＊R4.3.31現在）

年度	R3年度
基金残高	6,643,274円

款	5　農林水産業費	項	2　林業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　松くい虫防除費	82,137千円	80,535千円

①松くい虫防除事業　　　　　　　４６,９３４千円 ＊県事業

松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤散布防除及び被害木の伐倒駆除を実施した。
令和3年度は松枯れの被害拡大に早期に対応するため、県内事業者の協力や有識者も含めた特別対策会議を開くなど特別対策を行った。

業務内容	R3年度	
	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	59ha	5,821千円
松くい虫防除地上散布	7.5ha	1,558千円
松くい虫被害特別伐倒駆除（枝条破砕）	1,235㎥	37,327千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	1,490千円
養蜂群移転補償	1式	433千円
その他（動員費、事務費）	1式	305千円

【過去の実績】

業務内容	R1年度		R2年度	
	業務量	金額	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	95ha	7,169千円	95ha	8,803千円
松くい虫防除地上散布	8.5ha	1,035千円	8.5ha	1,669千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	277.3㎥	11,484千円	196.6㎥	8,109千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	757千円	1式	91千円
養蜂群移転補償	1式	636千円	1式	632千円
その他（動員費、事務費）	1式	430千円	1式	322千円

【成果】松くい虫防除及び、松くい虫被害木の徹底伐採を行い、農業への影響をおさえた。

②松くい虫防除事業（繰越）　　　３３,６０２千円 ＊県事業(県1/2)

松くい虫被害木材積712㎥の伐倒駆除を実施した。
【成果】松くい虫が被害木から健全木へ脱出を始めるまでに伐倒駆除を実施したことにより被害の拡大防止を図れた。

款	5　農林水産業費	項	2　林業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	3　松林保全対策費	432千円	365千円

①松林保全推進事業　　　　　　　　　３６５千円 ＊町単独事業

松くい虫に強い松（抵抗性クロマツ）の苗木の購入を行い、関係者に配布し、松林の保全を行った。
＊　5地区（東新田場、弓原浜、下神、松神、西園）

【過去の実績】

	R1年度	R2年度	R3年度
購入本数	1,020本	1,530本	1,445本
地区数	4	4	5

【成果】抵抗性松を配布して各地区に植栽していただき、松林の再生・管理につなげた。

款	5　農林水産業費	項	2　林業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　竹林整備費	426千円	341千円

①竹林整備事業　　３４１千円

・竹林整備事業補助金　　313千円 ＊県事業

放置竹林を整備（伐採）する費用に対し、森林環境保全税を活用し支援を行った。

＊施行地面積が0.1～1.0ha未満（補助率8/10）

整備面積　　0.10ha

整備個所　　1か所（曲）

【過去の実績】

	R1年度	R2年度	R3年度
伐採本数	2,320本	1,196本	1,360本
箇所数	1	1	1

【成果】竹林の拡大防止と森林環境の改善が図られた。

款	5　農林水産業費	項	3　水産業費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　水産業振興費	38千円	14千円

①水産振興事業　　１４千円 ＊町単独事業

・種苗放流事業費補助金

水産資源の増大を図るため、漁協が行う種苗（キジハタ）放流事業に対し支援した。

＊町負担　　キジハタ　　（事業費 －（県負担：事業費×3/4））×1/2

【過去の実績】

	R1年度		R2年度		R3年度	
	放流	漁獲（kg）	放流	漁獲（kg）	放流	漁獲（kg）
キジハタ	2,943.5尾	1,143	2,978.5尾	893	1,148.5尾	531

【成果】中間育成種苗を放流し、水産資源管理を図れた。

款	6　商工費	項	1　商工費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　商工振興費	157,529千円	111,227千円

①商工振興事業　　５，８１１千円 ＊町単独事業

・商工会育成補助金　5,800千円

商工会が行う経営支援事業、交流事業、地域活性化事業に補助し、商工業者の活動を支援した。

また、商工会員の事業所を訪問して、聞き取りや支援策の提案などを行った。

【過去の実績】商工会育成費補助金

R1年度		R2年度		R3年度	
会員数（人）	補助金額（千円）	会員数（人）	補助金額（千円）	会員数（人）	補助金額（千円）
380	5,800	400	5,800	402	5,800

会員数は年度末の数字

【成果】商工会の経営支援事業及び地域総合支援事業に対する補助により、事業を支援できた。商工会員数は増加傾向にあり、組織率（会員数/町内事業者数）も70%を超え、多くの町内事業者の活動支援につながった。

②マル経融資利子補助事業　　　　　　　　２０５千円　＊町単独事業

事業者の経営改善のために経営改善貸付（マル経融資）を活用した事業者に対し、返済分に係る利子補助を行った。

【過去の実績】

	R1年度	R2年度	R3年度
件　　数	16	13	11
補助金額（千円）	457	385	205

【成果】経営改善に取り組む事業者の負担を軽減し、間接的に中小企業の発展の一助になった。

③中小企業支援事業　　　　　　　　　　３２０千円

町内企業PRによる人材確保、ビジネスマッチングを目的として、町内企業39社の紹介をメインに、移住希望者向け支援策なども盛り込んだ『北栄町企業ガイドブック』を800部作成した。

【成果】町内小中学校や中部地区各高校に配架するとともに、新成人や移住希望者などに配布して、就職につながるよう地元企業を紹介できた。

④企業立地及び雇用促進事業　　　　９，０８１千円

・企業立地等促進奨励金　　　　　　　　　　　9,081千円

事業所の新増設に伴う投下固定資産税相当額を奨励金として支給した。

＊該当企業に対し3ケ年間助成を行うもの。

19件（新規：8件　継続：11件）

【成果】企業が実施する設備投資に対し奨励金を交付することで、企業の発展につながり、地域経済の活性化の一助となった。

⑤ほくえい味覚体験促進事業　　　　　　２４１千円　＊町単独事業

ほくえい味覚めぐりクーポン券事業を実施し、町内観光農園及び飲食店のPRを行った。三朝温泉の観光情報冊子「MisasaNavi」に北栄町内の観光農園の情報を掲載した。北栄町HPや町内に2か所設置してある観光農園パネルの更新を行い、観光客の町内への誘客を図った。

【実績】

ほくえい味覚めぐり			
クーポン券発行枚数	342枚	補助金額	34千円

【成果】町内外からの観光客に、本町の農産物の魅力にふれていただくきっかけとなった。

⑥就労・創業支援事業　　　　　　　５，６２６千円　＊町単独事業

町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。

創業支援事業補助金　　　　　　　　　　　2件

設備工事（江北）・リサイクルショップ（大島）　　1,526千円

由良宿まちづくり活性化支援事業補助金　　2件

飲食業・菓子製造業　　　　　　　　　　　4,100千円

＊由良宿地域において、対象業種を飲食業・小売業・宿泊業に業種を絞り、にぎわい・経済循環を生み出し観光地としての魅力を高めることを目的とする。

【成果】創業時の初期投資に係る負担軽減を図ることで、町内産業の振興に繋がった。

⑦砂丘地振興基金積立金事業　　　　　　　　　　２千円　＊町単独事業

砂丘地振興基金の定期預金利子を基金に組み入れた。

【過去の実績】　（千円）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
基金残高	83,452	83,456	56,606

※基金から道の駅北条公園土木・建築基本設計業務委託料（繰越事業）財源の26,852千円を取り崩したことによる残高の減額。

【成果】基金残高としては減額となったものの、道の駅北条公園再整備事業に取り崩した基金を充当して砂丘地振興を図るとともに、資金運用による預金利子を積み立てることができた。

⑧道の駅北条公園再整備事業　　　１０，４７８千円

基本計画に基づき、土木基本設計（※）、建築基本設計（※）、解体実施設計、用地補償調査を実施した。適宜指定管理者と協議を行い、意見を事業に反映した。
（（※）は、令和4年度への繰越事業）

【成果】道の駅北条公園の基本設計について、大枠がまとまった。
並行して、解体実施設計、用地補償調査を実施し、令和7年4月の開業に向け概ね順調に進捗させることができた。

⑨町内消費拡大支援事業　　　　　１，４２６千円

商工振興とまちづくりへの参画促進を図り、北栄町商工会が実施する「キャッシュレス決済・地域ポイントカード事業（ほくほくカード）」を後押しするため、行政活動等に参画した町民に対しポイントを付与した。

【成果】初年度として1,371,110ポイントの公共ポイントを町民へ付与し、キャッシュレス決済や地域ポイントカード事業の拡大普及を支援できた。

款	11 災害復旧費	項	3 農林施設災害復旧費	予算現額	決算額
		目	2 農地・農業用施設災害復旧費	150,332千円	26,442千円

①農地・農業用施設災害復旧事業（補助）　　　　８８０千円　＊国10/10

令和3年7月豪雨で被災した農道について、通行が出来るよう、応急工事により仮復旧した。
また、予算残額は翌年度へ繰越し、被災箇所の復旧事業を引き続き行う。

②農地・農業用施設災害復旧事業（単独）　　２５，５６２千円

令和3年7月豪雨の国の災害査定を受けるために、復旧計画や査定設計書の準備のため、鳥取県土地改良事業団体連合会に測量設計業務を委託した。
＊査定設計委託費等補助金　国1/2

【過去の実績】　（千円）

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
事業費	1,420	7,176	32,575	0

【成果】国の災害復旧事業を活用し、令和3年7月豪雨により被災した農業用施設8箇所の復旧計画を立て、復旧工事に着手した。

※令和3年7月豪雨による復旧事業は令和4年度へ繰越

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	28,833千円	26,784千円

①北栄砂丘まつり交付金事業　　　　　　　　　０千円

・第15回北栄砂丘まつり

【成果】　※新型コロナウイルス感染拡大により中止。

②国内外の交流推進事業　　　　　　　　　９６千円

【成果】・滋賀県湖南市との友好交流協定10周年を記念し、「友好交流協定10周年記念式典」を2月10日にオンラインで開催し、「友好交流協定に関する確認書」を締結し、今後も引き続き交流を行い友好を深めていくことを改めて確認した。また、これまで交流した住民や職員のインタビュー動画や記念式典の様子を両市町の公式Youtubeで公開し、友好交流についての周知を行った。
※台湾台中市大肚区との青少年訪問団を計画していたが、新型コロナウィルスの影響を勘案し、事業を中止した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	16 移住推進費	104,794千円	94,082千円

①北栄暮らし支援事業　　　　　　５１，８０６千円

・移住奨励金　9,525千円(県1/2)※県外転入者の場合
・若年層移住定住者住宅取得支援補助金　20,015千円(県1/2)※県外転入者の場合
・家財道具等処分費補助金　100千円(県1/2)※県外転入者が居住の場合
・定住支援住宅取得補助金　16,100千円
・空き家利活用流通促進事業補助金　3,600千円(県1/2)
・移住支援員の配置　2,193千円(県1/2)

【実績】

事業名	R1年度	R2年度	R3年度
移住相談会(東京･大阪)	8回	7回※全てオンライン	7回※全てオンライン
移住奨励金	63人/20件	79人/29件	103人/34件
若年層移住定住者住宅取得支援補助金	15件	24件	26件
IJUターン空き家改修支援事業補助金	0件	0件	０件
家財道具等処分費補助金	2件	1件	1件
定住支援住宅取得補助金	37件	27件	35件
空き家利活用流通促進事業補助金		2件	4件
Uターン就職活動交通費助成事業補助金		1人	0人
移住支援員配置	1人	1人	1人

【成果】　北栄町への移住・定住を推進するため、オンライン移住相談会への参加、パンフレットの更新、配布等を行い北栄町を広くPRした。また、北栄町独自のオンライン移住相談会を4回開催した。PRを行ったことで、移住希望者の移住選択肢の一つとして北栄町を提示することに繋がった。
　奨励金交付、若年層の住宅取得に対する補助などを行い、移住・定住の促進を図ることができた。また、町内者へも住宅取得に対する補助を行い定住を促進することができた。町内外問わず幅広い支援を行うことで、町内に住み続けたいと思うキッカケ作りとすることができた。
　空き家の不要な家財の処分費用を補助することで、空き家の利活用を促進することができた。空き家を利用する移住者だけでなく、空き家の活用に苦慮していた所有者の支援に繋がった。

②おためし住宅事業　　　　　　　　　　２２０千円

・おためし住宅　消耗品費・光熱水費・委託費・通信費　　220千円

【実績】

	R1年度	R2年度	R3年度
人数/利用件数	12人/5組	-人/-組	-人/-組

【成果】　※新型コロナウィルスの影響を勘案し、年間を通し利用を停止した。

③地域づくり地域おこし協力隊事業　３，０４７千円

名探偵コナンによるまちづくり地域おこし協力隊は、募集を行い1人が8月に着任し、令和4年度に開催する名探偵コナン巨大迷路のリニューアル案を提案するなど、コナン通りを中心とした賑わい創出に関する取り組みを行った。

妻波地区地域おこし協力隊は、募集を行いオンラインで個別相談などを行ったが、任用までには至らなかった。

【成果】　観光、地域活性といった隊員が抱えるミッションを果たすことで、その取り組みから地域、町の活性化に寄与し地域の賑わいを創出した。

款	6　商工費	項	1　商工費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　観光費	99,223千円	92,556千円

①観光振興事業　　　　　　　　　３４，８０4千円

観光施設を整備して受け入れ態勢の向上を図り、関係団体と連携して観光案内や情報発信を進め、誘客宣伝を図った。

・各種手数料（遊具点検、防火管理者資格取得講習等）　348 千円
・各種業務委託　3,481 千円
（観光パンフ作成保管配布、観光施設草刈り、鳥取空港観光案内等）
・観光施設整備工事（レークサイド大栄遊具新設）　2,420 千円
・観光施設等修繕工事　16,188 千円
・指定管理施設の備品購入　171 千円
・北栄町観光協会補助金　11,525 千円
・関係団体等負担金　513 千円
（鳥取中部観光推進機構、鳥取県観光連盟、道の駅連絡会等）
・レークサイド大栄20周年イベント　989 千円

【成果】　コロナ禍においても、施設整備や観光案内、情報発信を進めることで、感染終息後の集客回復を見込んだハード、ソフト両面の整備を進めた。

②観光施設指定管理者委託事業　１７，６５６千円

4か所の町有施設に指定管理者を置き、サービスの向上と運営の効率化を図った。

・観光施設指定管理委託料　17,008　千円
＜内訳＞　北条海浜広場 ｝ 5,102 千円
　　　　　蜘ケ家山山菜の里 ｝
　　　　　お台場公園　5,953 千円
　　　　　レークサイド大栄　5,953 千円
・北条海浜広場消防用設備保安委託料　22　千円
・土地賃借料（北条海浜広場、レークサイド大栄案内誘導看板）　622　千円
・レークサイド大栄運営委員会報償　4　千円

【実績】

年間利用状況（利用者数）

区　　分		R1年度		R2年度		R3年度	
オートキャンプ場			13,359人		8,751人		8,623人
お台場公園			53,446人		29,101人		30,861人
レークサイド大栄			43,974人		40,270人		39,022人
主催グラウンドゴルフ大会	一般	35回	6,325人	26回	5,267人	31回	6,429人
	会員	9回	738人	6回	623人	6回	664人

【成果】　新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、指定管理者によるサービスの向上と運営の効率化を進め、施設の適切な整備を行ったことで利用者の利便性の向上を図った。

③コナンのまちづくり事業　　　　２６，７０８千円

- ・ノベルティグッズ（ピンバッジ、不織布バック、メモ帳）の制作　1,119 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路の開催（委託先：北栄町観光協会）　6,495 千円
  （R3開催委託分　5,079千円、R4（R3)開催委託分　1,416千円）
  （R3累計入場者数9,826人、R3入場料収入3,488千円（町収入分））
- ・名探偵コナン巨大迷路装飾ラッピング制作設置委託　1,266 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路改修等工事　1,033 千円
- ・マンガのまちづくり推進研修会　1,804 千円
- ・青山剛昌ふるさと館再整備基本構想策定検討会　84 千円
- ・青山剛昌ふるさと館再整備基本構想策定委託　8,580 千円
- ・「まんが王国とっとり」協働推進補助金（交付団体：2団体）　2,123 千円
- ・まんが・アニメ関連商品開発支援事業補助金（交付団体：2団体）　60 千円

【成果】　コロナ禍においても、集客催事として巨大迷路を開催し、コナン通りの受け入れ環境を整備することで、「名探偵コナンに会えるまち」を内外に発信し続け、感染終息後のＶ字回復に向けて布石を打つことができた。
　また、青山剛昌ふるさと館再整備基本構想の策定を行い、ふるさと館再整備に向けた議論を進めた。

④「まんが王国とっとり」協働推進事業　１３，３８７千円

- ・服部平次＆遠山和葉キャラクターオブジェの設置　11,990 千円

【成果】　新しいキャラクターオブジェを設置したことで、SNS等で話題となり、ファンや観光客、住民の方の関心を高めることができた。

款	6　商工費	項	1　商工費	予　算　現　額	決　算　額
		目	3　お台場公園サービスエリア費	3,001千円	2,749千円

①お台場公園サービスエリア管理事業　２，７４９千円

お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を行った。

- ・トイレ清掃委託料　2,174 千円
- ・トイレットペーパー等消耗品購入費　471 千円
- ・施設の維持管理（消防設備点検、修繕費など）　103 千円

【実績】

年間利用状況（利用者数）

区　　分	R1年度	R2年度	R3年度
レストラン・売店	49,685人	14,892人	18,902人
農産物直売所	261,812人	244,702人	230,004人
計	311,497人	259,594人	248,906人

【成果】　お台場公園サービスエリア（道の駅大栄）の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。

款	6　商工費	項	1　商工費	予　算　現　額	決　算　額
		目	4　北条砂丘公園センター費	2,539千円	2,506千円

①北条砂丘公園センター管理事業　　２，５０６千円

北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を行った。

・トイレ清掃委託料　1,087 千円
・トイレットペーパー等消耗品購入費　109 千円
・光熱水費（希望の館含む）　437 千円
・施設の維持管理（トイレの修繕など）　873 千円

【実績】

年間利用状況（利用者数）

区　　分	R1年度	R2年度	R3年度
農産物直売所・食事処	29,950人	20,400人	20,780人

【成果】　北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。

款	11　災害復旧費	項	2　公共施設災害復旧費	予　算　現　額	決　算　額
		目	2　商工施設災害復旧費	965千円	905千円

①観光施設復旧事業　　９０５千円

【成果】　7月豪雨により崩落した蜘蛛ヶ山 山菜の里法面の復旧工事を適切に行うことにより、施設利用者の安全確保、維持向上を図った。

款	4　衛生費	項	1　保健衛生費	予　算　現　額	決　算　額
		目	7　環境衛生費	17,761千円	14,240千円

①合併処理浄化槽整備事業　４３５千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
補助事業費	－	412千円	435千円

・浄化槽法第11条検査未受験者への受検指導通知（郵便料）13千円
・合併処理浄化槽設置費補助金（区域外：青木）　422千円

【成果】令和3年度設基数：1
下水道が整備されていない地域で、汚水や雑排水を処理するために合併処理浄化槽を設置しようとする者に浄化槽設置助成を行い、公共用水域の水質保全に寄与した。

②合併処理浄化槽特別会計繰出金事業　３，９９４千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
繰出金	4,609千円	4,441千円	3,994千円

【成果】合併浄化槽特別会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。

③浄化槽設置事業推進基金積立金事業　１千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度	うちR3　利息
基金残高	1,647千円	1,553千円	1,459千円	31円

【成果】基金利息分の積立を行った。

④上水道事業会計繰出金事業　１４０千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
繰出金	－	240千円	140千円

【成果】水道事業会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。

款	5　農林水産業費	項	1　農業費	予　算　現　額	決　算　額
		目	4　農業総務費	79,213千円	75,856千円

①農業集落排水特別会計繰出金事業　９，１８５千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
繰出金	9,209千円	9,134千円	9,185千円

【成果】農業集落排水特別会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。

②集落排水事業推進基金積立金事業　２千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度	うちR3　利息
基金残高	7,278千円	6,243千円	5,210千円	1,872円

【成果】基金利息分の積立を行った。

款	7　土木費	項	1　土木管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　土木総務費	187,482千円	129,198千円

①土木総務事業　　　　　　　　　　１，７９３千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	6,235千円	1,171千円	1,793千円

・研修旅費（橋梁管理事務者Ⅰ研修）　　　44千円
・消耗品購入　　　　　　　　　　　　　　725千円
　騒音防止材、チェーンソー目立て、カラーコーン、通行止め看板、図書（災害手帳ほか）等
・通常点検、災害等緊急対応等（維持管理）247千円
　機械、車両（軽ダンプほか）等燃料、自賠責、公課費ほか
・不動産鑑定手数料、印紙税等　　　　　　740千円
・現場確認保存用デジタルカメラ　　　　　37千円

【成果】業務に必要となる資機材の整備等を行い、道路管理等を円滑に行うことに寄与した。

②土木総務関係負担金事業　　　　　　２４８千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	356千円	291千円	248千円

・研修負担金（受講料）　　　　　　　　　　9千円
　軟弱地盤対策研修、橋梁管理実務者研修
・道路建設関係団体負担金（分担金）　　　179千円
　鳥取県道路利用者会議、国道313号整備促進期成同盟会、中国国道協会、
　国道9号整備・山陰自動車道建設促進鳥取県期成会、日本道路協会
・海岸・治水砂防・道の駅等負担金（会費）　60千円
　全国海岸協会、全国治水砂防協会鳥取県支部

【成果】大規模事業等の予算確保に向けた要望活動等を行い、事業推進に寄与した。

③震災に強いまちづくり促進事業　　５，８３３千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	5,370千円	5,358千円	5,833千円

・耐震化助成告知用ポスター作製　　　　　　47千円
・木造住宅耐震診断業務委託料（建築士協会）608千円
・震災に強いまちづくり促進事業補助金　　5,178千円
　（内訳）
　ブロック塀撤去8件、改修設計2件、有料診断1件、
　自治公民館診断1件、耐震改修2件

【成果】危険なブロック塀の除却（撤去）改修をすすめることができたほか、住宅の耐震化についても地道に啓発を続けており、年間数件ずつではあるものの、継続的に耐震改修工事が行われており、町内住宅の耐震化に寄与することができた。

着工前

撤去後

④法定外公共物事業　　　　　　　　　１，１３４千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	2,564千円	974千円	1,134千円

・暗渠排水土砂撤去（西新田場）　66千円
・水路補修工事（国坂浜）　86千円
・防護柵設置（大島）　67千円
・マリーナ大栄　航路確保のため浚渫　880千円
　異常堆積したため緊急的に実施したもの（1回限り）
　今後は、利用者のマリーナ大栄で対応。
・原材料（常温合材）購入　35千円

【成果】法定外公共物等の維持管理を行い、受益者の安全・安心の確保に寄与した。

⑤勤労者体育センター法面崩壊災害復旧事業　　　６９，０２９千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	-	-	69,029千円

・地質調査業務　3,632千円
・地盤変動調査調査業務　6,896千円
・工事用車両等進入道路借地　164千円
・法面改修工事「測量設計業務」　8,030千円
・法面仮設工事　48,567千円
・用地補償（物件移転）　1,740千円

【成果】R3.7豪雨により被災した勤労者体育センターの法面復旧に着手し、周辺住民の安全・安心な生活の確保に寄与した。

⑥斜面崩壊災害復旧事業　　　　　　　１，０４０千円

・斜面崩壊復旧工事測量設計委託　1,040千円
　由良地区単県斜面崩壊復旧工事「測量業務」

【成果】斜面復旧対策として、測量業務を行ったことで、安全性の高い工事をすることが可能となった。
＊工事費は、R4（R3繰越）で対応。

着工前

施工後

款	7　土木費	項	2　道路橋梁費	予　算　現　額	決　算　額
		目	1　道路維持管理費	235,841千円	168,192千円

①道路維持管理事業　　　　　　　６３，２１１千円
①-2　　　　　【繰越】　　　　２７，０５３千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	61,907千円	75,550千円	90,264千円

・除雪関連費用①-１　（町道）　34,087千円（＊社交金充当残分）
冬期除雪　町内全域　6回（32,834千円）
除雪機械リース、破損修繕等（1,253千円）
・除雪関連費用②（消雪装置維持管理ほか）3,924千円
電気料金、巡視点検整備、下神融雪ポンプ修繕、凍結防止剤購入等
・土木積算システム（機械リース）　502千円
・町道除草委託料　10,933千円
【繰越分】　4,442千円
通学路、幹線町道等
・道路台帳システム保守　132千円
・嘱託登記分外部（司法書士）委託料　143千円
・維持修繕関係費（道路補修原材料購入含む）9,825千円
【繰越分】　22,354千円
道路維持修繕　町道側溝修繕工事　17件
主な工事内容：舗装陥没修繕、側溝蓋修繕、路肩修繕、安全施設修繕、原材料費　等
・橋梁補修アドバイス業務委託料【繰越分】　257千円
・除雪機械運転手育成支援事業補助金　892千円
・地域共同施設災害復旧事業補助金　2,773千円

【成果】町管理道路の維持修繕等を行い、利用者に安全で快適な走行環境を提供した。

②道路メンテナンス事業　１６，４６８千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	-	-	16,468千円

・橋梁定期点検 39橋　10,308千円
・橋梁修繕工事　2橋（畑ケ田橋、浜川橋2）　6,160千円

【成果】橋梁の老朽化対策として、39橋の法定点検及び2橋の修繕工事を行い、施設の長寿命化を促進した。

③道路長寿命化維持管理事業　６１，４６０千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	46,748千円	62,950千円	61,460千円

・舗装修繕関係費　61,460千円
舗装長寿命化工事　3件（7路線）

【成果】必要に応じて町道等の維持管理を行うことにより、安全な交通を確保した。

款	7　土木費	項	2　道路橋梁費	予算現額	決算額
		目	2　道路新設改良費	451,100千円	285,392千円

①社会資本整備総合交付金事業　２０７，３０６千円
①-2　【繰越】　４４，１８２千円

社会資本整備総合交付金は、これまでの国土交通省所管の地方公共団体向けの個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫が活かせる総合的な交付金制度として創設されました。道路、港湾、治水、下水道、海岸、都市公園、市街地整備、住宅及び住環境整備等といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を国が総合的・一体的に支援する制度です。

年度	R1年度	R2年度	R3年度
交付金事業費	204,047千円	166,183千円	251,488千円

・除雪関連費用①-2（社交金充当分）　　8,985千円
・測量設計業務委託　　60,303千円
【繰越分】　　11,450千円
町道11路線　測量設計業務
【繰越分】町道4路線（島畷道線、育英東線、松神国坂線（田井工区）、高千穂西穂波線）
・道路改良工事　　137,108千円
【繰越分】　　28,509千円
町道10路線　舗装修繕ほか
【繰越分】町道１路線（松神国坂線：田井4工区（側溝改良）、田井5工区（舗装工事））
・用地取得、用地補償（物件移転）　　910千円
【繰越分】　　4,223千円
中電（物件移転）、町道１路線（米里12号線）

【成果】通学路において路側帯を確保するための側溝改良や冠水対策のための道路嵩上げ等を行い、利用者の安全で快適な走行環境を提供した。

②道路メンテナンス事業【繰越】　３３，９０４千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
補助事業費	－	40,096千円	33,904千円

・道路橋補修設計（放水路5号橋、松垣橋ほか）委託　　18,152千円
・駅南歩道橋ほか橋梁補修工事積算補助業務委託　　1,250千円
・橋梁修繕工事　2橋（釜谷橋、浜川橋1）　　14,502千円

【成果】橋梁の老朽化対策として、9橋の設計及び2橋の修繕工事を行い、施設の長寿命化を促進した。

款	7　土木費	項	3　河川総務費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　河川総務費	1,280千円	1,067千円

①河川総務事業　４２６千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
受託事業費	333千円	348千円	426千円

・天神川樋門操作（国から受託事業：江北排水樋門外1門）　233千円
・由良川樋門操作（県から受託事業：瀬戸排水樋門外1門）　61千円
・弓原浜対策活動費負担金　100千円
・天神川改修促進期成同盟会負担金　32千円

【成果】大雨時に河川からの逆流防止を図り、堤内地の浸水被害を防止した。

②浜川水路橋維持管理事業　６４１千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
維持管理費	619千円	584千円	641千円

・弓原地区浜川の北条川放水路横断水路橋維持管理事業　　641千円
操作業務委託、電気料金、修繕費、需用費等

【成果】水路橋の適切な維持管理を行い、浜川の機能を保全することができた。

款	7　土木費	項	5　都市計画費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　下水道費	796,638千円	796,638千円

①下水道特別会計繰出金事業　７９６，６３８千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
繰出金	914,338千円	896,215千円	796,638千円

【成果】下水道事業へ繰出しを行うことにより、下水道事業会計の経営安定化を図ることができた。

款	11　災害復旧費	項	1　土木施設災害復旧費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　道路橋梁災害復旧費	125,751千円	70,933千円

①道路橋梁復旧事業（補助）　１１，１９７千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	30,900千円	-	11,197千円

・土砂撤去工事　147千円
・町道災害復旧工事　11,050千円
　妻波青木線外2路線、島米里線外1路線

②道路橋梁復旧事業（単独）　５９，０９０千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	11,358千円	-	59,090千円

・災害復旧工事積算業務委託　1,101千円
・道路災害復旧工事「測量設計業務」　36,717千円
・道路復旧工事　21,272千円
　ブルーシート、倒木処理、土砂撤去ほか

【成果】 令和3年7月豪雨により被災した町道施設等の災害復旧工事を発注し、早期復旧に向けて着手した。

被災状況

工事中

③法定外公共物復旧事業（単独）　６４６千円

年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	-	-	646千円

・土砂撤去緊急対応工事（西高尾ほか）　130千円
・管渠補修工事（弓原浜）　199千円
・災害復旧工事（瀬戸）　317千円

【成果】 令和3年7月豪雨等により被災した法定外公共物等の復旧工事を行い、受益者の安全・安心を確保した。

款	3　民生費	項	1　社会福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	7　重層的支援体制整備事業費	30,247千円	26,760千円

①地域子育て支援拠点事業　　　　　　　　　　１，０６０ 千円

子育て家庭の交流の場の提供や、母親のリフレッシュにつながる取り組みを行った。

利用数　　　　　　　　　　　　　（数値は延数）

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
年間利用世帯数	4,778	2,908	2,192

【成果】

新型コロナウイルスの影響で来所者数が減少したものの、利用者からの「リフレッシュできた」「他の人と交流できてよかった」などの声が多く、満足度の高い取り組みを行うことができ、親子の交流や母親の気分転換を図ることができた。

②利用者支援事業　　　　　　　　　　　　　２，８０１ 千円

妊産婦・乳幼児等の実情把握や、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ必要な情報提供・助言・保健指導・関係機関との連絡調整を行った。またアプリによる情報配信を行った。

【成果】

妊産婦・乳幼児の保護者からの相談を受け止め、抱える課題の解決にむけての支援ができた。またアプリにより様々な事業の周知をすることができた。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　児童福祉総務費	246,578千円	240,293千円

①子育て総務事業　　　　　　　　　　１７５，１９０ 千円

町内私立こども園、私立保育所及び町外保育所・園に委託し、保育を実施するとともに、保護者の仕事と育児の両立を図った。

・北条みどりこども園

園児数（町外からの広域入所は含まず）　　　　（3月末現在）

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R1	人数	12	12	11	17	17	14	83
R2	人数	6	13	14	12	16	19	80
R3	人数	6	6	13	15	12	17	69

・栄保育所

園児数（町外からの広域入所は含まず）　　　　（3月末現在）

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R1	人数	2	3	3	0	0	4	12
R2	人数	6	1	3	0	0	0	10
R3	人数	6	4	2	0	0	0	12

・広域保育

園児数　　　　　　　　　　　　　　　　　　（3月末現在）

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R1	人数	10	12	13	6	14	11	66
R2	人数	8	7	10	10	5	16	56
R3	人数	12	9	12	8	12	6	59

【成果】　保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

②木育推進事業　　　　　　　　　　　　　　２１０ 千円

7か月児健診時に県産材を使った積木セットをプレゼントした。

・配布数　　94セット

【成果】 親子で木と触れ合うことを通して、豊かな心を育んでもらえるきっかけを提供できた。

積木セット

③在宅育児支援事業　　　　　　　　　　１０，３７１ 千円

乳幼児をこども園などに預けずに家庭で保育する保護者に給付金を支給した。

・支給件数　　延べ　134件

【成果】 家庭で保育する保護者へ経済的な支援を行うことができた。

④ネウボラ事業　　　　　　　　　　　　　５６６ 千円

専任のコーディネーター（保健師）が母子健康手帳の交付から継続的に関わり、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行った。

・母子健康手帳交付件数　　91件、養育支援訪問件数　延べ　14件

【成果】 個々のケースを把握し、ハイリスク妊婦（世帯）については、関係課や医療機関と情報共有しながら必要な支援を行い、虐待やDVの未然防止につなげた。

⑤産前産後サポート事業　　　　　　　　　１０１ 千円

産前産後の体調不良のため、家事などを行うことが困難な場合にヘルパーを派遣した。

・利用件数　延べ　3件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、安心して出産を迎え、子育てができる環境を整えた。

⑥産後ケア事業　　　　　　　　　　　　　　６５ 千円

出産後に、育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない場合に、医療機関等で心身のケアや育児のサポートを行った。

・デイサービス型　母子利用　延べ　4件

・アウトリーチ型　延べ　9件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、母子が安心して過ごせる環境を整えた。

⑦パパママ教室　　　　　　　　　　　　　　５０ 千円

妊娠・出産・育児に関する不安軽減、子育て中の孤立防止、育児技術の習得に向けて、妊婦とその家族に対して知識の普及と地域での相談場所・仲間つくりを行った。

・参加者　延べ　54人　（妊婦　30人、夫　19人、その他家族　5人）

【成果】 夫等家族の参加もあり、妊婦への理解や産後の孤立予防につながった。

⑧魅力ある園づくり事業　　　　　　　　　２０６ 千円

各園から提案のあった園独自の創意工夫による魅力ある幼児保育教育活動の計画に対し補助金を交付し、各園で取組を実施した。

・北条こども園：親子読書の推進～「家読」取組の充実～

・大谷こども園：体幹を鍛え・集中力を高める運動遊び

【成果】 各園での個別課題の解決に向けた新たな試みの立案と実践の推進につながった。

大谷こども園スラックレール

⑨親育ち事業　　　　　　　　　　　　　　２０３ 千円

虐待の未然予防につなげるため、子育ての不安軽減や養育能力の向上を図るための「笑育講座」や「生きるための心の教育」に取り組んだ。

【成果】　保護者や地域の方が子どもに対して「ほめる、共感する、待つ」など肯定的な関わりを学び、虐待の未然予防につなげることができた。
　将来、安心と喜びを感じる妊娠・出産を迎えるため、生きるための心の教育の取り組みを町内小中学校と共同で実施し、意識向上を図ることができた。

⑩施設等利用給付事業　　　　　　　　　　９１７ 千円

無償化の対象である3歳以上の子どもに対し、預かり保育、認可外保育施設の入所等について一定の範囲で施設へ給付した。

・利用件数　　3件

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　認定こども園管理運営費	545,609千円	537,964千円

①町立こども園管理運営事業　　　　７４,８２１ 千円

・北条こども園管理運営事業　24,390　千円
・大誠こども園管理運営事業　22,432　千円
・由良こども園管理運営事業　21,471　千円
・大谷こども園管理運営事業　 6,528　千円

園児数　　　　　　　　　　　　　　　　（3月末現在）

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	広域入所	合計
R1	23	61	74	87	98	99	442	7	449
R2	30	53	69	89	91	98	430	2	432
R3	24	62	64	84	89	95	418	2	420
北条こども園	15	19	31	35	38	41	179	0	179
大誠こども園	3	24	16	21	25	29	118	1	119
由良こども園	3	17	14	26	22	22	104	1	105
大谷こども園	3	2	3	2	4	3	17	0	17

保育料徴収の状況　　　　　　　　　　　　（単位：千円・％）

年度	R1年度			R2年度			R3年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	35,293	35,293	100.0	16,616	16,616	100.0	21,005	21,005	100.0
滞納繰越分	105	48	45.7	52	52	100.0	0	0	0.0
計	35,398	35,341	99.8	16,668	16,668	100.0	21,005	21,005	100.0

※令和元年10月から幼児教育・保育無償化制度施行。
※各こども園には、北栄町外からの広域入所分を含む。

【成果】　国基準を上回る北栄町の基準による適正な職員配置に努め、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えた。また、園内研修の充実を図るとともに、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。
　施設の定期的な点検を行い、必要に応じて補修や工事を実施し、安全を確保した。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	3　放課後児童健全育成費	23,616千円	23,548千円

①放課後児童健全育成事業　　　　　２３，５４８ 千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、放課後の安全な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。（令和元年7月から民間事業者へ委託して実施。）

利用児童数等　　北条なかよし学級　定員：100人　　大栄こども学級　定員：80人

年　度		児童数（3月）							月平均 登録数	最大登録		年日数（日）
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		月	人数	
北条	R1	51	27	16	11	3	1	109	115.0	7月	129	286
	R2	32	39	20	8	4	0	103	112.3	4月	133	289
	R3	39	27	24	13	2	1	106	122.0	7月	145	291
大栄	R1	29	22	17	11	0	0	79	82.2	4月	90	286
	R2	28	14	16	11	6	0	75	88.6	4、7月	107	289
	R3	29	21	9	7	0	0	66	74.9	4月	93	294

※人数は、利用数ではなく申込数

【成果】　放課後や夏休みなどの長期休業中など、児童が適切に生活したり遊べる場を提供することで、保護者が安心して働ける環境を整備できた。

款	3　民生費	項	2　児童福祉費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	5　地域子育て支援費	1,026千円	1,026千円

①ファミリー・サポート・センター事業　　　３７ 千円

地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮し、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と援助ができる人（提供会員）の調整を行った。

会員数　（3月末）

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
活動件数	10	9	3
提供会員	3	3	5
依頼会員	37	28	19
会員合計	40	31	24

【成果】　子育て世代のサポートができた。

②乳幼児健康支援一時預かり事業　　　　　９２２ 千円

子どもが病気にかかりこども園等に登園することができず、保護者が仕事などを休むことができない場合に、病院等の専用スペースで一時預かり保育を倉吉市に委託し行った。

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
病児保育事業	66	69	53
病後児保育事業	5	7	12

※年間利用児童数（延人数）

【成果】　病気の子どもを安心して預ける場所を提供することで、保護者の就労等のサポートができた。

③休日保育事業　　　　　　　　　　　　６７ 千円

日曜・祝日等に保護者の勤務などで保育ができない場合の対応として、休日保育を倉吉市に委託し行った。

・利用件数　　　　１件

【成果】　保護者の就労等のサポートができた。

款	9　教育費	項	1　教育総務費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　教育委員会費	1,796千円	1,774千円

①教育委員会事業　　1,774 千円　（教育関係負担金含む）

毎月1回の教育委員会の定例会を開催したほか、必要により臨時会を開催した。総合教育会議、各種研修会等への出席やこども園、小学校、中学校への計画訪問、諸行事に参加した。

- 教育委員会　定例会11回、臨時会1回
- 教育委員会視察　コロナウイルスの感染拡大状況により実施見送り
- 総合教育会議　6月2日、12月8日、3月22日
  意見交換のテーマ　義務教育課程の30人学級の実施について／北栄町教育大綱について　など
- 計画訪問（こども園、小・中学校）　前期：5月～6月、後期：10月～11月
- 負担金　郡教委連絡協議会負担金、県市町村教委研究協議会負担金

【成果】　教育委員会においては、法令等に定める議決事項等の審議決定に加え、教育行政における懸案事項等について協議を行い、教育行政の振興を図った。

計画訪問を行い、教育活動の現状や学校経営上の成果と課題を把握した。また、学校経営について意見交換を行い、今後の教育推進方策について協議した。

款	9　教育費	項	1　教育総務費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　事務局費	330,322千円	320,580千円

①事務局事業　　19,469 千円

就学前教育に係る指導助言、就学相談や指導助言等を行うため、指導主事を4名配置。

音田教育振興基金から、経済的な問題がある等の困難な中学生に高等学校入学準備費給付金を支給した。

授業用及び校務用パソコンの整備（リース）

音田教育振興基金給付状況

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
給付金支給者	6人	5人	4人
給付金合計額	60万円	50万円	40万円

【成果】　指導主事4名により、こども園幼児から中学校生徒までの子どもたちの豊かな育ちや学びなどについてこども園、小中学校等へ指導等を行った。学校教育以外においても家庭教育や人権教育にも指導的立場で意見を述べ、教育の振興を図った。

音田教育振興基金を活用し、向学心旺盛ながら経済的に支障があるなどの中学生に高等学校入学準備費を支給し、学習を支援した。

②事務局関係負担金事業　　9,208 千円

教育に関する次の負担を行った。

学校災害共済掛け金負担金	1,104 千円
少人数学級実施協力金	6,000 千円
中部こども支援センター負担金	1,275 千円
ＩＣＴ共同化推進協議会負担金	736 千円　など

【成果】　少人数学級の導入により、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させたほか、不登校児童生徒の学校復帰を目指す中部子ども支援センターの活動を支援した。

③教育力向上事業　　　　　　　　　　　6,611 千円

大学教授等を講師に迎え授業研究を行い、児童・生徒の学力向上に向けた取り組みを行った。

・サマースクール　（7月26日ほか5日間、中央公民館講堂など）
・イングリッシュスクール　（8月6日間、1月末～2月中旬8日間、各中学校）
・学力等調査の実施（ハイパーQU、知能検査、学力検査、診断テスト、RST）
・地域で子どもを育てる体験活動支援　（土下自治会外3団体）
・英語検定受験料助成　4級17人、3級35人、準2級1人、2級1人、準1級1人
・特色ある学校づくり（北条小、大栄小、大栄中）
　北条小：「北条ルネッサンス」　　大栄小：「ふるさと地域学習の推進」
　大栄中：「YouTu部発足、公式YouTubeチャンネル発信」

【成果】　サマースクール～まなびの広場～や地域で子どもを育てる体験活動支援事業などにより、夏休み等の学習習慣定着につなげたほか、授業研究会に大学教授や准教授を招聘して、指導方法や教材研究について学び、実践に活かした。

学力調査等の実施・分析により、指導内容の工夫を図った。

英語検定3級以上の受験者を増やすために4級受検から助成を実施。併せて中学生の英語力向上のためイングリッシュスクールを実施。ALT等とのリスニング、スピーキングに特化した取り組みで参加生徒は意欲をもって取り組んだ。

特色ある学校づくり推進事業では、各学校で創意工夫のある教育活動の機会づくりにつながった。

④ふるさと鳥取見学（県学）支援事業　　　458 千円

県の補助金（補助率1/2）を活用し、社会科見学を行った。
北条小学校6年：鳥取砂丘他　　大栄小学校6年：鳥取砂丘他

【成果】　県内の素晴らしい自然環境や文化財等を見学する機会をつくり、鳥取県についての理解・関心を深め、ふるさとを愛する心の育成につながった。

⑤発達支援体制整備事業　　　　　　　　823 千円

障がいのある又は発達に支援を必要とする乳幼児、児童、生徒に対し、自立と社会参加に向けた適切な支援を行う体制を構築。福祉課・健康推進課・教育総務課で連携した事業を行った。

特別支援教育アドバイザーを配置し、こども園、小中学校において発達支援に関する指導助言を行った。

【成果】　3課で情報共有しながら対応したことで、それぞれの時期に必要な支援をスムーズに行うことができた。こども園・小中学校で支援の必要な児童生徒への関わり方について指導助言を行ったことで、児童生徒の課題を改善・軽減することにつなげられた。

⑥児童自転車用ヘルメット着用推進事業　　26 千円

小学生自転車用ヘルメットの購入費補助を行った。申請者：18人。

【成果】　対象を未就学児に拡大し制度を周知したことで、未就学児への着用の推進につなげることができた。

⑦コミュニティスクール推進体制構築事業　　1,531 千円

4月に各中学校区学校運営協議会を設置し、地域と学校の連携・協働に取り組んだ。

【成果】　両中学校区学校運営協議会を設置し、延べ300人以上の地域の人に学校での学習支援や地域での通学見守りなどに関わっていただいた。子どもの学びに深まりが生まれるだけでなく、子どもたちの育ちについて地域と共有し、今後の取り組みについても熟議を進めている。

⑧GIGAスクール構想整備事業　　　　　　　　４，４４８ 千円

GIGAスクール構想の推進にあたり、タブレットの利活用を進めるため、専門知識のあるICT支援員の委託配置や通信環境の確保等を行った。

【成果】　タブレットの利活用を円滑に進めることができた。

⑨北条中学校大規模改造事業　　　　　　２００，２５５ 千円

建築24年が経過した北条中学校の施設長寿命化を図るための大規模改造工事を行った。

【成果】　屋根防水改修、内外壁改修等を実施し、施設の長寿命化を図ることができた。

⑩幼児通級指導教室設置事業　　　　　　　　　９４２ 千円

発達支援が必要な園児（年中・年長児）を対象に、通所による個別指導や小集団指導を実施した。保護者面談を実施し相談対応を行った。

【成果】　一人一人の園児の発達や個々のニーズに応じた目標を設定し指導を行うことで、子ども達が「できた」喜びを味わいながら自信をつけた。園生活においても変容が見られた。

保護者の思いに寄り添いながら、子どもの育ちを共有したり、その子に合った関わり方を共に考えたりしていくことができた。

⑪高校生等通学費助成事業　　　　　　　　２，３６７ 千円

高校生等を抱える世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの教育の機会の均等を図ることを目的として、通学費用を支援した。

【成果】　県内16高校等から、68人の申請があり、通学費を支援することができた。

⑫フリースクール利用料軽減事業　　　　　　　７２０ 千円

町内の義務教育段階にある児童生徒がフリースクールに通う経費に対する支援を行った。

【成果】　町内フリースクールに通う3人（中学生2人・小学生1人）から申請があり、通学経費を支援することができた。

⑬大栄中学校体育館屋根等改修事業　　　　７，０４０ 千円

建築から28年が経過し老朽化が進んでいる大栄中学校の体育館について、施設長寿命化を図るための改修工事の実施設計を行った。

【成果】　次年度の工事実施に向けて発注準備を整えることができた。

⑭学校教育活動継続支援事業　　　　　　　４，４８１ 千円

小中学校に感染症対策等に必要な備品等の整備を行った。

【成果】　児童生徒の安心安全な学習環境を確保し、学校教育活動を着実に継続することができた。

款	9　教育費	項	1　教育総務費	予　算　額	決　算　額
		目	3　外国青年招致費	7,504千円	7,077千円

①外国青年招致事業　　　　　　　　　　　７，０７７ 千円

外国語指導助手を招致し、中学校における英語授業の補助や小学校・こども園における外国語活動等を実施した。

・4月～3月　ジャマイカ国籍女性　北条中勤務
・9月～3月　アメリカ国籍男性　大栄中勤務

【成果】　中学校での学習活動に加え、小学校での外国語活動及び外国語科学習の先行実施において、円滑な実施に資することができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 北条小学校管理費	43,369千円	42,541千円

①北条小学校管理事業 ４２,０７７ 千円 ※風のまちづくり事業充当3,263千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

・教室照明LED化工事 1,367 千円 ・音楽室天井・床改修工事 2,332 千円
・図工室リーラーコンセント設置工事 312 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等支援員等の設置 17,133 千円

児童数 （令和3年5月1日現在）

学年	学級数	男	女	合計
1年	3 組	39 人	30 人	69 人
2年	2 組	25 人	32 人	57 人
3年	3 組	37 人	34 人	71 人
4年	2 組	31 人	33 人	64 人
5年	3 組	36 人	36 人	72 人
6年	2 組	22 人	35 人	57 人
特別支援学級	6 組	25 人	10 人	35 人
合計	21 組	215 人	210 人	425 人

【成果】 北条小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 ４６３ 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

年 度	R1年度	R2年度	R3年度
利用児童数	76人	76人	80人
対全校児童数	18.4%	18.3%	18.8%

【成果】 ・遠距離通学児童の安全な登下校の確保をした。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 大栄小学校管理費	83,205千円	81,228千円

①大栄小学校管理事業 ７６,６７４ 千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

・第1理科室実験台取替業務 8,800 千円 ・屋外手足洗い場改修工事 3,080 千円
・防犯カメラ更新工事 770 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 27,440 千円

児童数 （令和3年5月1日現在）

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	28 人	31 人	59 人
2年	3 組	35 人	26 人	61 人
3年	2 組	30 人	30 人	60 人
4年	3 組	30 人	41 人	71 人
5年	2 組	31 人	19 人	50 人
6年	2 組	35 人	28 人	63 人
特別支援学級	5 組	19 人	8 人	27 人
合計	19 組	208 人	183 人	391 人

【成果】 大栄小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業　　　　　　　　　　４，５５４ 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
利用児童数	205人	224人	227人
対全校児童数	55.0%	57.9%	58.1%

【成果】　遠距離通学児童の安全な登下校の確保をした。

款	9	教育費	項	2　小学校費	予　算　現　額	決　　算　　額
			目	3　小学校教育振興費（共通）	691千円	581千円

①小学校外国語教育活動事業　　　　　　　　　４６ 千円

小学校に外国語教育指導員を配置。3，4年生の外国語活動、5，6年生の外国語科の学習を実施。

【成果】 ALT、英語専科教員と連携し、外国語科学習の円滑な実施を図ることができた。

②小学校教育振興関係負担金事業　　　　　　　３９ 千円

次のとおり負担した。

・中部小学校教育研究費負担金　 27 千円　・中部学校保健会負担金　　 8 千円
・学校図書館協議会負担金　　　　4 千円　ほか

【成果】　各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。

③児童通学支援事業　　　　　　　　　　　　４６７ 千円

北条小学校の遠距離通学となる児童に対し、路線バス代を補助した。
対象地区：松神、下神

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
補助児童数	33人	29人	27人
対全校児童数	8.0%	7.0%	6.4%

【成果】　遠距離通学児童の通学時の安全確保を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減した。

款	9　教育費	項	2　小学校費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　北条小学校教育振興費	8,596千円	8,095千円

①北条小学校教育振興事業　　　　　　　　　８，０９５ 千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費　　　　2,241 千円

就学援助事業（要保護・準要保護）　　　　3,368 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
対象	保護者数	40人	41人	42人
	児童数	48人	49人	49人
児童の割合		11.6%	11.8%	11.5%

特別支援教育就学奨励事業　　　　　　　　　442 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
対象	保護者数	18人	19人	16人
	児童数	19人	21人	18人

【成果】　各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 大栄小学校教育振興費	6,300千円	5,855千円

①大栄小学校教育振興事業　　　　５，８５５ 千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・児童用図書・教材備品購入費
2,052 千円

就学援助事業（要保護・準要保護）
1,797 千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
対象	保護者数	22人	24人	21人
	児童数	28人	33人	27人
児童の割合		7.5%	8.5%	6.9%

特別支援教育就学奨励事業　　　　406 千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
対象	保護者数	13人	16人	15人
	児童数	13人	16人	16人

【成果】　各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 言語通級指導教室費	105千円	104千円

①言語通級指導教室事業　　　　１０４ 千円

大栄小学校に言語障がい通級指導教室「ことばの教室」を設置。この教室はことばが増えない、発音がはっきりせずわかりにくいなどの児童に対し指導を行った。

【成果】　必要なことばのトレーニングやコミュニケーションの力を高める小集団指導を行うことにより、友達に思いを伝えることを楽しみ、自信をつけさせることができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 発達通級指導教室費	214千円	213千円

①発達通級指導教室事業　　　　２１３ 千円

大栄小学校に発達障がい通級指導教室「まなびの教室」を設置。発達障がいのある児童等に指導を行った。

【成果】　一人一人に合わせた指導を行うことによって、子どもたちが「できた」「わかった」喜びを味わったり学び方を身に付けたりし、自信をつけさせることができた。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	1 北条中学校管理費	43,991千円	41,729千円

①北条中学校管理事業　　　　　　　　４１，７２９ 千円 ※風のまちづくり事業充当8,080千円

学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。

・教室照明LED化工事　8,546 千円　・駐輪場輪留め設置工事　1,900 千円
・プールシャワーユニット補修工事　644 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置　18,557 千円

生徒数　（令和3年5月1日現在）

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	32 人	26 人	58 人
2年	2 組	26 人	22 人	48 人
3年	2 組	32 人	24 人	56 人
特別支援学級	4 組	12 人	11 人	23 人
合計	10 組	102 人	83 人	185 人

【成果】　北条中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	2 大栄中学校管理費	44,777千円	44,257千円

①大栄中学校管理事業　　　　　　　　４４，２５７ 千円 ※風のまちづくり事業充当8,456千円

学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。

・教室照明LED化工事　4,703 千円　・エアコン取替工事　2,695 千円
・駐輪場輪留め設置工事　1,889 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置　18,882 千円

生徒数　（令和3年5月1日現在）

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	22 人	32 人	54 人
2年	2 組	32 人	23 人	55 人
3年	2 組	25 人	34 人	59 人
特別支援学級	4 組	8 人	5 人	13 人
合計	10 組	87 人	94 人	181 人

【成果】　大栄中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	3 中学校教育振興費（共通）	2,203千円	2,017千円

①中学校教育振興関係負担金事業　　　　２８８ 千円

次のとおり負担した。

・県中学校体育連盟負担金　146 千円　・中部教育協議会負担金　134 千円
・学校図書館協議会負担金　3 千円　・県中学校指導部連盟負担金　1 千円
・県中部学校保健会負担金　4 千円

【成果】　・各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。

②学習事業　　　　　　　　　　　　　　　　２２５ 千円

中学校のキャリア教育の一環として、卒業生や各職種の社会人の方を講師に招き、体験談等を聞いたほか、運動会、文化祭等では生徒会を中心に自治的な活動となるよう実施。

【成果】　社会人等の講話を通じて将来のあるべき自分の姿を考えさせたほか、運動会等の行事を通して学級集団で目標達成を目指す取り組みや自治的活動の育成を図った。

③修学旅行引率費補助金事業　　　　　　　　　９９ 千円

引率費の一部を助成した。

北条小学校	6学年	65人	教職員	6人	10月6日～1泊2日	鳥取・米子方面
大栄小学校	6学年	67人	教職員	5人	10月13日～1泊2日	鳥取・大山方面
北条中学校	3学年	60人	教職員	9人	10月6日～1泊2日	鳥取・境港方面
大栄中学校	3学年	58人	教職員	8人	9月22日～2泊3日	鳥取・米子方面

④生徒派遣事業　　　　　　　　　　　　　　　７９１ 千円

各種大会等に参加のためのバス等の借り上げ、また、交通費・宿泊費等の補助を行った。

・バス等借上　　791 千円
・主な派遣先　中部地区総体、中部地区新人大会

⑤部活動振興事業　　　　　　　　　　　　　　６１４ 千円

部活動指導員等を設置するとともに、部活動使用物品を購入し、活動環境を整えた。

・部活動指導員の設置
　北条中：バスケットボール、サッカー、バドミントン、剣道
　大栄中：柔道、卓球（男女）、バレーボール、吹奏楽
・外部指導者の設置
　北条中：卓球　　大栄中：ソフトテニス

【成果】　8人の指導員、2人の外部指導者による大会引率や技術的指導により、教員の長時間勤務の解消、心理的負担の軽減の一助となった。

款	9　教育費	項	3　中学校費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　北条中学校教育振興費	11,511千円	10,852千円

①北条中学校教育振興事業　　　　　　１０，８５２ 千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費　　　　　　2,377 千円

就学援助事業（要・準要保護）　　　　　3,491 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
対象	保護者数	34人	31人	25人
	生徒数	44人	33人	31人
生徒の割合		22.3%	17.8%	16.8%

特別支援教育就学奨励扶助事業　　　　　　479 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
対象	保護者数	9人	14人	12人
	生徒数	9人	14人	13人

【成果】　各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9　教育費	項	3　中学校費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	5　大栄中学校教育振興費	9,465千円	9,043千円

①大栄中学校教育振興事業　　　　　９,０４３ 千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費　　　　　　1,684 千円

就学援助事業（要保護、準要保護）　　　2,408 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
対象	保護者数	19人	21人	18人
	生徒数	20人	22人	19人
生徒の割合		10.1%	12.7%	10.5%

特別支援教育就学奨励事業　　　　　　　450 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年　度		R1年度	R2年度	R3年度
対象	保護者数	4人	8人	11人
	生徒数	4人	8人	11人

【成果】　各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9　教育費	項	5　保健体育費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　学校給食費	153,690千円	149,329千円

①学校給食センター管理事業　　　　６０,６９９ 千円

小･中学校、北条こども園の学校給食の実施において、給食センターの管理運営、食数管理のほか、給食費の徴収業務等を行った。調理部門については、民間委託により民間企業等の専門的な知識・技術を活用し、業務効率の向上、安全管理の推進を図った。また、子どもたちの食育推進のため、各種給食イベントを実施した。

・給食実施回数

学校等名	R1年度	R2年度	R3年度
北条こども園	229 回	233 回	233 回
北条小学校	181 回	192 回	187 回
大栄小学校	182 回	188 回	186 回
北条中学校	181 回	188 回	187 回
大栄中学校	181 回	188 回	180 回

※令和3年度臨時休業に伴う給食中止
コロナ　15回、大雨　１回、大雪　１回

・学校給食調理等業務委託　　（単位：千円）

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
委託料	40,330	40,700	40,700

※業務委託はH29から5年契約

・主な実施事業

食育週間特別献立（6月）
サプライズ給食（年2回）
全国学校給食週間（1月）（特別献立、学校給食アンケート、小中学生給食作品展）
チャレンジ栄養士献立（1月）
卒業生お祝い給食（3月）

・給食費の徴収状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円・％）

区　分		R1年度			R2年度			R3年度		
		調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
小学校	現年	43,396	43,396	100.0	35,458	35,458	100.0	46,721	46,684	99.9
	滞納	764	339	44.4	405	75	18.5	228	97	42.5
	計	44,160	43,735	99.0	35,863	35,533	99.1	46,949	46,781	99.6
中学校	現年	25,509	25,509	100.0	18,834	18,834	100.0	24,521	24,521	100.0
	滞納	1,472	438	29.8	766	272	35.5	596	249	41.8
	計	26,981	25,947	96.2	19,600	19,106	97.5	25,117	24,770	98.6
合計		71,141	69,682	97.9	55,463	54,639	98.5	72,066	71,551	99.3

【成果】　年間を通し、安心安全な学校給食の提供が実施できた。今年度についても地方創生臨時交付金を活用することで、地元産材の消費拡大を行うとともに普段給食で出せない高価な食材を味わってもらう機会を提供することができた。

　また、学校給食費の徴収及び過年度未納額の債権整理を計画的に行い、着実な徴収に結びつけることができた。

地元食材応援給食（北栄町産黒毛和牛ハンバーグ、北条ぶどうのソース）

鳥取県民の日献立（和牛サイコロステーキ）

②給食費事業（賄材料費）　　　　　　７８，１００ 千円

　県内産・町内産食材をはじめ、必要となる学校給食食材の購入を行った。県内産、町内産食材を多く取り入れ、児童生徒の食育推進に繋げた。町費負担による地元食材を使ったサプライズ給食事業を実施した。

・地産地消率（県指定44品目）

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
国内産	100 %	100 %	100 %
うち県内産	98 %	95 %	95 %
県平均	70 %	67 %	69 %

サプライズ給食（シャインワッフル）

【成果】

　年間を通して、品質の良い学校給食用食材を安定的に、なるべく安価に供給できた。また、地元食材を用いたサプライズ給食を実施し、子どもたちの食育推進と地産地消、さらには北栄町産食材のPRに繋げることができた。

　令和3年度の学校給食における県産品利用率（県統計）は県内2位。

地元生産者が作られた味噌を給食食材として利用

校区合同学校給食展

款	7　土木費	項	1　土木管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　土木総務費	187,482千円	129,198千円

①住宅新築資金等償還事業　　　　　　　　　　９１千円

【成果】　住宅新築資金等貸付事業に関する償還事務に関する研修会への参加や、必要物品等を購入し、適切な償還事務を実施した。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　社会教育総務費	49,828千円	48,839千円

①社会教育総務事業　　　　　　　　　　５５千円

・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催　　3回
・委員の各種研修等への参加 2回（鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会等）

【成果】　社会教育の振興のため、社会教育事業について、意見を述べたり、事業に参画したりした。また、オンライン開催となった鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会に参加し、社会教育委員に求められることについて学ぶことにより委員の資質向上につながった。

②社会教育総務関係負担金事業　　　　５６４千円

社会教育に関する協議会等の負担金
・東伯郡社会教育協議会
・鳥取県社会教育委員連絡協議会
・鳥取県社会教育協議会
・倉吉地区少年補導センター

【成果】関係機関との連携により社会教育振興につながった。

③青少年育成北栄町民会議交付金事業　　４５８千円

・各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行う青少年育成北栄町民会議に交付金を交付した。

【成果】　青少年を育む看板の作成、あいさつ運動、見守りパトロール等により、地域が一体となって取り組む青少年健全育成につながった。
・あいさつ運動推進事業所　　97事業所（うち5事業所増 ）

新設した看板

④社会教育推進事業　　　　　　　　３２７千円

・届ける学びを目的に「生涯学習出前講座」を実施し、地域住民を対象に学習情報・機会の提供を図る。
　回　数　　年間 74回
　　（含：おとなほくえい塾26回、認知症予防セットメニュー6回、貸出DVD1回）
　会　場　　各自治会公民館等
　参加者　　延べ 1,148人
　　（含：おとなほくえい塾287人、認知症予防セットメニュー86人、貸出DVD11人）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
回数	132回	67回	74回
参加者	2,878人	1,139人	1,148人

下敷き（スゴロク付）

・家庭教育啓発グッズ（下敷き）を作成し、新１年生に配布した。

【成果】　自治会やいきいきサロンをはじめとする各種団体から申し込みがあった。内容に対する満足度も高く、住民のニーズにあった講座を提供することができた。また、新一年生に家庭教育啓発グッズ（下敷き）を配布することで、入学のタイミングで家族で家庭教育について考えてもらうきっかけづくりができた。

⑤社会教育関係団体活動費補助金事業　　　１１１千円

社会教育関係団体の活動に対し補助した。
・町婦人会　　　　　　　　・北条小学校PTA

【成果】　各団体が自主的に企画立案する活動や町行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などに補助し、会員等の資質向上につながった。

⑥学校・家庭・地域連携協力推進事業　　　６４２千円

・放課後子供教室推進事業「子どもほくえい塾」（国･県･町それぞれ1/3負担）
放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を、地域住民の協力で実施した。
※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託

年度	R1年度	R2年度	R3年度
回数	149回	127回	121回
参加者	1,353人	1,543人	1,169人
ボランティア・保護者	749人	860人	560人

・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催　　2回
放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営・実施を図るため運営委員会を開催した。

【成果】放課後子供教室では、多くの地域の方々に協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や放課後に様々な活動が実施できた。また、放課後子ども総合プラン運営委員会での意見などを参考にし、改善につながった。

⑦通学合宿事業　　　　　　　　　　　　０千円

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため事業中止

⑧地域副読本作成事業　　　　　３，９４９千円

「まちの姿」編・「歴史編」の改訂増刷を行うとともに、B&G財団の助成を受け、北栄町ゆかりの偉人豊田太蔵の生涯について、マンガを製作し、小中学生に配布・活用した。
配布対象：町内小学校6年生及び中学生

【成果】　副読本が教科書の北栄版として活用されることで、子どもたちが教科書の内容を身近に感じることができる。また、自分たちの住んでいる町の歴史や町の誇れる人物を知ることで、北栄町について理解を深め、ふるさとへの親しみや愛着心を育てるとともに、偉人マンガについては、将来の生き方や生活を考える助けとなった（キャリア教育）。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	予算現額	決算額
		目	2　成人式費	759千円	757千円

①成人式事業　　　　　　　　　　　　７５７千円

社会の形成者として、良き成人となる新成人の門出を祝し、自ら生き抜こうとする意欲を促した。
令和3年成人式（延期分）…オンライン
期　日　令和3年8月14日（金）
会　場　大栄農村環境改善センター
内　容　式典、恩師激励及び新成人決意表明、記念品授与
※新型コロナウイルス感染症拡大のため、式典をYouTube配信するとともに校区ごとにZOOMにより新成人及び恩師が顔を見ながら交流できる集いも実施

←式典の様子をオンラインで配信

ZOOMで交流の様子

令和4年成人式

期　　日　　令和4年1月3日（月）
会　　場　　北条農村環境改善センター
内　　容　　式典、恩師激励及び新成人決意表明、
記念品授与、記念写真撮影

対　象　者	173人
出　席　者	130人
出　席　率	75%

【成果】　令和3年成人式の延期分については、苦渋の決断で、オンラインでの開催としたが、交流できる場が提供できたことで、参加者の満足度の高い式典ができた。また、令和4年成人式については、新型コロナウイルス感染症対策として、事前のPCR検査を実施したうえで、集合型の開催とした。6人の実行委員会で主体性のある成人式が開催でき、対象者の75%が出席した。新成人の新しい門出を祝福することができた。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	予　算　現　額	決　算　額
		目	5　文化費	1,264千円	1,235千円

①青少年劇場巡回公演委託事業　　　　１，２１７千円

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、生の優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。

学校名	事業名	演目
北条小	青少年劇場巡回公演	あした　あさって　しあさって
北条中	芸術鑑賞教室	しゃみせん いろいろ スーパーセッション
大栄中	芸術鑑賞教室	しゃみせん いろいろ スーパーセッション

※大栄小は「とっとりの芸術宅配便」事業のアフリカ民族音楽を鑑賞

【成果】本物の芸術に触れる機会を提供したことにより芸術への関心を高めることができた。

②北栄文化回廊事業　　　　　　　　　　　１８千円

北条農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、中央公民館に文化イベントを集結し、様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを出現させるとともに、「北条ふるさとまつり」と連携し、「文化の薫るまち」のイメージの浸透を図った。

また、図書館、青山剛昌ふるさと館とも連動し、期間中、町全体で集中的に「北栄文化」の発信を行った。

メイン期間　令和3年11月3日（水・祝）～11月15日（月）

北栄みらい伝承館「齋尾慶勝」展

絵付け体験

北条砂丘太鼓・大栄くろぼく太鼓（芸能公開収録）

イベント名称等	場　　所	人　数	
北栄町美術展（11/3～14）	旧北条庁舎・中央公民館ロビー	640　人	
特別企画展 「齋尾慶勝～戦艦大和の主砲を設計した男～」（10/2～11/14）	北栄みらい伝承館	377　人	※期間中来館者数
「北栄町の太鼓」公開収録(11/13) （北条砂丘太鼓、大栄くろぼく太鼓）	大栄農村環境改善センター	58　人	
絵付け体験（11/13）	北条民芸実習館	15　人	
図書館まつり【図書館本館】(11/6)	北栄町図書館(本館)	394　人	
図書館まつり【北条分室】(11/6)	北栄町図書館（北条分室）	76　人	
齋尾家限定公開（11/7）	齋尾家	19　人	
生涯学習課関係	計	1,579　人	

イベント名称等	場所	人数	
青山剛昌名探偵コナン 特別原画展など	青山剛昌ふるさと館	4,708　人	※期間中来館者数
	全体計	6,287　人	

【成果】　複数の展示・イベントを集中的に行うことで多くの方に「北栄文化」を感じ取っていただく機会を提供するため、今年度もコロナ対策を講じることができるもののみを実施した。その中でも、「北栄町の太鼓」公開収録は、「北条砂丘太鼓」と復活した「大栄くろぼく太鼓」をウェブ上で公開することができた。
　また、絵付け体験では、陶芸教室のみなさんの協力のもと、小学生から大人まで陶芸などの魅力を感じていただく機会になった。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	予　算　現　額	決　算　額
		目	6　文化財保護対策費	6,424千円	6,092千円

①文化財保護対策事業　　　　　　　　６，０９２千円

　本町の文化財保護行政を円滑に推進するため、文化財に対する啓発や調査研究を行うとともに町内に存在する指定文化財等の維持、管理及び埋蔵文化財試掘調査を行い、文化財保護と開発事業との調整を図った。また、国登録有形文化財の齋尾家住宅の限定公開を実施することにより、貴重な文化財を身近に感じられる機会を提供した。
　また、北栄町文化財保存活用地域計画を作成し、令和3年7月に認定された。今後はこの計画に基づき、文化財の保存と活用を推進していく。

・文化財保護委員会の開催　　　　　　3回
・齋尾家住宅限定公開　　　　　　　　2回
・指定文化財等の保護、管理報償
　　国指定2件　国登録8件　県指定12件　町指定22件
・歴史探訪ウオークの開催
・国特別天然記念物「オオサンショウウオ」の保護
・各種開発事業との調整

齋尾家住宅限定公開

【成果】　町内にある多くの文化財について情報収集を行い、関係各所への情報提供などを行うことで、認知度向上につながった。また、新たに「北栄町文化財キャラクター　鹿子（しかこ）」を作成し、町報や町SNSで町内文化財の紹介を行うことで、町内文化財を知ってもらう機会を提供することができた。
　国登録有形文化財である齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を見学することにより、町の文化財に対する関心が深まった。
　また、新たに2件（うち1件はすでに指定しているものへの追加）の文化財の町指定を行い、町内文化財の保護を推進した。
　歴史探訪ウオークでは、由良台場や六尾反射炉跡、由良藩倉跡などの解説を行い、健康づくりにあわせ、町内の文化財を身近に感じてもらうことができた。

必要に応じ、文化財やそれに付随する施設等の補修・維持管理を行い、文化財保護に対する意識の啓発に努めた。

文化庁・県文化財課の指導・助言を得て、文化財保護委員会での審議、パブリックコメント等の実施で意見収集を行い、北栄町文化財保存活用地域計画を作成し、認定を受けた。

また、六尾反射炉跡地を購入し、今後の活用への第一歩を踏み出すことができた。

②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業　　　　　０千円

六尾反射炉跡の発掘調査を予定していたが、開発に伴う緊急の調査が入ってきたため、来年度に繰り越した。そのため、令和3年度の連携事業は見送ることとした。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	予　算　現　額	決　算　額
		目	7　歴史民俗資料館費	6,579千円	6,253千円

①歴史民俗資料館管理事業　　　　　４，３５５千円

歴史民俗資料館を円滑に運営するため適切な管理を行うとともに、地域に埋もれた貴重な資料の収集保存に努め、保管資料の整理と展示活動等を通じて文化財の活用を図った。

【成果】　博物館資料アドバイザーの助言を得て資料の再整理・再保存を実施し、資料を活用した展示を行うことができた。

②歴史民俗資料館展示事業　　　　　１，８９８千円

・歴史民俗資料館運営委員会の開催　　　　2回

【入館実績】

期間	開館日数	事業内容	入館者数	町内	町外
4/17～5/16	25	山本奈美枝展	347人	173人	174人
6/5～7/25	44	町内で発掘された出土遺物	163人	84人	79人
8/7～9/12	32	北栄町の自然	478人	233人	245人
10/2～11/14	37	特別企画展　「齋尾慶勝」	791人	278人	513人
11/27～12/19	20	共同企画「不滅の刀」	855人	208人	647人
1/15～3/13	48	明治･大正・昭和の生活道具	165人	87人	78人
		企画展小計	2,799人	1,063人	1,736人
4/1～3/31		生田和孝・加藤廉兵衛常設展のみ	223人	140人	83人
		総入館者数	3,022人		

年度	R1年度	R2年度	R3年度
入館者数	2,153人	2,596人	3,022人

【成果】　各種展示を通じて町内の文化等について触れたり、考えたり、楽しむ機会を提供することができた。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	予　算　現　額	決　算　額
		目	9　町内遺跡発掘調査費	784千円	750千円

①町内遺跡発掘調査事業　　　　　　　７５０千円

開発行為に伴い、試掘調査を実施。（国庫補助事業）

・場所　北栄町由良宿

・状況　大栄ICアクセス道路整備に先立ち、試掘調査を実施。

【成果】由良宿地内で試掘調査を実施したが、遺構・遺物は検出されなかった。

款	9　教育費	項	5　保健体育費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　保健体育総務費	15,934千円	4,979千円

①保健体育総務事業　　　　　　　　　　　４，７９４千円

・北栄町スポーツ推進委員（25人）

地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。

≪主な活動内容≫

協議会開催　4回（うち1回は、新型コロナウイルス感染防止のため、書面開催）
訪問型ニュースポーツ体験事業　5回
（地域の団体等に対するニュースポーツの指導）
北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会の運営協力（オンライン開催のためなし）
体力測定・ミニ体力測定の実施　10月5日　他
北栄町駅伝競走大会の運営協力　11月21日
元旦マラソン＆ウオーキング大会　1月1日（大雪のため中止）
東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会　他

・北栄町スポーツ表彰

本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を収めた選手及び団体を表彰した。（2月28日開催）
体育功労賞1人、優秀指導者賞1人、スポーツ最優秀賞4人、スポーツ優秀賞20人、スポーツ敢闘賞67人、スポーツ奨励賞51人

・社会体育施設工事

北条ふれあい会館LED化工事

【成果】　生涯スポーツの普及と社会体育振興の取組みにより、町民の体力向上と健康増進につながった。また、北条ふれあい会館一部のLED化工事を行うことで、環境に配慮した施設にすることができた。

※B&G海洋センター駐車場土地購入費（749千円）・不動産登記委託料（100千円）、子ども第三の事業実施に伴う基本実施設計委託料（6,010千円）は、令和4年度繰越事業とした。

②保健体育総務関係負担金事業　　　　　　　１８５千円

県体育協会負担金、郡体育協会分担金、県スポーツ推進委員協議会負担金、郡スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか

【成果】　関係機関との連携を図り、関係機関が実施する各種事業により、社会体育振興につながった。

款	9　教育費	項	5　保健体育費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	2　保健体育振興費	35,400千円	31,708千円

①保健体育振興事業　　　　　　　　　　　　２０６千円

・北栄町スポーツ県外派遣費補助金

県、または県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。　補助決定件数　9件

【成果】　中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上につながった。

②北栄スポーツクラブ事業　　　　　　３１，１９５千円

一般財団法人北栄スポーツクラブに指定管理者として町内社会体育施設の管理を委託するとともに、主な社会体育事業の実施を補助事業として行っていただき、総合型地域スポーツクラブの振興を図っている。

●補助事業
各種スポーツ大会、スポーツ少年団ほか
●指定管理施設
北条体育館　大栄体育館　大誠体育館　北条ふれあい会館　大栄ふれあい会館
北条野球場　大栄野球場　北条運動場　大栄運動場　B&G海洋センター
勤労者体育センター（7/7の豪雨により、雨漏りに加え、法面崩落のため、利用を休止）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
全施設延利用人数	205,351人	162,615人	144,397人
スポーツクラブ会員数	1,238人	1,235人	1,250人

【成果】　総合型地域スポーツクラブである北栄スポーツクラブの会員は1,200人を超えており、スポーツ実施率向上につながった。また、北栄スポーツクラブが実施する「健康運動教室」は利用者も多く、高い評価を得ている。
北栄スポーツクラブを核として、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進につながった。

③ウオーキングのまち北栄町推進事業　　　１０５千円

年齢、体力にかかわらず気軽に取り組むことのできるウオーキングを実施した。
北栄てくてくウオーキング　2回　参加者延べ113人

【成果】　年4回のウオーキングを計画していたが、新型コロナウイルス感染症と大雪により2回は中止となったが、日常生活の中で気軽に取組めるウオーキングを行うことで運動習慣の定着につながった。

④訪問型ニュースポーツ体験事業　　　　　　３０千円

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、参加者の希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながら、ニュースポーツを体験し、運動に親しむきっかけとした。

年度	R1年度	R2年度	R3年度
回数	9回	1回	5回
訪問した委員	延べ28人	4人	15人

【成果】　小学校親子会など、地域の方にスポーツ推進委員の指導によりニュースポーツを体験していただくこと、生涯スポーツ人口増の取り組みを低年齢層から広げることができた。

⑤オリンピック事業　　　　　　　　　　　１７１千円

スポーツ推進委員、交通安全指導員など各種団体と連携し、町内の聖火リレーの運営を行った。（実施日：5月22日　北栄町区間ランナー数：7人）

【成果】　関係団体の協力を得て、トラブルもなく、運営することができた。また、多くの町民にお越しいただき、オリンピックが日本で開催される喜びを共有することができた。

聖火リレーの様子（北栄町図書館前）

款	9　教育費	項	5　保健体育費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	3　すいか・ながいも健康マラソン大会費	5,587千円	5,558千円

①すいか・ながいも健康マラソン大会事業　　　５，５５８千円

特別大会２０２１
参加申込者数　3,675人
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、バーチャル形式で開催
参加記念品：名探偵コナンのイラスト入りオリジナルTシャツ
※抽選で特産の大栄西瓜・ねばりっこの賞品を贈呈（10人に1人）

年度	R1年度	R2年度	R3年度
参加申込者	4,990人	2,887人	3,675人

【成果】　大会期間中であれば、日本全国どこでも、どのコースでも、好きなタイミングで参加できるバーチャルマラソン大会を開催したことにより、全国（47都道府県すべて）から参加いただくことができた。本町の文化・産業・農業を幅広くPRし、魅力ある町づくりを推進することができた。

款	9　教育費	項	6　人権推進費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	1　人権推進費	2,823千円	1,665千円

①人権対策関係負担金事業　　　　２８６千円

県人権文化センター負担金
東伯郡同和対策協議会負担金
部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金
とっとり被害者支援センター負担金

【成果】関係団体の活動を通じて、人権対策事業の進展に資した。

②人権啓発活動事業　　　　１，１１５千円

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切にし思いやりや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。
また、北栄町人権教育・啓発推進協議会に人権啓発事業の一部を委託し、じんけんフェスティバルや各種大会等へ参加した。

〔人権の花運動〕
期　　日　　10月14日、10月22日
場　　所　　北条小学校、大栄小学校
内　　容　　花の苗・プランター等を贈呈
参加人数　　児童28人、人権擁護委員6人

【成果】命や人を大切にする心を育てることに寄与した。

人権の花贈呈式(北条小)

〔北栄町じんけんフェスティバル2021〕
期　　日　　12月4日（土）
場　　所　　大栄農村環境改善センター
内　　容　　演題：「誰もが自分らしく、共に生き、支えあう地域をめざして」
講師：明石洋子 氏（社会福祉法人あおぞら共生会副理事長）
参加人数　　167人

【成果】　障がいのある人の人権問題について、障がいの有無にかかわらず、すべての人が地域でいきいきと生活するため私たちが日頃から大切にすべきことなどを学んだ。

［令和3年度の主な大会派遣］

大会名	開催場所	参加者数
2021年度部落解放・人権政策確立要求中央集会	東京都	中止
第46回部落解放・人権西日本夏期講座	オンライン	17人
第36回人権啓発研究集会	オンライン	13人
第46回人権尊重社会実現鳥取県研究集会	書面開催	30人
部落解放第53回全国高校生集会	徳島市	中止
部落解放研究第54回全国集会	オンライン	14人
第43回全国人権保育研究集会	奈良県	中止
第72回全国人権・同和教育研究大会	書面開催	7人

※機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。（8月、12月、2月発行）

【成果】　町内団体等で構成される北栄町人権教育・啓発推進協議会に事業委託し、各種大会やコロナ差別に対する自治会・事業所宣言を促進するなど、人権啓発事業を広範に推進した。

③人権擁護委員事業　　　　　　　　　　２６４千円

地域において人権思想を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、倉吉人権擁護委員協議会に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員　　　6人

（主な活動内容）
- 特設人権相談（町内月１回）
- 特設人権相談(じんけんフェスティバル)
- 事業所訪問（24事業所）

倉吉人権擁護委員協議会負担金

事業所訪問(人権週間)

【成果】地域住民に対し人権思想の普及と人権相談による人権擁護に資することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	2 隣保館運営費	11,618千円	11,218千円

①隣保館管理運営事業　　　　　１１，０４０千円

町全体を対象に人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、人権課題解決のための各種事業や相談事業などを行い、さらに福祉の向上につながる取組みを実施した。

事業名		R1年度	R2年度	R3年度
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権保育・教育担当者会	3回	3回	3回
	分かりやすいじんけんの話	6回	6回	6回
	同和問題現地研修	1回	3回	3回
	習字教室	23回	23回	24回
	押し花教室	4回	-	-
	絵本の読み聞かせ	11回	12回	9回
	おしゃべりサロン	10回	12回	11回
	ほくほくパソコンネット講座	8回	8回	8回
相談件数		116件	78件	59件
施設利用者数		3,134人	3,829人	3,601人

【成果】　人権啓発講演会「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。また、「ほくほくプラザだより（館報）」、SNS等による情報発信により、施設利用者の増加につながった。

分かりやすいじんけんの話(北条中)

②隣保館関係負担金事業　　　　　　　　　　　７０千円

・鳥取県隣保館連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動及び連携を通じて事業運営の充実と人権啓発の進展を図ることができた。

③隣保館運営審議会（児童館運営委員会も兼ねる）事業 ２７千円

・隣保館運営審議会兼児童館運営委員会　2回

【成果】　「ほくほくプラザ（北栄人権文化センター）」の事業実施状況や事業計画などを説明し、意見を伺うことによって事業実施の参考とすることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	3 児童館運営費	317千円	176千円

①児童館管理運営事業　　　　　　　　　１５０千円

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域組織活動の支援を行った。

主な事業等	R1年度	R2年度	R3年度
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室（自然体験含）	7回	12回	8回
料理教室	3回	-	-
創作教室	1 回	2回	5回
科学実験	1回	-	1回
工作・木工教室	1回	1回	1回
お魚教室	1 回	1回	1回
ほくほく食堂	3回	3回	2回
職場訪問	4回	2回	2回
長期連携行事(もち米作り)	2回	1回	1回
異文化を学ぶ（ハロウィン）	1回	1回	1回
解放子ども会の集い	1回	1回	中止
施設利用者数	9,668人	9,812人	8,697人

【成果】　地域との連携を深めながら遊びと体験を通じて、児童の健全育成・資質向上に貢献した。

ほくほく食堂

②児童館関係負担金事業　　　　　　　　　２６千円

・全国児童館連合会負担金
・鳥取県児童館連絡協議会負担金
・鳥取県子ども会育成連絡協議会

【成果】　関係団体の活動と連携を通じて、児童館活動の質的向上を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	4 人権教育費	28,140千円	27,663千円

①人権を学ぶ会事業　　　　　　　　　　４４７千円

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民が一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。

・人権を学ぶ会

項目		R1年度	R2年度	R3年度
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	63回	44回	30回
	延参加者	1,112人	597人	431人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	10回	3回	1回
	延参加者	176人	74人	28人

・各種会議並びに研修会

項目		R1年度	R2年度	R3年度
人権教育推進協力員会議	実施回数	4回	4回	4回
	延参加者	60人	71人	69人
人権教育地区推進員会議	実施回数	3回	3回	2回
	延参加者	231人	222人	151人

【成果】　身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができた。

②人権学習会事業　４１２千円

小・中学生を対象に人権学習を開催し、仲間づくりや人権に関する知識や認識を広げた。

項目		R1年度	R2年度	R3年度
人権学習会（小学生）	実施回数	43回	43回	20回
	参加者	20人	23人	22人
人権学習会（中学生）	実施回数	25回	44回	44回
	参加者	5人	7人	6人

人権学習会(牧場訪問)

【成果】　お互いを大切にする気持ちや、真実を自分で調べることにより、自分の考えを持ち、差別や偏見をなくしていこうとする意識や態度を育むことができた。

③人権教育推進員設置事業　２，６５３千円

人権教育推進員（1人）を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を努めた。

項目		R1年度	R2年度	R3年度
人権教育事業所研修（人権教育推進員）	実施回数	9回	4回	5回
	延参加者	265人	53人	141人
人権教育事業所研修（事業所自主研修）	実施回数	7回	6回	6回
	延参加者	260人	202人	218人
人権教育職員研修（北栄町役場）	実施回数	9回	6回	6回
	延参加者	448人	336人	284人

【成果】　各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

④鳥取県人権教育推進協議会負担金事業　２７千円

・鳥取県人権教育推進協議会負担金

【成果】　鳥取県人権教育推進協議会等が主催する「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の運営が円滑に行われ、この集会に参加することにより町民はもとより、県民全体の人権意識高揚につなげることができた。

款	11 災害復旧費	項	2 公共施設災害復旧費	予算現額	決算額
		目	7 社会教育施設災害復旧費	198千円	198千円

①社会体育施設災害復旧事業　１９８千円

7/7の豪雨の影響により崩落した大栄運動場の法面の土砂を撤去した。

【成果】　大栄運動場の法面を現状復旧することができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 公民館費	50,263千円	49,206千円

①中央公民館管理事業　６，５４５千円

町民が身近に感じ、いつでも「つどい」、「ふれあい」、「学ぶ」ことのできる中央公民館として機能が発揮できるよう施設の適正な管理を行った。

〔中央公民館利用実績〕

年度	R1年度	R2年度	R3年度
開館日数	360日	340日※	359日
利用者数※	22,125人	16,000人	15,572人

※R2は4/18～5/6休館

【成果】　施設の点検を行い必要な対策をしながら、町民が安心・安全で気軽に利用できる学習施設として、子どもから高齢者まですべての年代を対象に学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。また、館内照明をLED化し、環境に配慮した施設とすることができた。

②公民館運営事業　２０，５６１千円

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の身近な拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕　12,289千円

大栄分館の管理運営をNPO法人まちづくりネットに委託し、地域住民の参画と協働に基づき、地域に根ざした「行って元気が出る中央公民館」としての運営を行った。

・中央公民館大栄分館利用実績

年度	R1年度	R2年度	R3年度
開館日数	360日	341日※	359日
利用者数※	22,208人 (24,670人)	20,483人 (24,549人)	17,577人 (22,203人)

※（　　）内は大栄こども学級利用者等を別掲

※R2は4/19～5/6休館

【成果】　すべての町民を対象に、健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進を図ることができた。

③公民館講座事業　８５５千円

ニーズが多様化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつながりを深めながら仲間づくりの輪を広め、心の豊かさや健康的･文化的な生活の向上、教養の向上をめざし、公民館講座を行った。

〔シニアクラブ（高齢者教室）〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に、「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に毎月学習講座を開催し、生涯学習を推進した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開講式は中止した。

学習別会員数

年度	R1年度	R2年度	R3年度
総合学習	60人	61人	56人
パ ソ コ ン	18人	15人	11人
ニュースポーツ	55人	47人	43人
歌　唱	32人	28人	30人
習　字	9人	8人	10人
フラダンス	6人	7人	6人
絵てがみ	14人	14人	12人
食を考える	13人	16人	13人
絵　画	6人	6人	7人

シニアクラブコース別学習
ニュースポーツ

学習別参加者

内　　容		R1年度		R2年度		R3年度	
総合学習		8回	延べ242人	7回	延べ154人	7回	延べ108人
コース別学習		10回	延べ972人	10回	延べ818人	10回	延べ609人
全体学習	開講式・講演	1回	81人	中止	-	中止	-
	ニュースポーツ交流会	1回	53人	1回	43人	1回	35人
	野外学習	2回	73人	中止	-	2回	33人
	閉講式･講演	1回	68人	1回	58人	1回	46人

〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に、地域づくり・人づくり活動の推進と多様な学習を通じた仲間づくりの機会として各種講座を実施し、参加者の輪を広げた。また、地域課題の解決に資する講座として、新たにスマホ教室を開催した。

内　　容	R1年度		R2年度		R3年度	
青少年対象講座	15回	379人	11回	273人	15回	395人
成人対象講座	4回	68人	4回	48人	7回	97人

【成果】　青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、まなぶ環境づくりが推進できた。また、今年度初めて開催したスマホ教室では、高齢者を中心にスマホ初心者の方に参加していただき、扱い方、便利アプリなどを学習していただくことができた。

④北栄文芸編集・発行経費事業　　　　　　７６５千円

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発刊するとともに、広く「文芸」に触れ合う場として公民館ロビーや自治会公民館、医院などに文芸誌を配置した。

また、第65号では、前身となる北条文芸の創刊から通算200号となり、50年という節目の年を迎えた。

〔発刊実績〕　(R3)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	4回	300部

【成果】　自治公民館、銀行等町内各所に「北栄文芸」を配置することにより、町民が文芸に親しみやすい環境を設けることが出来た。また、町民の創作意欲の向上と文化・芸術的な生涯学習活動の推進につながった。

⑤展示・鑑賞・発表経費事業　　　　　　１，４４１千円

〔第17回北栄町美術展〕

北栄町の文化･芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化･芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：令和3年11月3日(水・祝)～14日(日)】

出展状況

項目	R1年度	R2年度	R3年度
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	8点	8点	8点
洋画	19点	19点	19点
デザイン	7点	3点	3点
書道	34点	33点	34点
彫刻	2点	2点	1点
版画	8点	8点	8点
写真	21点	18点	18点
工芸	25点	19点	19点
ちぎり絵	10点	9点	10点
切り絵	3点	3点	2点
俳画	3点	3点	0点
絵手紙	10点	11点	12点
和紙あかり	8点	17点	16点
計	158点	153点	150点

美術展表彰式

公民館まつり作品展

〔第16回公民館まつり〕

文化・芸術・芸能活動の発展と生涯学習の推進を図るため、公民館まつり実行委員会を組織し、日ごろの創作活動や文化･芸術活動を幅広く町民に発表した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オープニングセレモニーや体験コーナー、ふれあい芸能発表会は中止とした。

〔公民館まつり展示・発表状況〕

年度	R1年度	R2年度	R3年度
作品展	25部門304点	28部門302点	28部門320点
芸能発表会	59組260人	15組69人	中止

ロビー展

〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や、町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

【成果】　美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日頃の取組みを発表する場となった。また、住民には、質の高い芸術・文化に触れる貴重な場となった。

また、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、芸能発表会は中止としたが、公民館まつりの作品展示では、文化団体と協働しながら昨年を超える多くの活動団体･個人の出展をいただき、創作意欲の向上や生活文化の振興を図ることが出来た。またコロナ禍ではあったが町民に作品鑑賞の機会を提供することができ、生涯学習意欲の向上や豊かな心を育むことができた。

ロビー展は、文化団体との連携により出展の充実を図り、中央公民館来館者に成果を発表し、創作意欲の向上を図るとともに、多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することができた。

⑥成果還元活動費補助金事業　　　　　　　　　　４８千円

文化教室等が、作品展示などを町内各所で発表し、地域周辺住民に対しその成果を還元された活動を支援した。コロナ禍において、今年度も芸能・音楽などの教室は福祉施設への慰問が実施できず、発表の場が確保しづらい状況にあった。

年度	R1年度	R2年度	R3年度
団体数	19団体	18団体	12団体
延回数	36回	28回	16回

【成果】　身につけた技術などについて、地域への還元を促進することができ、地域文化の豊かさの醸成に資することが出来た。また、仲間と集い･学び・ふれあいながら親睦を深め、人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。

⑦町文化団体協議会補助金事業　　　　　　　２８７千円

町民の文化的な生活や生涯学習の推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な活動を支援した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、文化団体合同作品展、湖南市との文化交流はともに行われなかった。

【成果】　地域の文化振興と町民の生涯学習の活性化を図ることができた。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	8　民芸実習館費	821千円	770千円

①民芸実習館費事業　　　　　　　　　　　７７０千円

多くの町民が陶芸や油絵などの文化的創作活動が安心・安全、かつ、充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。

〔利用実績〕

年度	R1年度	R2年度	R3年度
開館日数	161日	161日	180日
利用者数	1,243人	1,354人	1,741人

木版画教室

【成果】　陶芸教室や木工教室、水墨画教室、木版画教室を実施し、施設の活用や文化振興のすそ野を広げる取り組みに寄与することが出来た。

款	9　教育費	項	4　社会教育費	予　算　現　額	決　　算　　額
		目	4　図書館費	47,565千円	46,689千円

①図書館管理事業　　　　　　　　　　３，１３０千円

図書館利用者が「いつでも、誰でも」安全に快適に利用でき、居場所となる施設として、適正に維持管理した。

【成果】新型コロナウイルス感染対策を行いながら、来館者が安心して利用できる環境を提供し、利用につなげることができた。

②図書館運営事業　　　　　　　　１２，２３７千円

図書館資料の収集、整理、保存を行い、資料相談の充実に努めた。また、講座事業や催しを実施し、住民に親しまれ暮らしに役立つ図書館として、適正に運営した。

・図書購入費（書籍･視聴覚資料等）　5,225　千円

利用実績（北条分室・雑誌・AV資料全て含む）　　　　※団体含む

年度	R1年度	R2年度	R3年度
利用登録者数	13,352人	13,520人	13,693人
実利用者数	2,089人	1,814人	1,809人
来館者数	58,765人	43,518人	47,642人
貸出冊数	84,225冊	78,342冊	82,683冊
蔵書冊数	136,866冊	139,519冊	140,821冊
資料購入数	3,927冊	4,200冊	4,173冊

主な事業・行事

（図書館本館）

項目	R1年度		R2年度		R3年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
あたまイキイキ音読教室	12回	155人	11回	103人	6回	45人
出前音読教室	16回	250人	7回	95人	7回	76人
図書館まつり	2日間	747人	2日間	473人	1日	394人
「源氏物語を読む」講座	20回	482人	17回	306人	15回	180人
郷土史入門講座	2回	74人	2回	37人	-	-

『特集・展示コーナー』

＜特集コーナー＞

はじめよう「新生活に役立つ本」特集、長谷川義史特集、オリンピック特集
星空特集、芸術の秋特集、図書館で旅しよう特集、湖南市友好交流10周年特集
追悼特集…橋田寿賀子、エリック・カール、瀬戸内寂聴ほか
常設入れ替え…「今日は何の日」

＜ギャラリーゆら里＞

広報特集写真展、由良だんじり写真展、「あの人の本棚が見たい」パネル展
鳥取中央育英高校図書館展、町内小中学校「マンガ授業」作品展　ほか

（北条分室）

項目	R1年度		R2年度		R3年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
図書館まつり	2日間	280人	2日間	102人	1日	76人

「絵本・紙芝居などの読みきかせ」

読み聞かせボランティア「つくしんぼ」により、北条地区のこども園・小学校において毎月1回ずつ実施した。

「特集コーナー」は、分室も本館同様に実施した。

【成果】　資料を幅広く計画的に収集し、テーマを決めた特集やパネル展示など工夫しながら活用しすることで、町民の多様なニーズに応えることができた。

各種講座・催し物で来館を促し、関連する図書資料の活用につなげることができた。

また、図書館まつりでは、「あなたの知らない図書館へようこそ」をテーマに、館だけではなく、図書館周辺の地域の方を巻き込んだイベントや、夜の図書館等、いつもとは違う図書館の魅力を発信し、図書館利用の促進につなげることができた。

ギャラリーが花畑に　～本と花のイベント～

「選ぶ」をテーマにしたトークイベント

図書館にだんじり屋台が登場！

③「今こそ絵本を！」推進事業　　　　　　　３９０千円

家庭や地域で絵本が活用されるよう絵本の持つ力を発信し、「絵本で人と人がつながる町　絵本で子どもが豊かに育つ町　北栄町」としての取り組みを行った。

○絵本のすすめ講座
- 親子編【コロナ感染拡大のため中止】
- 中学生編
  期日：12月2日（木）
  Zoomによるリモート開催
  演題：「一人一人がみんなたいせつ　～作品に託す願い～」
  講師：児童文学作家　くすのきしげのり さん
- 一般編
  これまでの取り組みを振り返るパネル展として開催
  場所：ギャラリーゆら里
  期間：2月17日（木）～ 27日（日）

「今こそ絵本を！」推進事業　集大成展

○ブックスタート（生後7か月児対象）

赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあう時間を持つきっかけとなるよう、赤ちゃん一人ひとりに絵本を手渡す。

7か月健診の際、赤ちゃんと保護者に読み聞かせを行い、数種類の中から保護者が選んだ絵本１冊を贈った。

年度	R1年度	R2年度	R3年度
対象者	100組	94組	95組
配布数	97組	94組	94組

バッグに本を入れてプレゼント

プレゼント本

○マタニティ・ファーストブック（母子手帳交付者）
　妊娠中の母親がおなかの赤ちゃんに絵本を読んで語りかけることで、母子ともに豊かな時間を過ごし、赤ちゃんの健やかな成長を育むことを目指す。
　母子手帳交付時に絵本引換券を渡して出産までに図書館またはパパママ教室で引き換えることとし、読み聞かせの大切さを伝える「みんな、絵本から」（柳田邦男 著）と、赤ちゃんのために保護者が選んだ絵本１冊を贈った。

年度	R1年度	R2年度	R3年度
対象者	93組	101組	93組
配布数	59組	44組	50組

④図書館関係負担金事業　５千円
　鳥取県図書館協会負担金

【成果】　他の市町村図書館との連携、情報交換のできる場が提供された。また、全国図書館大会や部門別研究集会への参加など、様々な支援・情報が得られ、業務遂行の上で参考になった。

款	2	総務費	項	1	総務管理費	予　算　現　額	決　　算　　額
			目	40	新型コロナウイルス臨時交付金事業費	265,292千円	206,069千円

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、以下の事業を行った。

個人を対象とした事業（4事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
①町指定ごみ袋配布事業	205千円	生活支援、感染症感染予防のために、各家庭へ町指定ごみ袋（大・25枚）を配布した。	ごみ袋にコロナ関連ごみを詰め込みすぎないことで破裂等を防止し、感染予防が図られた。
②【令和2年度繰越】生活支援・消費喚起北栄商品券配布事業	14,574千円	生活支援・消費喚起のため主に町内で使用できる「ふるさと応援ほくえい商品券」（1人10,000円分）を配布した。	コロナ禍における生活費の支援につながった。（アンケート結果：80%超が生活支援、消費喚起につながったと回答）
③成人式コロナ対策事業	1,728千円	8月と1月に開催する成人式の参加者に対し事前のPCR検査を行った。	感染拡大防止を図るとともに安心して式典に参加してもらえた。
④県外活動PCR検査実施事業	44千円	県外に出張した小中学校教職員の帰鳥後のPCR検査を行った。	小中学校における感染拡大防止を図ることができた。

事業者を対象とした事業（7事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
⑤必要物品供給事業	682千円	町内居宅事業所等に自宅訪問の際に携行できる消毒液とポーチのセットを配布した。	訪問事業者・受入家族がともに安心・安全な状況で面談することができた。
⑥新型コロナ対策利子補助事業	815千円	新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。申請：41件	事業継続を支援できた。
⑦【令和2年度繰越】農林水産物流通改善支援事業	1,648千円	町の特産品をPRするため、町内の民間活力を利用した農産物PRのパンフレット、動画を作成した。（大栄西瓜、らっきょう、ねばりっこ、ぶどう）	コロナ禍の販売支援につなげた。
⑧町内消費拡大支援事業	21,830千円	商工会に対し、キャッシュレス決済・地域活性化ポイントカード事業（ほくほくカード）の普及推進に係る事業として、新規加入キャンペーン並びに地元応援キャンペーンの付与ポイント分を補助した。 （令和4年3月末現在） 【ほくほくカード】 利用者数：4,383人 利用金額：134,762,008円	町内における消費拡大を促進し、町内事業所の事業継続・支援に繋がった。

事業名	決算額	事業概要	成果
⑨新型コロナ対策利子補助事業基金積立金事業（後年度負担分）	47,711千円	新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者への利子補助事業の財源に充てるため、基金を積み立てた。	今後の利子補助について確実な執行を担保することができた。
⑩事業継続応援事業	42,800千円	新型コロナウィルス感染症の影響の長期化に伴い、減収の影響を受けた町内に事業所を有する中小企業者等へ補助金を交付することにより、事業の継続を支援した。申請：139件	事業継続を支援できた。
⑪福祉関係事業所等コロナ対策支援金事業	3,800千円	厳しい感染防止対策をしながら事業を継続する福祉関係事業所等を支援するため、感染予防のための設備・備品等の整備費等に対して助成した。 申請：38件	パーテションの設置やマスク、消毒液、空気清浄機などが整備され、事業所における感染防止対策が図られた。

農業を対象とした事業（8事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
⑫緊急雇用対策農林水産ささえあい事業	2,378千円	新型コロナウイルスの影響により休業等となった業種の従業員の農家への雇用について、雇用労賃等の支援を行った。 申請：4人 雇用支援：24人	対象者の所得の安定を図ることができた。
⑬地元産材活用支援事業	2,240千円	地元産材の消費拡大、地産地消による食育のため、町内産食材を給食で使用した。	消費拡大や生徒への食育を図ることができた。
⑭肉用牛肥育緊急支援事業	187千円	和牛肥育農家の経営安定のため、肉用牛肥育経営安定対策（牛マルキン）を拡充した。 ※標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割が国の牛マルキン制度で補償されるが、補償されない部分（補てん差１割部分）について１/４を補助した。	生産者の負担を軽減し、営農の継続を支援できた。
⑮肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）積立金支援事業	2,414千円	和牛肥育農家の経営安定のため、肉用牛肥育経営安定対策（牛マルキン）を拡充した。 ※牛マルキン制度による補償金造成に必要な生産者積立金について1/3を補助した。	生産者の負担を軽減し、営農の継続を支援できた。
⑯地域の名産品魅力発信事業	1,179千円	大栄西瓜のカット販売用のシールを新たに作成し、新型コロナウイルス禍での販売支援を行った。	事業継続を支援できた。

事業名	決算額	事業概要	成果
⑰食と農の魅力創造支援事業	200千円	町内農産物を活用した加工品・メニュー開発を行う事業者に対し、事業費の1/2（上限20万円）を補助した。	加工に使用する機械等の導入により、加工品の増産・加工品の販路拡大につなげた。
⑱グルメストリートキャンペーン負担金事業	269千円	コロナからの需要回復に向けて、地元需要喚起を促すことを目的として、山陰道を結ぶ3町を「食」でつなぎ、各町の食の特産品のPRも兼ねて、住民参加型のスタンプラリー形式で企画された。参加：8店	それぞれの店舗の特色を生かした「食」を提供し、各種需要喚起に貢献した。
⑲収入保険加入促進事業	580千円	収入保険新規加入者1人あたり20,000円のキャッシュバックを行った。	新型コロナウイルスによる売り上げ減少に耐えられる農家の育成に貢献した。

環境整備に関する事業（12事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
⑳新型コロナウイルス感染症対策事業	4,413千円	感染対策用の物品・備品を購入した。 ・消毒液、ﾌｪｲｽｼｰﾙﾄﾞ　618千円 ・郵便料金計器　3,795千円	各施設、業務等での感染予防を強化することができた。また、業務を行う上での感染に対する不安軽減につながった。
㉑GIGAスクール構想整備事業	302千円	オンライン授業のための貸出し用モバイルルーターを購入した。 ・端末代　　10台　196千円 ・手数料、利用料 106千円	WiFi環境の無い家庭への貸し出し用にモバイルルーターを購入し、コロナによる臨時休校時も学習機会を確保する体制を整えることができた。
㉒修学旅行負担軽減事業	796千円	修学旅行時のコロナ対策費用として補助金を交付した。 ・小学校（1校）176千円 ・中学校（2校）620千円	バス・ホテル等での密の回避を図ることができ、感染防止対策に繋がった。また、費用の増額部分を補助し、保護者負担の軽減を図ることができた。
㉓公共的空間安全・安心確保事業	1,584千円	顔認証体温検知カメラを購入した。 ・12台　1,584千円	中央公民館や支所、こども園等各施設に配置し、施設内の感染防止対策が強化され、安心の確保に繋がった。
㉔給食センター環境整備事業	729千円	調理場内の複数人が使用する自動水栓になっていない箇所を自動水栓（混合）に改修した。	非接触の設備とすることで施設内の感染防止対策を強化することができた。
㉕議会マイク機材等整備事業	1,672千円	議会常任委員会など各会議で作成する会議録の作成のための1人1本のマイク等を整備した。	感染対策を徹底することができた。また、会議録の作成を効率よく行うことができるようになった。

事業名	決算額	事業概要	成果
㉖リモート会議・テレワーク推進事業	17,954千円	分散勤務環境を整備した。 ・議会用ﾀﾌﾞﾚｯﾄ 40台 6,259千円 ・分散勤務用PC 40台 4,787千円 ・Wifi、ｺﾝｾﾝﾄ等工事 2,110千円	リモート・テレワーク勤務の環境が整い、運用開始ができた。これにより、行政運営における感染拡大防止が強化され、緊急対応が可能となった。
㉗こども園ICT化事業	6,444千円	感染症対策、分散勤務対応のためこども園業務のICT化を行った。 ・ﾀﾌﾞﾚｯﾄ 32台　3,908千円 ・こども園（4園）Wi-Fi設備設置工事 2,145千円 ・ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ回線使用料 40千円 ・ICTｼｽﾃﾑ委託料　352千円	タブレット導入により、研修時や自宅勤務時などに活用することで、感染症対策を行いながらこども園の通常業務、運営を行うことができるようになった。
㉘こども園感染症対策事業	301千円	感染症対策強化のため、こども園の園児用机を少人数で利用できるよう机の台数を増やした。（年長児対象） ・4人用机 12台	園内の感染防止対策を強化することができた。
㉙上下水道料金コンビニ収納システム導入事業	1,200千円	水道料金及び下水道使用料のコンビニ収納を導入し、非接触決済の推進及び収納窓口の拡充を行い、利用者への利便性を高めた。	対面、訪問徴収の機会を少なくできる体制が整備できた。これにより、今後の感染防止対策強化に繋がった。（運用開始R4.4～）
㉚図書館感染予防対策事業	3,852千円	安心して図書館を利用できる環境を整備した。（本館） ・トイレ照明センサー式設置 ・ベビーケアールーム（授乳室）設置	施設内の感染防止対策を強化し、安心・安全な読書環境を提供できた。
㉛図書システム機能強化事業	21,538千円	安心・安全な環境整備と在宅時間の増加に伴って高まる読書需要に応えるため、自動貸出機を導入した。 ・本館2台・北条分室1台	接触機会を減らす等、安心・安全な読書環境を提供できるようになった。（利用者の約8割の利用実績あり。）

会計名	予算現額	決算額
国民健康保険事業特別会計	2,027,773千円	1,752,203千円

令和3年度は、歳入総額1,856,825千円、支出総額1,752,203千円で収支は104,622千円の黒字となった。

1　国民健康保険税の収納状況

（単位：千円・%）

区分		R1年度		R2年度			R3年度		
		収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	一般被保険者分	426,167	98.5	416,611	412,311	99.0	425,787	422,919	99.3
	退職被保険者等分	250	100.0	90	90	100.0	397	397	100.0
	計	426,417	98.5	416,701	412,401	99.0	426,184	423,316	99.3
滞納繰越分	一般被保険者分	6,622	67.9	9,170	5,431	59.2	7,729	4,267	55.2
	退職被保険者等分	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	計	6,622	67.5	9,170	5,431	59.2	7,729	4,267	55.2
合計		433,039	97.8	425,871	417,832	98.1	433,913	427,583	98.5

2　療養諸費に係る保険者負担分の給付状況

（単位：件・千円）

区分		R1年度		R2年度		R3年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
療養給付	一般	63,424	1,142,161	58,339	1,089,945	58,416	1,033,840
	退職者	137	8,894	0	0	0	0
療養費	一般	322	2,882	118	2,199	296	5,494
	退職者	4	7	0	0	0	0
審査支払手数料		—	6,316	—	3,703	—	3,708
高額療養費	一般	2,641	187,878	2,323	173,512	2,492	157,124
	退職者	11	3,173	0	0	0	0
高額介護合算療養費		0	0	0	0	0	0

【成果】被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付（保険者負担分7割～9割及び高額療養費等）を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

3　出産育児一時金、葬祭費等事業の状況

（単位：件・千円）

区分	R1年度		R2年度		R3年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
移送費	0	0	0	0	0	0
出産育児一時金	13	5,412	5	3,764	10	4,200
葬祭費	31	465	30	450	24	360

【成果】出産育児・葬祭等に要する経費について給付を行い、経済的な負担を軽減した。

4　特定健康診査受診状況

	R1	R2	R3
特定健診受診率	42.9%	35.8%	38.0%

（※R3は速報値）

5　国民健康保険の加入状況（年間平均）　年報数値（各年月報4月～3月報告）

区分		R1年度	R2年度	R3年度
世帯数		2,269世帯	2,221世帯	2,230世帯
被保険者数	一般被保険者	4,000人	3,857人	3,853人
	退職被保険者数	7人	0人	0人
	計	4,007人	3,857人	3,853人
介護保険第２号被保険者数		1,234人	1,104人	1,093人

R元年度中増減内訳（単位：人）								
	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		73人	392人	3人	19人	0人	10人	497人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		69人	338人	9人	31人	154人	15人	616人

R2年度中増減内訳（単位：人）								
	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		52人	372人	5人	14人	0人	12人	455人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		59人	282人	3人	30人	126人	21人	521人

R3年度中増減内訳（単位：人）								
	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		76人	359人	6人	15人	0人	25人	481人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		61人	274人	3人	24人	170人	26人	558人

6　療養の給付等の内訳　年報数値（各年月報6月～5月報告：現物給付3月診療～2月診療）

区分		R1年度		R2年度		R3年度	
		費用額（千円）	1人当り（円）	費用額（千円）	1人当り（円）	費用額（千円）	1人当り（円）
入院	一般	660,461	165,115	643,017	166,714	516,567	134,069
	退職者	11,139	1,591,319	0	0	0	0
入院外	一般	485,223	121,306	467,896	121,311	513,974	133,396
	退職者	482	68,866	0	0	0	0
歯科	一般	87,252	21,813	80,718	20,927	80,102	20,790
	退職者	122	17,399	0	0	0	0
調剤	一般	282,767	70,692	262,443	68,043	261,806	67,949
	退職者	707	100,989	0	0	0	0
食事療養	一般	29,265	7,316	23,791	6,168	20,250	5,256
	退職者	253	36,104	0	0	0	0
訪問看護	一般	9,195	2,299	4,267	1,106	6,501	1,687
	退職者	0	0	0	0	0	0
合計		1,566,866	391,032	1,482,132	384,269	1,399,200	363,147

会　　計　　名	予算現額	決算額
介護保険事業特別会計	**1,699,430千円**	**1,633,235千円**

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった方に対して居宅サービスや施設サービスを提供し、それに係る費用は、被保険者（40歳以上）が納める保険料と国・県・町からの負担金・補助金・繰入金等により運営している。

介護予防の更なる推進のため、「こけないからだ講座」の拡充及び「地域ケア会議」を実践、ケアプランのチェックを徹底し、自立支援のための適正なサービス提供となるよう努めた。

【地域ケア会議の状況】

月2回、地域包括支援センター職員を中心に、介護保険室、理学療法士、歯科衛生士、栄養士などの専門職を交え、担当ケアマネ、サービス事業所職員と要支援者等のサービス提供について協議を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度
対象件数	61件	39件	50件

【成果】

利用者一人ひとりの生活機能向上に着目して、生活の質の向上に向けた支援体制の構築につながっている。

決算は、歳入総額17億229万9千円、歳出総額16億3,323万5千円、実質収支額は6,906万4千円であった。

1　認定者・要介護認定申請件数及び審査結果の状況

（1）認定者の状況

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
R3年3月末	51人	101人	134人	169人	110人	124人	71人	760人
R4年3月末	65人	110人	130人	164人	103人	116人	76人	764人
※死亡者	3人	1人	12人	14人	24人	38人	41人	133人

※令和３年度中に死亡した認定者数

（２）要介護認定申請件数及び審査結果の状況　　（単位：人）

申請区分		申請件数	審査結果									
			支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	非該当	申請取下	合計
①新規申請		182	35	35	35	20	14	9	16	5	13	182
更新	支援1	17	11	3	2	1	0	0	0	0	0	17
	支援2	49	5	28	6	6	1	1	0	0	2	49
	介護1	60	0	1	31	21	5	1	0	0	1	60
	介護2	66	0	1	7	34	18	5	1	0	0	66
	介護3	42	0	0	1	5	16	17	3	0	0	42
	介護4	42	0	1	1	3	3	18	15	0	1	42
	介護5	33	0	0	0	1	3	7	21	0	1	33
	②小計	309	16	34	48	71	46	49	40	0	5	309
変更	支援1・2の者	29	0	2	6	5	5	3	1	0	3	25
	介護1～5の者	61	0	0	0	2	17	16	23	0	3	61
	③小計	90	0	2	6	7	22	19	24	0	6	86
合計（①+②+③）		581	51	71	89	98	82	77	80	5	24	577

2　地域支援事業　50,914 千円

（１）介護予防・日常生活支援総合事　48,289 千円

（ア）介護予防・生活支援サービス　38,714 千円

●訪問型サービス　（単位：人、回）

事業名	延人数	開催回数	備　　考
介護予防訪問介護相当サービス	221人		

●通所型サービス

事業名	延人数	開催回数	備　　考
介護予防通所介護相当サービス	877人		
筋力アップ教室	479人	48回	通所型サービスA
リフレッシュ教室	262人	48回	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	476人	48回	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わー会！	355人	47回	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	314人	48回	通所型サービスC

●介護予防ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ

事業名	延人数	備　　考
筋力アップ教室	17人	通所型サービスA
リフレッシュ教室	9人	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	13人	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わー会！	12人	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	17人	通所型サービスC

●介護予防サービス計画書作成

		R1年度	R2年度	R3年度
事業所委託	件　数	1,134 件	1,191 件	1,242 件
	委託料	4,778 千円	5,313 千円	5,423 千円
包括直営	件　数	735 件	609 件	594 件

（イ）一般介護予防事業　9,575 千円

●介護予防普及啓発事業

事業名	延人数	開催回数	備考
シニアファイト教室	223人	47回	
転倒予防教室	404人	24回	
生きがいデイサービス	963人	103回	
脳活クラブ	376人	48回	
認知症サポーター養成講座	227人	4回	
介護予防講座	111人	7回	

●地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	延人数	開催回数	備考
お口の機能向上事業	41人	3回	
リハビリテーション専門職派遣事業	36人	15回	

●地域介護予防活動支援事業

高齢者サークル事業及びこけないからだ講座は、令和３年度より重層的支援体制整備事業（一般会計）へ移行した。

（２）包括的支援事業・任意事業　2,625 千円

（ア）在宅医療・介護連携推進事業　13 千円

2次医療圏である中部圏域1市4町、医師会、倉吉保健所協働にて、研修会の開催や情報共有支援、社会資源マップを作成し医療・介護関係機関の連携を図った。

	延参加者	開催回数	備考
地域づくりしょいやの会	149人	2回	オンライン開催

	R1年度	R2年度	R3年度	備　　考
退院調整率	89.0%	未実施	未実施	コロナの影響により未実施
連携シート提出率	77.6%	未実施	未実施	コロナの影響により未実施

（イ）認知症総合支援事業　　　　　　1,762 千円
認知症の人とその家族、地域の人、専門職など、どんな人でも気軽に集える場としてNPO法人まちづくりネットと共催し「オレンジカフェ」を開催し、相談等に対応した。

開催回数	実人数	延件数	備　　考
19回	37人	194件	R3.4・8月、R4.2・3月はコロナの影響により中止

（ウ）任意事業　　　　　　　　　　　850 千円　　　　　（単位：人、回）

主な事業名	延人数	開催回数	備　　考
在宅介護者慰労事業	30人	2回	
家族介護用品支給事業	139人		交付枚数／実人数18人
認知症の人と家族のつどい	20人	9回	R3.4月、R4.2・3月は中止

認知症高齢者等が行方不明になった時、地域ぐるみで早期発見につなげられるよう、安心安全なまちづくりの推進を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度
協力機関登録数	40人	38人	38人
事前登録者	14人	15人	14人
GPS貸与者	2人	2人	
GPS利用助成者		0人	0人

3　介護保険給付費

区　　分	種　　別	延件数（件）	給付額（円）
居宅（介護予防）サービス	訪問介護	616	62,407,189
	訪問入浴介護	30	1,228,671
	訪問看護	588	21,320,433
	訪問リハビリテーション	118	3,525,264
	居宅療養管理指導	163	811,810
	通所介護	2,216	247,028,423
	通所リハビリテーション	1,715	127,724,373
	短期入所生活介護	198	28,165,248
	短期入所療養介護（介護老人保健施設）	294	22,062,204
	福祉用具貸与	3,419	42,963,919
	福祉用具購入費	47	1,253,252
	住宅改修費	59	3,923,999
	特定施設入居者生活介護	36	8,203,860
	居宅介護支援計画	4,913	63,710,240
	計		634,328,885
地域密着型（介護予防）サービス	地域密着型通所介護	12	1,714,383
	認知症対応型通所介護	12	735,273
	小規模多機能型居宅介護	394	57,980,736
	認知症対応型共同生活介護	869	218,387,143
	計		278,817,535
施設介護サービス	介護老人福祉施設	664	173,694,285
	介護老人保健施設	1,321	383,030,304
	計		556,724,589
小　　計			1,469,871,009

特定入所者（介護予防）サービス等	特定入所者介護サービス費	食費	1,190	24,660,808
		居住費	1,193	11,378,544
	計			36,039,352

高額介護サービス等	高額介護サービス費	2,629	29,282,508
	高額医療合算サービス費	46	4,771,329
	計		34,053,837

諸　費	審査支払手数料	17,540	1,666,300

介護給付費合計額		1,541,630,498

【成果】事業計画内での給付費の決算となり、平成22年度から実施している地域ケア会議等の取り組みの成果だと考えられる。

4　介護保険料の収納状況

（単位：千円）

区　分	R1年度		R2年度		R3年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分特別徴収	334,479	100.0	333,222	100.0	336,493	336,493	100.0
現年度分普通徴収	24,126	95.8	23,134	96.1	26,022	25,640	98.5
滞納繰越分	812	61.5	1,086	82.2	1,177	926	78.7
計	359,417	99.6	357,442	99.7	363,692	363,059	99.8

65歳人口・高齢化率等における年度末の状況

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
65歳以上人口	5,098 人	5,176 人	5,194 人
高齢化率	34.5 %	35.4 %	35.7 %
介護認定者数	745 人	760 人	764 人
65歳以上	734 人	747 人	756 人
40～64歳	11 人	13 人	8 人
認定率	14.4 %	14.4 %	14.6 %
介護給付費	1,473,957千円	1,524,705千円	1,541,630千円

要介護認定者数における年度末の状況

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
要支援1	49人	51人	65人
要支援2	99人	101人	110人
要介護1	128人	134人	130人
要介護2	155人	169人	164人
要介護3	112人	110人	103人
要介護4	126人	124人	116人
要介護5	76人	71人	76人
合　計	745人	760人	764人

介護保険の資格取得者・喪失者の状況

年　度	R1年度	R2年度	R3年度
取得者（65歳到達・転入）	283人	273人	240人
喪失者（死亡・転出）	230人	195人	228人
増　減	53人	78人	12人

居宅サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
要支援1	23人	26人	28人
要支援2	74人	80人	80人
要介護1	83人	88人	100人
要介護2	101人	110人	105人
要介護3	67人	54人	57人
要介護4	43人	42人	37人
要介護5	15人	14人	20人
合　　計	406人	414人	427人

地域密着型サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
要支援1	4人	4人	5人
要支援2	2人	4人	3人
要介護1	24人	27人	14人
要介護2	35人	35人	40人
要介護3	30人	27人	24人
要介護4	8人	14人	11人
要介護5	7人	3人	9人
合　　計	110人	114人	106人

施設サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年　　度	R1年度	R2年度	R3年度
介護老人福祉施設	63人	51人	54人
介護老人保健施設	111人	111人	110人
介護療養型医療施設	人	人	人
合　　計	174人	162人	164人

会　　計　　名	予算現額	決算額
農業集落排水事業特別会計	14,168千円	13,601千円

北条島地区農業集落排水事業（平成9年5月供用開始）に係る維持管理費

目　　的　北条島における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した農業集落排水設備の適正管理。

処理施設　クリーンセンター島

整備期間　平成6年度　～　平成8年度

令和3年度の歳出では予算現額 14,168千円に対し決算額 13,601千円となった。
歳入では約60%を占める一般会計繰入を収支0円とするよう歳出に合わせて行うため同じく決算額13,601千円となった。

1　令和3年度末　接続戸数　76戸

2　維持管理経費
- ･処理水用塩素剤　23千円
- ･光熱水費　793千円
- ･修繕等　82千円
  島地区下水道管渠清掃（閉塞改善）、フロートスイッチ取替
- ･通信費（監視装置回線料等）　59千円
- ･汚泥抜取処分手数料　69.57t　908千円
  インバート（枡）汚水移送作業（処理場内最終MH）、汚泥引抜作業ほか
- ・処理施設維持管理委託料　1,020千円
  施設維持管理業務、自治会委託（植栽管理、施設清掃、利用者水質管理ほか）
- ･その他（建物災害共済）　4千円

3　起債償還状況

・令和3年度償還額　元金　9,436千円
　　　　　　　　　　利子　1,275千円
　　　　　　　　　　合計　10,711千円

起債償還終了年度　令和8年度
（起債償還残高　33,014千円　R4.3.31現在）

【成果】令和3年度においては故障や経年破損等による修繕件数も少なく、適正な維持管理に努めることができた。

農業集落排水事業の処理施設クリーンセンター島から処理した汚泥を年間3回程度、一般廃棄物として中部クリーンセンター(し尿処理場　倉吉市小田)へ運搬

農集	R4.3月末	世帯数①	人口②	整備済			水洗化			未水洗化	
				世帯	人口③	率③/②	世帯	人口④	率④/③	世帯	人口
	北条島	77戸	226人	77戸	226人	100%	76戸	225人	99.6%	1戸	1人

●収納状況（現年＋滞納繰越）

	R1年度	R2年度	R3年度
調定	4,329,081円	4,413,316円	4,415,742円
収納	4,329,081円	4,413,316円	4,415,742円
収納率	100.00%	100.00%	100.00%
未収	0円	0円	0円

会計名	予算現額	決算額
栄財産区特別会計	767千円	600千円

栄財産区に、栄財産区管理会を設置し、保有財産等の適切な維持管理を行った。
管理会の開催、保有財産等は以下のとおり。

1　栄財産区管理会の開催状況

招集日	出席委員	内容
8月17日	5人	令和2年度決算審議
12月14日	6人	令和3年度補正予算、令和4年度当初予算協議

2　事業等の状況
・栗林の管理　　草刈１回（9/15）
・栗の販売　　1本1,000円で販売。28人（28本）が購入

3　財政調整基金の状況　（単位：千円）

	R1年度	R2年度	R3年度
基金残高	63,183	65,083	65,433

4　財産等の状況
（1）　栄財産区所有地

地目	面積（㎡）
山林	375,529
畑地	55,938
雑種地	1,377
原野	623
計	433,467

（前年度末に変動なし）

（2）　保安林指定

森林の所在地	面積（㎡）
西高尾字谷奥1798	33,854
同　1788-1	72,560
同　1788-2	20,304
同　1801-1	29,694
東高尾字奥谷773-5	57,203
同　852-1	52,555
同　852-2	15,467
同　852-3	64,794
同　852-313	10,804
同　852-317	6,014
計	363,249

（前年度末に変動なし）

5　管理会委員の選任

選出区分	氏名	自治会	新・継
西高尾	長谷川　勝矢	西高尾自治会	新規
東高尾	森田　勇人	東高尾自治会	新規
上種・茶ヤ条	藤井　弘美	上種自治会	継続
下種	横山　浩一	下種自治会	継続
亀谷	宮本　卓行	亀谷自治会	継続
東亀谷	堀江　恭二	東高尾自治会	継続
高千穂・岩坪	徳山　篤仁	岩坪自治会	継続

会長：森田　勇人　　職務代理者：長谷川　勝矢
任期：令和3年11月22日～令和7年11月21日

【成果】区有地の適正管理を行うことができた。また、栗販売の促進を行い、多くの方に「財産区」を知っていただくとともに、自主財源の確保を行うことができた。

会　　　計　　　名	予 算 現 額	決　算　額
合併処理浄化槽事業特別会計	7,952千円	6,858千円

浄化槽市町村整備推進事業により、対象地域に設置した合併処理浄化槽の維持管理

目　　的　　公共下水道処理区域外の地域における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した合併処理浄化槽の適正管理。

全体計画　合併処理浄化槽　　（5人槽～21人槽）

整備期間　平成18年度　～　平成20年度

対象地域　浄化槽による汚水処理が、経済的・効率的である地域
青木、岩坪、高千穂及び、由良宿3区・下種・松神・田井・北尾・江北浜
東新田場・米里の各一部

令和3年度の歳出では予算現額 7,952千円に対し決算額 6,858千円となった。歳入では約57%を占める一般会計繰入を収支0円とするよう歳出に合わせて行うため同じく決算額 6,858千円となった。

1　整備状況（全52基うち、住宅用45基／事業所用7基）

平成18年度	23　基	（うち寄付採納分1基）
平成19年度	27　基	（うち寄付採納分1基）
平成20年度	2　基	
合　計	52　基	（接続済51接続率98%）

2　維持管理経費
法定検査手数料（11条）　280千円
保守点検清掃委託料　3,607千円
修繕費(3件)　241千円

3　起債償還状況
令和2年度償還額　元金　1,932千円
　　　　　　　　利子　798千円
　　　　　　　　合計　2,730千円

・起債償還終了年度　　令和20年度
（起債償還残高　35,795千円　R4.3.31現在）

浄化槽修繕作業(内部修繕のため内部構造材を一時撤去している様子)

【成果】　令和3年度においては故障や経年破損等による修繕件数も少なく、比較的に経費節減のうえ事業を執行することができた。

合併処理浄化槽	R4.3月末	世帯数①	人口②	整備済			水洗化			未水洗化	
				世帯	人口　③	率③/②	世帯	人口　④	率④/③	世帯	人口
	旧北条地区	9戸	20人	9戸	20人	100%	9戸	20人	100%	0戸	0人
	旧大栄地区	42戸	125人	42戸	125人	100%	41戸	120人	96%	1戸	5人
	合計	51戸	145人	51戸	145人	100%	50戸	140人	97%	1戸	5人

※上記「整備状況」うち住宅用45基51戸(一部 1基2世帯利用によるものあり)の水洗化等の状況

●収納状況（現年＋滞納繰越）

	R1年度	R2年度	R3年度
調定	2,651,102円	2,836,013円	2,863,907円
収納	2,651,102円	2,836,013円	2,863,907円
収納率	100.00%	100.00%	100.00%
未収	0円	0円	0円

会　　計　　名	予算現額	決　算　額
大栄歴史文化学習館特別会計	69,256千円	64,255千円

「名探偵コナン」の原作者 青山剛昌氏の生まれ育った地である鳥取県北栄町において、漫画家・青山剛昌氏にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここに訪れる人々に彼の作品を通し、青山剛昌氏の魅力や人となりを紹介している。

総入館者数　　　83,658 人　（うち有料入館者数　77,111 人）
入場料収入　　39,707,262 円
有料入館者（数）の内訳

種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計
R1	143,044人	15,921人	35,165人	9,199人	203,329人
R2	44,692人	4,135人	9,430人	19人	58,276人
R3	56,344人	8,384人	12,358人	25人	77,111人
前年比	126.1%	202.8%	131.0%	131.6%	132.3%

誘客活動　県内の道の駅、ホテル・旅館及び土産物店等に割引券を設置し、鳥取県を訪れた観光客の誘客を進めた。併せて、Web割引券の発行及び旅行雑誌・CM等への割引券の掲載により誘客活動を進めた。（優待券利用者数25,708人）
　また、下記のイベント実施のほか、加西サービスエリア（下り）および宝塚北サービスエリアへの広告掲出、旅行雑誌等への広告掲載を行うことで、県内者だけでなく県外者への誘客活動も進めた。

1　イベントの実施

名探偵コナンバースデーメッセージ募集	R3.3/15～4/12
青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集	4/6～5/8
GWイベント	4/29～5/9
来館感謝キャンペーン（シールプレゼント）	5/10～14、17～21、24～28、11/15～12/31
青山先生誕生日・バースデーメッセージタペストリー設置	6/1～21
青山先生誕生日・バースデーメッセージ貼付	6/19～21
暑中見舞いハガキ申込受付	6/22～30
七夕タペストリー設置	6/22～7/11
名探偵コナンイラストコンテスト	7/1～9/3
Twitter連動企画5万人達成缶バッジプレゼント	7/1～16
ARフォトコンテスト	7/19～12/17
夏季期間謎解きラリー（赤井ファミリー編）	8/16～9/17
SNS投稿キャンペーン（ポストカード&箱ティッシュプレゼント）	9/27～11/14
名探偵コナン北栄町に潜む人物探索（キャラクターサーチ）	10/9～11/14
名探偵コナンコミックス100巻達成記念（壁紙配信&ポストカードプレゼント）	10/18～27
ハロウィンイベント	10/30、31
キャラクターイラスト年賀状募集	11/1～R4.1/3
北栄町民入館無料デー	11/6～12/19
クリスマスイベント（缶バッジプレゼント・タペストリー設置）	12/1～26
年賀状ポスト設置	12/1～31
お正月イベント（カレンダープレゼント）	1/1～3
バレンタインデー・ホワイトデーイベント	2/11～14、3/12～14
開館15周年記念メッセージ募集	3/1～25
開館15周年記念イベント	3/1～8/31

※　新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止したイベント
青山剛昌先生と話そうDAY2022　　1/3

２　館内展示の入れ替え、新設

青山剛昌名探偵コナン特別原画展第1期～第6期	4/1～3/31 年間を通じて展示 （12/27、3/24～25の間は臨時休館）
劇場版名探偵コナン「緋色の弾丸」原画展示	R2.6/19～R4.8/中旬
劇場版名探偵コナン「緋色の弾丸」グッズ展示	7/1～2/28
コナン・キッドオブジェ新設	7/17～以後、常設
コミックスウォールに99巻、100巻を追加	12/25～以後、常設
コミックスウォール100巻のAR機能を新設	3/1～以後、常設
南側壁面装飾リニューアル	3/18～以後、常設
開館15周年記念カラー複製原画展示	3/19～以後、常設
開館15周年記念「15年間の想い出の品々」展示	3/20～以後、常設

３　館内設備の整備

駐車場区画線整備
探偵団広場フォルクスワーゲン修理
館内トイレ表示吊り看板設置
館内観覧誘導床シール設置

【成果】

新型コロナウイルスの影響により、当初目標としていた有料入館者数11万人には届かなかったが、前年には中止していたGWイベント等を開催することができ、館内展示物についても充足を図ることができた。

しかし、GWや15周年イベント時には、入館上限以上のお客様が来館された。このため、整理券待機列のお客様の安全対策や入館上限の見直しが、令和4年度以降の課題である。

会計名	予算現額	決算額
後期高齢者医療事業特別会計	178,618千円	174,545千円

令和3年度は、歳入総額174,858千円、歳出総額174,545千円となり、収支は313千円の黒字となった。

医療給付などの運営主体は後期高齢者医療広域連合が行い、町は保険料の徴収や資格の取得・喪失など、主に窓口業務を担当した。

1　後期高齢者医療保険料の収納状況

（単位：千円・％）

区分	R1年度			R2年度			R3年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分	122,555	122,101	99.6	128,183	127,764	99.6	129,534	129,053	99.6
過年度賦課分	-	-	-	-	-	-			-
滞納繰越分	377	100	26.5	585	525	89.7	480	413	86.0
計	122,932	122,201	99.4	128,768	128,289	99.6	130,014	129,466	99.5

2　被保険者数

※　65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人

区分		令和2年 3月末現在（人）	令和3年 3月末現在（人）	令和4年 3月末現在（人）
被保険者数	65歳　～　69歳※	5人	10人	13人
	70歳　～　74歳※	8人	19人	27人
	75歳　～　79歳	829人	778人	785人
	80歳　～　84歳	668人	668人	651人
	85歳　～　89歳	595人	602人	603人
	90歳　～　94歳	312人	319人	327人
	95歳　～　99歳	99人	112人	109人
	100歳　～	15人	21人	28人
	計	2,531人	2,529人	2,543人

3　療養の給付等の内訳

区分	R1年度		R2年度		R3年度	
	費用額（千円）	1人当り（円）	費用額（千円）	1人当り（円）	費用額（千円）	1人当り（円）
入院	1,390,191	549,265	1,175,055	464,632	1,322,512	520,060
入院外	600,062	237,085	599,057	236,875	613,180	241,125
歯科	47,352	18,709	49,397	19,532	48,266	18,980
調剤	391,403	154,643	355,963	140,752	331,177	130,231
食事療養	68,540	27,080	58,066	22,960	63,046	24,792
食事療養歯科	2	1	0	0	0	0
訪問看護	15,724	6,212	14,851	5,872	18,182	7,150
合計	2,513,272	992,996	2,252,389	890,623	2,396,363	942,338

【成果】療養の給付等は微増したが、生活習慣病予防等の取り組みにより療養の給付の抑制を図った。

会　計　名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（収益的支出）	232,474千円	212,368千円

水道事業の概要

年間配水量は、1,779,310㎥で、前年度に比べ 2.8%の減少、年間給水量は、1,497,033㎥で、前年度に比べ 0.1%の減少となった。

この結果、年間有収水量率は、84.1%で、前年度に比べ 2.3ポイント増加となった。

事項	R1年度	R2年度	R3年度
年度末給水人口（人）	14,751	14,617	14,513
年度末給水戸数（戸）	5,343	5,377	5,418
年度末給水栓数（栓）	5,925	5,949	5,979
年間配水量（㎥）	1,756,378	1,831,335	1,779,310
年間1カ月平均配水量（㎥）	146,364	152,611	148,276
年間給水量（㎥）	1,462,867	1,498,595	1,497,033
年間1カ月平均給水量（㎥）	121,905	124,883	124,753
年間有収水量率（%）	83.3	81.8	84.1

１．収益的収入　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	248,683,596	89.1%	233,389,021	81.5%	261,195,253	89.2%
営業外収益	30,255,456	10.8%	53,140,918	18.5%	31,463,594	10.8%
特別利益	299,900	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
計	279,238,952	100.0%	286,529,939	100.0%	292,658,847	100.0%

２．収益的支出　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	191,921,875	90.6%	184,826,358	86.0%	192,007,140	90.4%
事業外費用	19,817,314	9.4%	30,161,031	14.0%	20,360,966	9.6%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	211,739,189	100.0%	214,987,389	100.0%	212,368,106	100.0%

【成果】安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適切な維持管理等を行った。
老朽管の改良工事を進め、修繕費が減額になるよう努めた。

●水道料金　収納状況　（単位：千円）

現年	R1年度	R2年度	R3年度
調定	242,165	227,301	250,593
収納	239,868	225,205	248,383
収納率	99.05%	99.08%	99.12%
未収	2,297	2,096	2,210

（単位：千円）

滞納繰越	R1年度	R2年度	R3年度
調定	2,963	2,698	2,628
収納	2,562	2,166	1,846
収納率	86.46%	80.28%	70.23%
未収	401	532	782

会計名	予算現額	決算額
水道事業会計（資本的支出）	304,501千円	212,960千円

１．資本的収入　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
工事負担金	4,477,543	5.7%	4,994,000	6.7%	3,734,500	4.4%
企業債	73,900,000	94.3%	69,300,000	93.3%	80,800,000	95.6%
計	78,377,543	100.0%	74,294,000	100.0%	84,534,500	100.0%

２．資本的支出　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	155,567,088	68.5%	42,065,074	39.5%	149,173,731	70.0%
企業債償還金	71,653,246	31.5%	64,530,333	60.5%	63,786,261	30.0%
計	227,220,334	100.0%	106,595,407	100.0%	212,959,992	100.0%

（建設改良費内訳）

○配水施設等改良費　143,701千円

配水池改修工事、配水管改良工事等

・工事請負費　132,071千円

・委託料(設計業務)　11,630千円

○営業設備費　5,472千円

・取替量水器購入　1,611千円

・ハンディターミナル更新業務　3,861千円

配水管改良工事

ハンディターミナル

会　　計　　名	予 算 現 額	決　算　額
下水道事業会計（収益的支出）	866,713千円	818,577千円

下水道事業の概要

　処理区域内人口は、14,134人で、前年度に比べ 97人の減少、水洗化率は、91.7%で、前年度に比べ0.4ポイントの上昇となった。

　この結果、年間有収水量は1,280,092㎥で、前年度に比べ 約0.4%の増加となった。

事項	R1年度	R2年度	R3年度
行政区域内人口（人）	14,854	14,720	14,613
処理区域内人口(人)	14,355	14,231	14,134
水洗化人口（人）	12,995	12,992	12,965
普及率（%）	100	100	100
水洗化率（%）	90.5	91.3	91.7
年間有収水量（㎥）	1,247,641	1,275,088	1,280,092
使用料単価（円／㎥）税抜	202.5	202.6	202.5

１．収益的収入　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	962,450,210	82.4%	957,247,556	82.8%	834,168,847	80.8%
営業外収益	205,760,828	17.6%	198,791,784	17.2%	197,940,052	19.2%
特別利益	100,000	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,168,311,038	100.0%	1,156,039,340	100.0%	1,032,108,899	100.0%

２．収益的支出　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	701,874,541	79.4%	677,344,338	81.0%	673,979,756	82.3%
営業外費用	178,531,365	20.2%	158,897,925	19.0%	144,597,520	17.7%
特別損失	3,086,000	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
計	883,491,906	100.0%	836,242,263	100.0%	818,577,276	100.0%

【成果】下水道施設の事故もなく、適切な維持管理等に努めることができた。公共用水域の水質保全の確保及び住民の生活環境の改善に寄与した。

●下水道使用料　収納状況　（単位：千円）

現年	R1年度	R2年度	R3年度
調定	274,469	284,083	285,135
収納	272,224	281,923	282,949
収納率	99.18%	99.24%	99.23%
未収	2,245	2,160	2,186

（単位：千円）

滞納繰越	R1年度	R2年度	R3年度
調定	4,109	3,430	2,940
収納	2,923	2,644	1,913
収納率	71.14%	77.06%	65.05%
未収	1,186	787	1,028

マンホール清掃

会　計　名	予 算 現 額	決　算　額
下水道事業会計（資本的支出）	1,003,765千円	901,639千円

１．資本的収入　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
企業債	36,800,000	11.8%	19,900,000	6.4%	91,100,000	22.4%
他会計出資金	226,337,000	73.0%	222,758,000	71.0%	247,162,000	60.7%
国庫補助金	31,245,000	10.1%	68,335,000	21.8%	65,609,000	16.1%
負担金等	15,756,759	5.1%	2,589,270	0.8%	3,255,580	0.8%
計	310,138,759	100.0%	313,582,270	100.0%	407,126,580	100.0%

２．資本的支出　（単位：円）

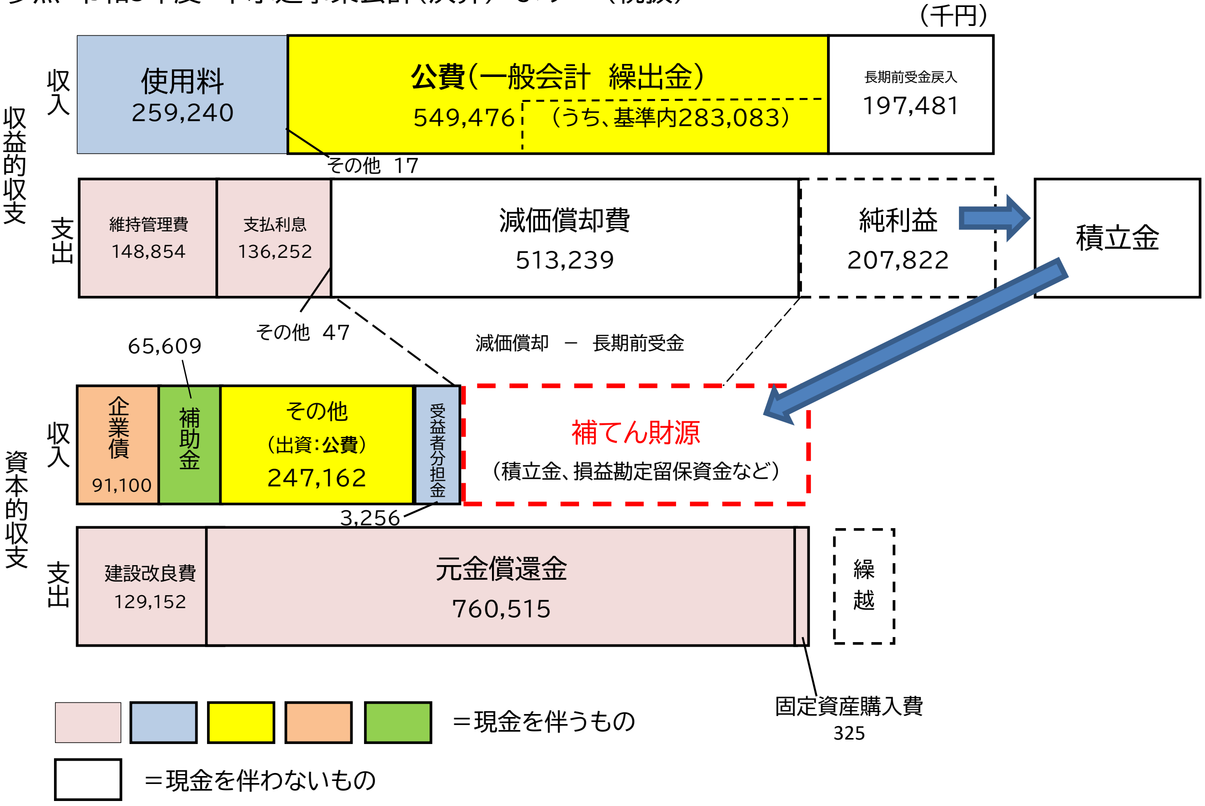
事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	92,387,347	10.9%	166,706,615	18.3%	140,766,638	15.6%
固定資産購入費	112,860	0.0%	1,135,354	0.1%	357,500	0.1%
企業債償還金	752,328,977	89.1%	743,841,517	81.6%	760,514,851	84.3%
計	844,829,184	100.0%	911,683,486	100.0%	901,638,989	100.0%

（建設改良費内訳）
- ○管路建設改良費　26,918千円
- ○処理場建設改良費　110,587千円
- ○流域下水道建設負担金　1,331千円
- ○ハンディターミナルシステム購入分担金　1,931千円

公共桝取替工事

****

参照:令和3年度　下水道事業会計(決算)　より　（税抜）



会　　　計　　　名	予 算 現 額	決　算　額
風力発電事業会計（収益的支出）	**440,339千円**	**404,848千円**

風力発電事業は、平成17年11月から本格運転を開始し、令和3年度で17年目を迎えている。

1,500kW／9基　　　総定格出力　13,500kW

１．収益的収入　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	458,239,255	90.9%	459,496,305	89.8%	408,540,468	91.8%
財務収益	2,018,209	0.4%	2,663,542	0.5%	2,490,517	0.6%
事業外収益	43,744,567	8.7%	49,413,033	9.7%	33,951,531	7.6%
計	504,002,031	100.0%	511,572,880	100.0%	444,982,516	100.0%

２．収益的支出　（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	303,612,809	93.6%	295,857,847	92.0%	389,653,563	96.2%
事業外費用	20,305,000	6.3%	25,835,100	8.0%	15,194,600	3.8%
特別損失	468,000	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
計	324,385,809	100.0%	321,692,947	100.0%	404,848,163	100.0%

３．視察・見学者　103名　（8団体）

４．年間発電量
売電実績　18,101,040ｋＷｈ

（単位：kWh）

月	過去平均 売電電力量 ①	年間推定 売電電力量 ②	年間売電 電力量（実績） ③	過去平均と の比較 ③/①	売電電力量 達成率 ③/②
3	2,521,335	2,850,552	2,108,400	83.6%	74.0%
4	1,972,247	1,562,004	1,948,800	98.8%	124.8%
5	1,468,872	1,250,883	1,643,280	111.9%	131.4%
6	818,741	1,581,444	816,480	99.7%	51.6%
7	991,260	1,082,403	430,560	43.4%	39.8%
8	910,436	1,122,174	1,026,240	112.7%	91.5%
9	1,205,234	1,698,894	988,800	82.0%	58.2%
10	1,577,117	1,717,281	1,705,680	108.2%	99.3%
11	1,971,449	2,156,787	1,832,160	92.9%	84.9%
12	2,582,642	2,678,832	2,435,040	94.3%	90.9%
1	2,456,133	3,805,380	1,590,480	64.8%	41.8%
2	2,338,448	2,425,950	1,575,120	67.4%	64.9%
年計	20,813,914	23,932,584	18,101,040	87.0%	75.6%

【成果】風力発電施設の適正な管理を行ったことで、年間7,946tのCO_2を削減した。
また、純利益は37,434,353円となった。

会計名	予算現額	決算額
風力発電事業会計（資本的支出）	**100,000千円**	**100,000千円**

１．資本的収入

なし

２．資本的支出

（単位：円）

事項	R1年度		R2年度		R3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	4,944,873	4.5%	29,731,331	22.2%	0	0.0%
固定資産購入費	5,346,000	4.8%	0	0.0%	0	0.0%
基金積立金	100,000,000	90.7%	104,471,343	77.8%	100,000,000	100.0%
計	110,290,873	100.0%	134,202,674	100.0%	100,000,000	100.0%

（内訳）

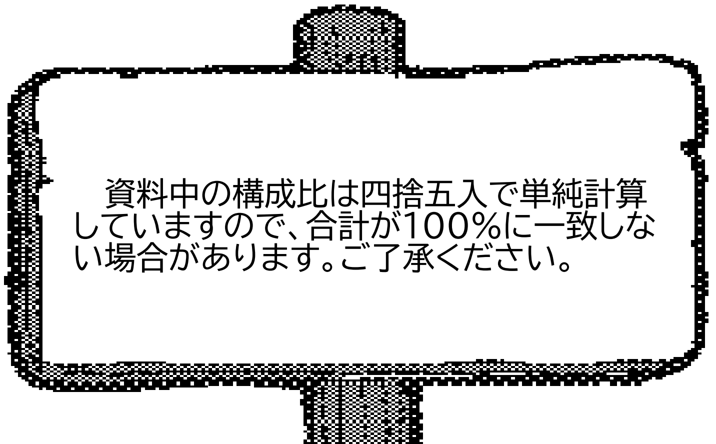
○基金積立　100,000千円

３．基金

（単位：円）

R2年度末残高	新規積立	取り崩し	R3年度末現在高
782,654,735	100,000,000	0	882,654,735

資　料　編

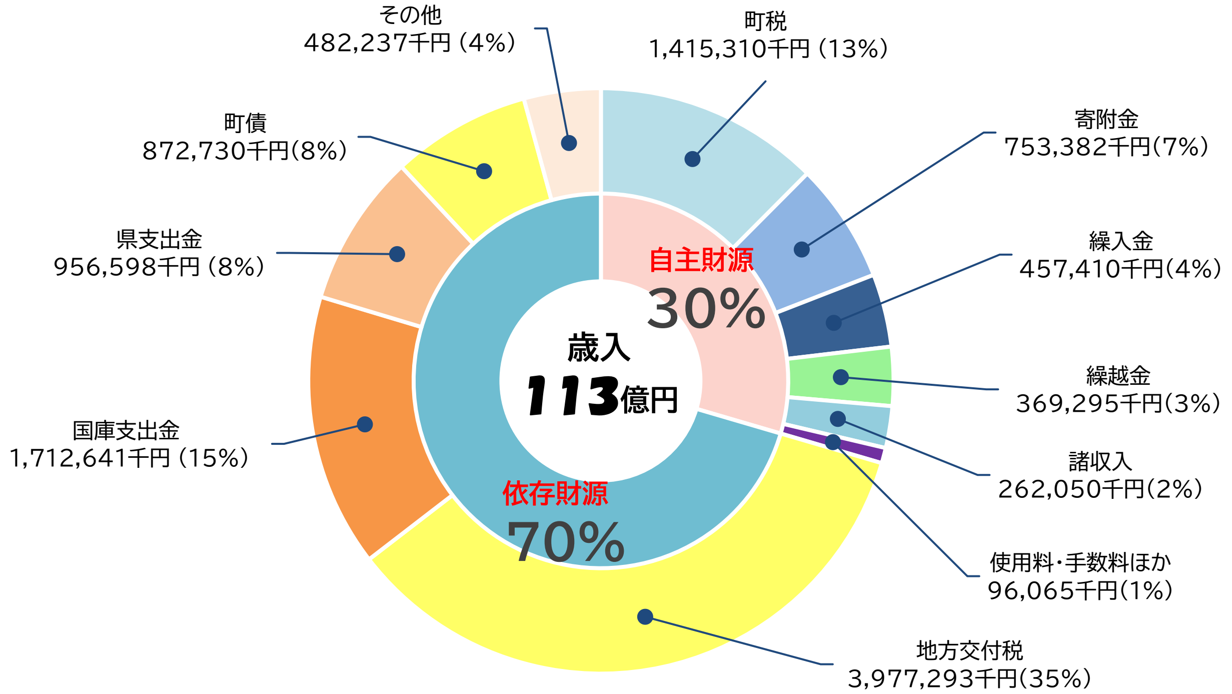

資料中の構成比は四捨五入で単純計算していますので、合計が100%に一致しない場合があります。ご了承ください。

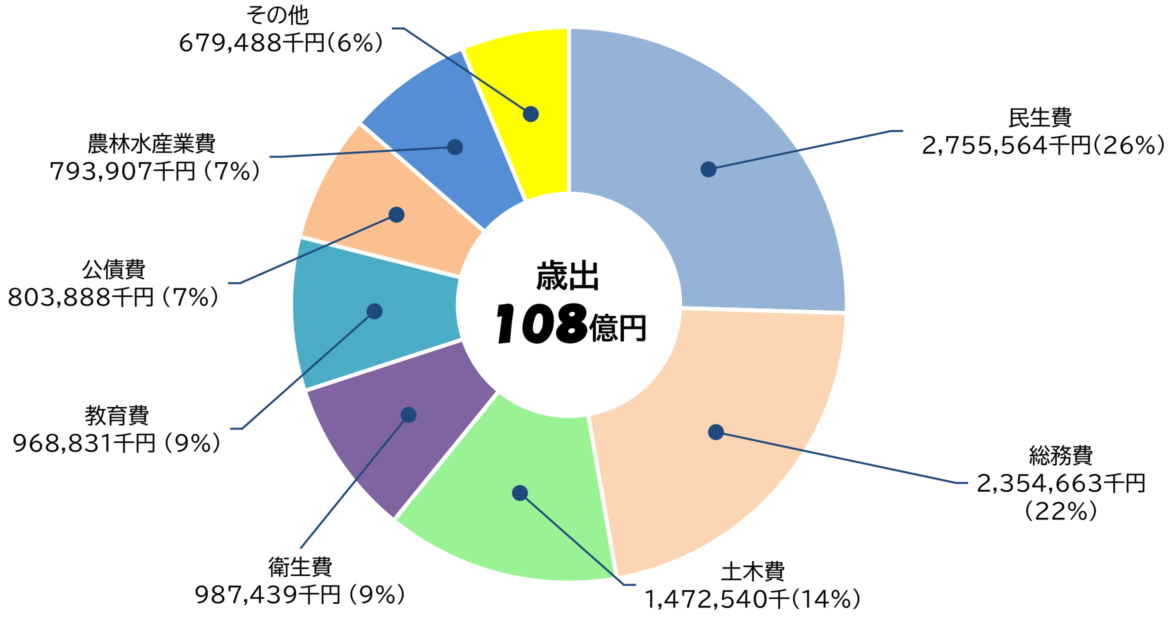
令和3年度各会計別決算状況

（単位：千円）

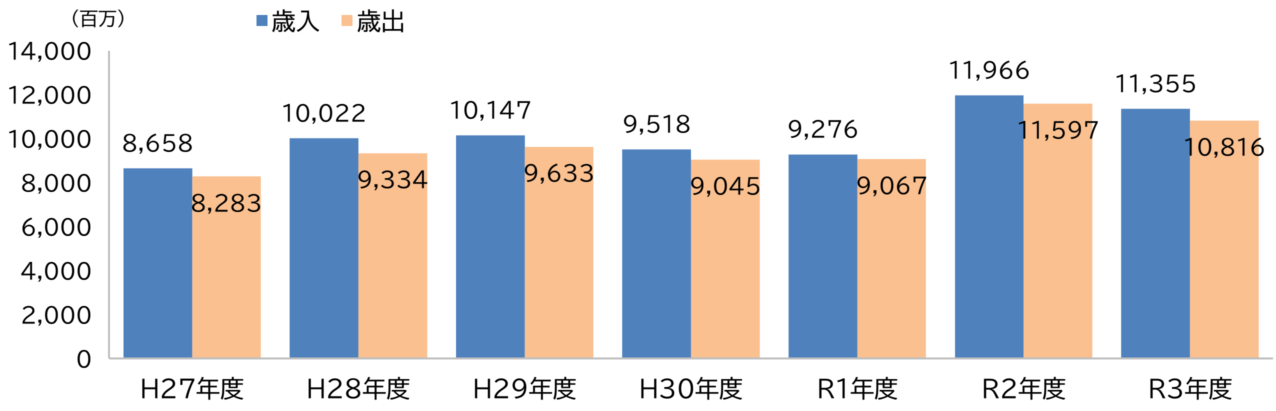
会　計　名	予算現額（A）	歳入総額（B）	歳出総額（C）	歳入歳出差引額（B-C）（D）	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額（D−E）（F）	予算に対する決算額の比率	
					逓次繰越	明許繰越	事故繰越	合計（E）		歳入（B／A）	歳出（C／A）
一般会計	12,778,529	11,355,011	10,816,320	538,691	0	160,901	0	160,901	377,790	88.9	84.6
国民健康保険事業特別会計	2,027,773	1,856,825	1,752,203	104,622	0	0	0	0	104,622	91.6	86.4
介護保険事業特別会計	1,699,430	1,702,299	1,633,235	69,064	0	0	0	0	69,064	100.2	96.1
農業集落排水事業特別会計	14,168	13,601	13,601	0	0	0	0	0	0	96.0	96.0
栄財産区特別会計	767	769	600	169	0	0	0	0	169	100.3	78.2
合併処理浄化槽事業特別会計	7,952	6,858	6,858	0	0	0	0	0	0	86.2	86.2
大栄歴史文化学習館特別会計	69,256	64,255	64,255	0	0	0	0	0	0	92.8	92.8
後期高齢者医療事業特別会計	178,618	174,858	174,545	313	0	0	0	0	313	97.9	97.7
合　計	16,776,493	15,174,476	14,461,617	712,859	0	160,901	0	160,901	551,958	90.5	86.2

令和3年度決算（一般会計）

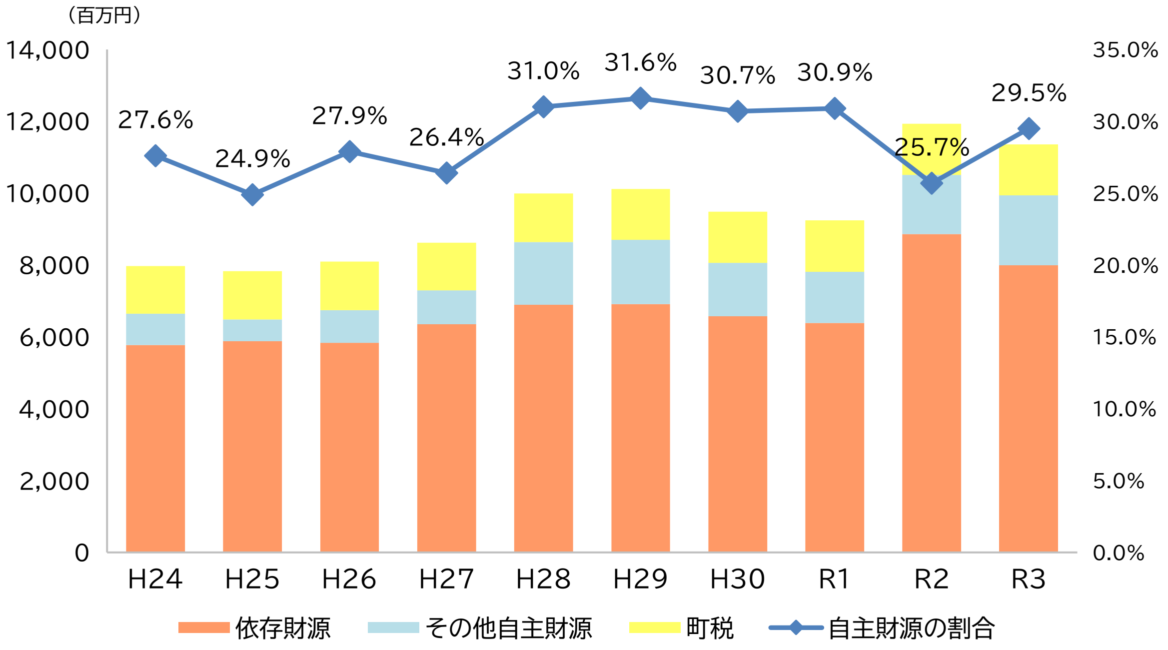




決算規模の推移（一般会計）



歳入決算額の推移（一般会計）



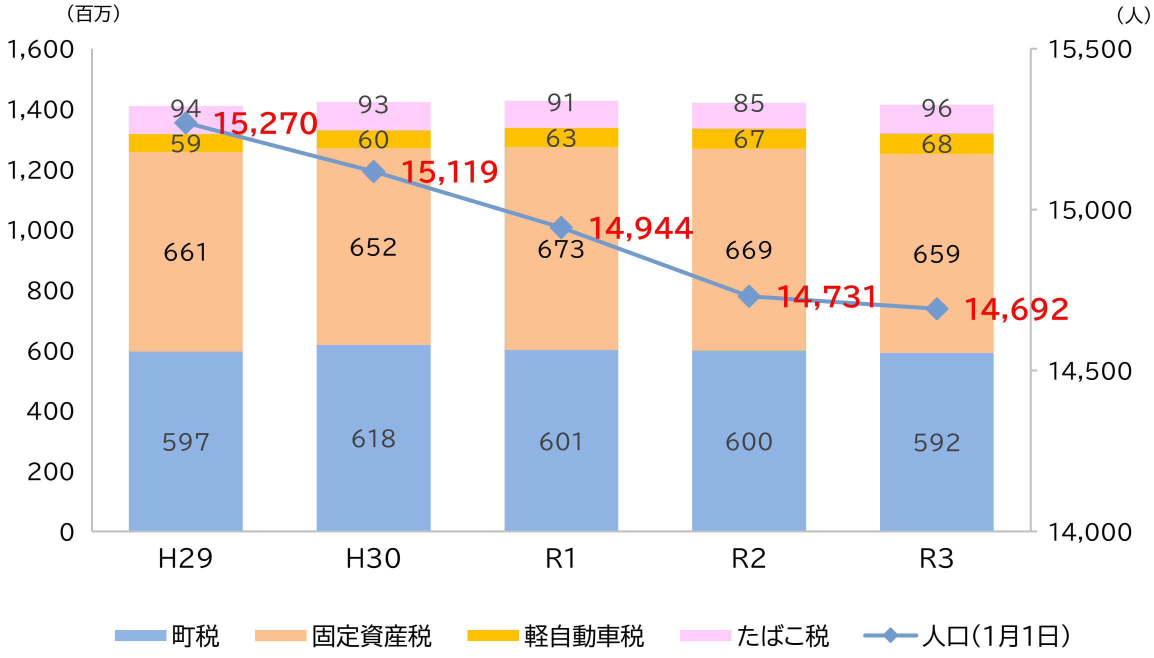
自主財源

町税や使用料、手数料など、地方自治体が自主的に集めることができる収入です。

依存財源

地方交付税や国庫支出金、借入金（町債）など、国や県から交付されたり割り当てられる収入です。

町税の推移



歳入の状況（普通会計）

（単位：千円、％）

区分	令和3年度決算額		令和2年度決算額		比　較	増減率
	金額（A）	構成比	金額（B）	構成比	（A－B）	（A／B）
1 自主財源	3,345,536	29.5	3,066,746	25.7	278,790	9.1
町税	1,415,310	12.5	1,420,950	11.9	△ 5,640	△ 0.4
寄附金	753,382	6.6	639,716	5.4	113,666	17.8
繰入金	453,586	4.0	534,304	4.5	△ 80,718	△ 15.1
繰越金	369,295	3.3	179,091	1.5	190,204	106.2
諸収入	252,640	2.2	198,758	1.7	53,882	27.1
使用料及び手数料	71,363	0.6	62,728	0.5	8,635	13.8
財産収入	19,313	0.2	22,892	0.2	△ 3,579	△ 15.6
分担金及び負担金	10,647	0.1	8,307	0.1	2,340	28.2
2 依存財源	8,001,499	70.5	8,863,587	74.3	△ 862,088	△ 9.7
地方交付税	3,977,293	35.1	3,712,875	31.1	264,418	7.1
国庫支出金	1,720,166	15.2	2,981,132	25.0	△ 1,260,966	△ 42.3
県支出金	949,073	8.4	744,351	6.2	204,722	27.5
町債	872,730	7.7	1,003,672	8.4	△ 130,942	△ 13.0
地方消費税交付金	318,156	2.8	292,456	2.5	25,700	8.8
地方譲与税	91,735	0.8	89,865	0.8	1,870	2.1
地方特例交付金	31,805	0.3	12,720	0.1	19,085	150.0
法人事業税交付金	12,136	0.1	4,171	0.0	7,965	191.0
株式等譲渡所得割交付金	9,024	0.1	6,090	0.1	2,934	48.2
配当割交付金	8,650	0.2	5,526	0.0	3,124	56.5
自動車税環境性能割交付金	7,325	0.1	6,850	0.1	475	6.9
交通安全対策特別交付金	1,975	0.0	2,184	0.0	△ 209	△ 9.6
利子割交付金	1,431	0.0	1,695	0.0	△ 264	△ 15.6
歳 入 合 計	11,347,035	100.0	11,930,333	100.0	△ 583,298	△ 4.9

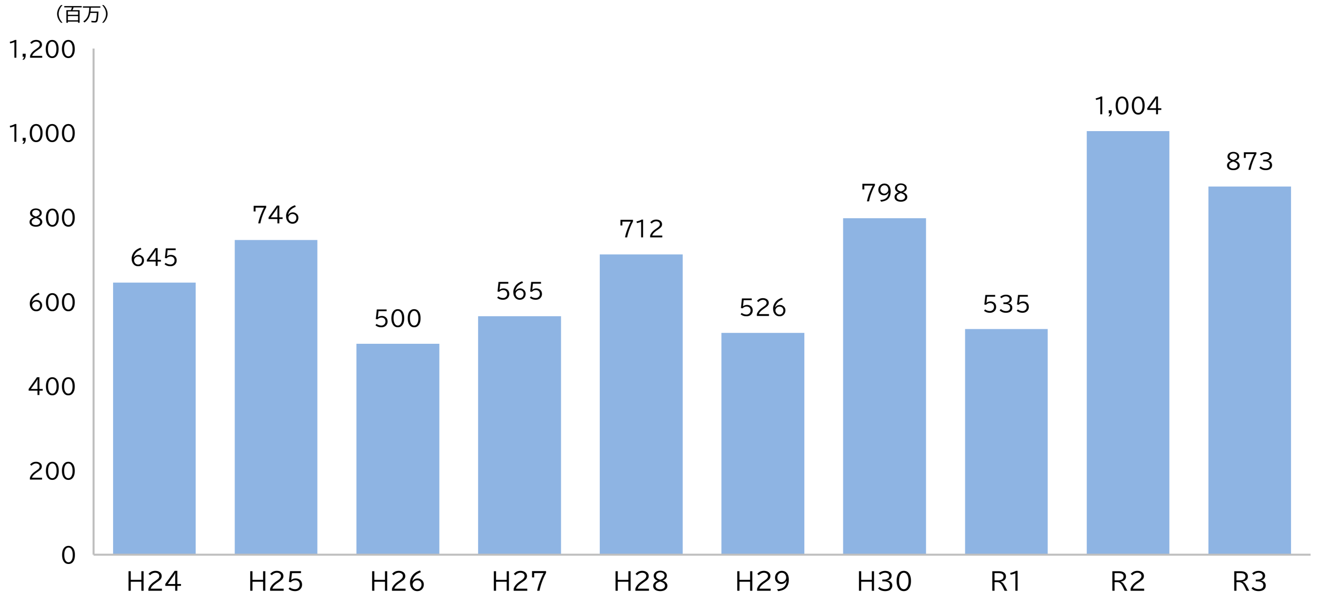
※引き上げ分の地方消費税収（186,964千円）は、社会保障施策に要する経費の財源となります。

地方債残高の状況(一般会計)

(単位:千円)

区　　　分	令和2年度末 現在高	令和3年度 発行額	令和3年度 元金償還額	令和3年度末 現在高
一般会計債	7,366,453	872,730	775,217	7,463,966
1　普通債	4,400,552	593,400	444,958	4,548,994
2　災害復旧	114,794	58,100	35,163	137,731
3　その他	2,851,107	221,230	295,096	2,777,241
(1) 減収補てん債	15,549	0	0	15,549
(2) 臨時財政対策債	2,818,476	221,230	289,470	2,750,236
(3) 減税補てん債	17,082	0	5,626	11,456

地方債年度別借入額の推移(一般会計)

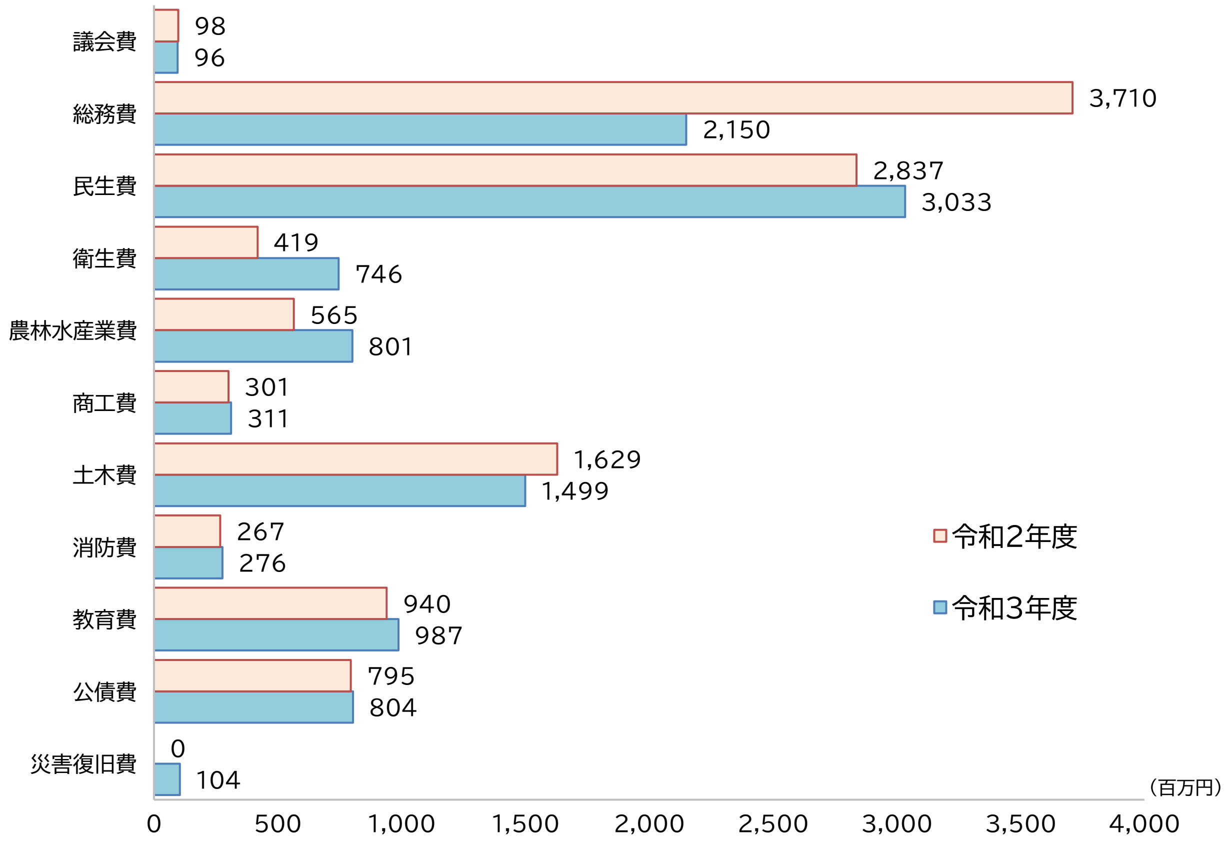


公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄うと、ほかのサービスが提供できなくなる可能性があります。また、整備した施設は現在の町民だけでなく、将来の町民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、町債(借金)を活用し、世代間で平等に費用を負担します。

普通会計歳出決算額(目的別)

(単位:千円、%)

目的別	令和3年度決算額		令和2年度決算額		比　較	増減率
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	(A−B)	(A／B)
1 議会費	97,357	0.9	97,785	0.9	△ 428	△ 0.4
2 総務費	2,150,238	19.9	3,709,695	32.1	△ 1,559,457	△ 42.0
3 民生費	3,033,425	28.1	2,837,264	24.5	196,161	6.9
4 衛生費	746,485	6.9	419,320	3.6	327,165	78.0
5 労働費	0	0.0	0	0.0	0	-
6 農林水産業費	800,554	7.4	565,048	4.9	235,506	41.7
7 商工費	310,850	2.9	300,728	2.6	10,122	3.4
8 土木費	1,499,137	13.9	1,628,892	14.1	△ 129,755	△ 8.0
9 消防費	276,012	2.5	267,026	2.3	8,986	3.4
10 教育費	986,726	9.1	940,208	8.1	46,518	4.9
11 公債費	803,888	7.4	795,072	6.9	8,816	1.1
12 災害復旧費	103,672	1.0	0	0.0	103,672	皆増
歳出合計	10,808,344	100.0	11,561,038	100.0	△ 752,694	△ 6.5

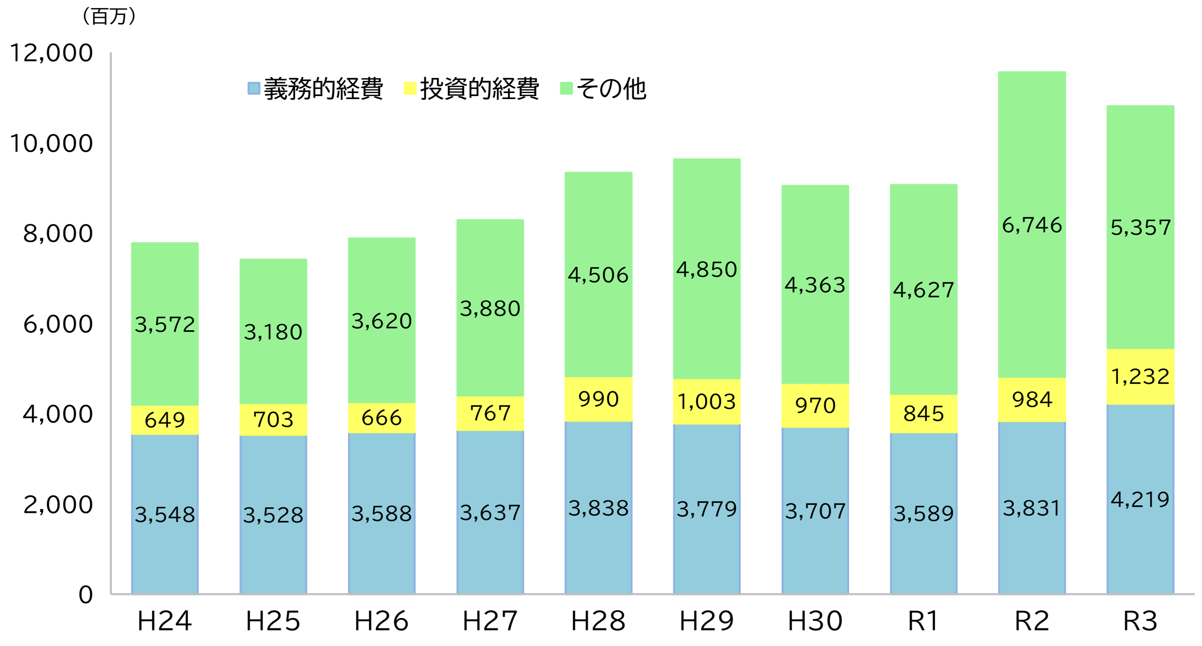


普通会計歳出決算額（性質別）の推移

（単位：千円、％）

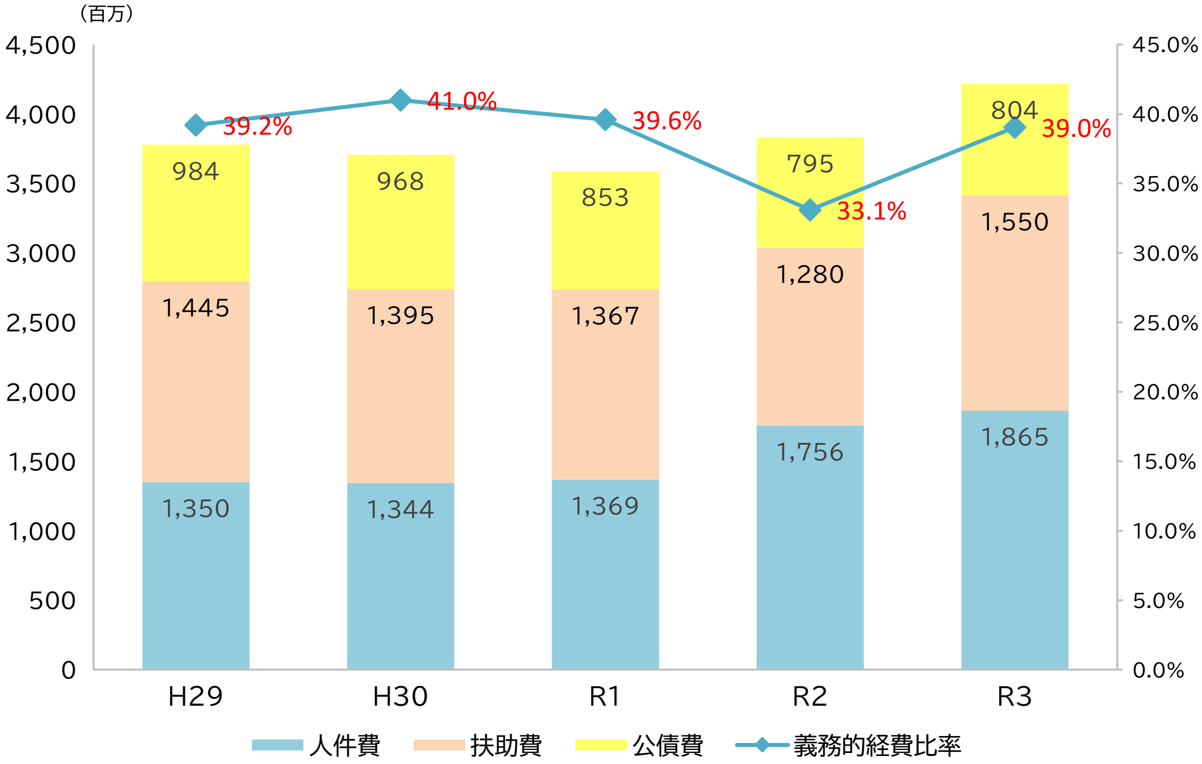
性質別	令和3年度決算額		令和2年度決算額		比　較	増減率
	金額（A）	構成比	金額（B）	構成比	（A－B）	（A／B）
1 人件費	1,864,801	17.3	1,756,311	15.2	108,490	6.2
2 物件費	1,415,322	13.1	1,343,336	11.6	71,986	5.4
3 維持補修費	72,096	0.7	53,100	0.5	18,996	35.8
4 扶助費	1,550,387	14.3	1,280,407	11.1	269,980	21.1
5 補助費等	2,164,412	20.0	3,749,460	32.4	△ 1,585,048	△ 42.3
6 普通建設事業費	1,128,224	10.4	983,614	8.5	144,610	14.7
7 災害復旧費	103,672	1.0	0	0.0	103,672	皆増
8 公債費	803,888	7.4	795,072	6.9	8,816	1.1
9 積立金	825,008	7.6	379,604	3.3	445,404	117.3
10 投資及び出資金	247,162	2.3	222,758	1.9	24,404	11.0
11 貸付金	16,900	0.2	357,000	3.1	△ 340,100	△ 95.3
12 繰出金	616,472	5.7	640,376	5.5	△ 23,904	△ 3.7
歳出合計	10,808,344	100.0	11,561,038	100.0	△ 752,694	△ 6.5

※下水道事業繰出金（796,638千円）を決算統計において補助費等（549,476千円）、投資及び出資金（247,162千円）として計上しています。



義務的経費の推移

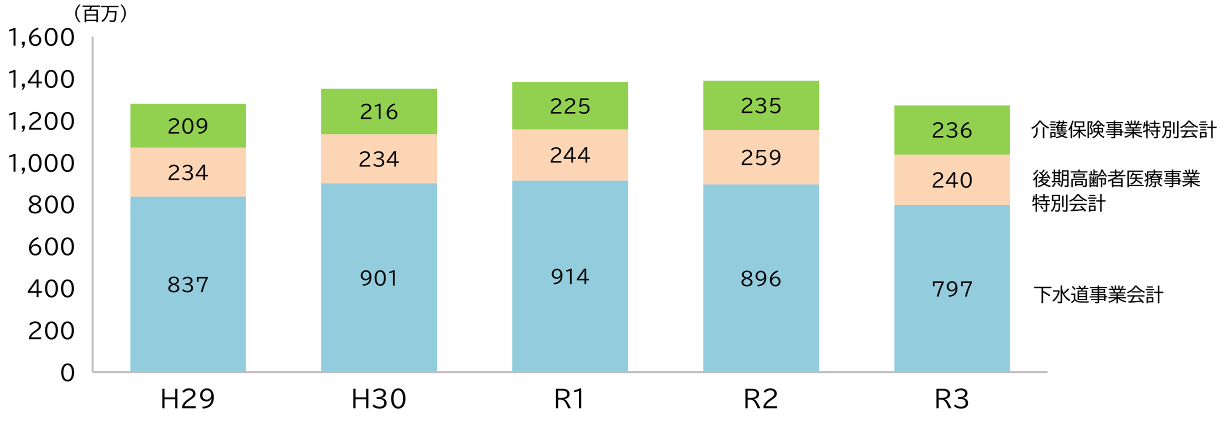
人件費、扶助費、公債費は毎年支出が義務付けられ、節減することが難しい経費です。
義務的経費の割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなります。そうなると、新たな事業やサービスなどが難しくなります。



繰出金の推移

（単位：千円）

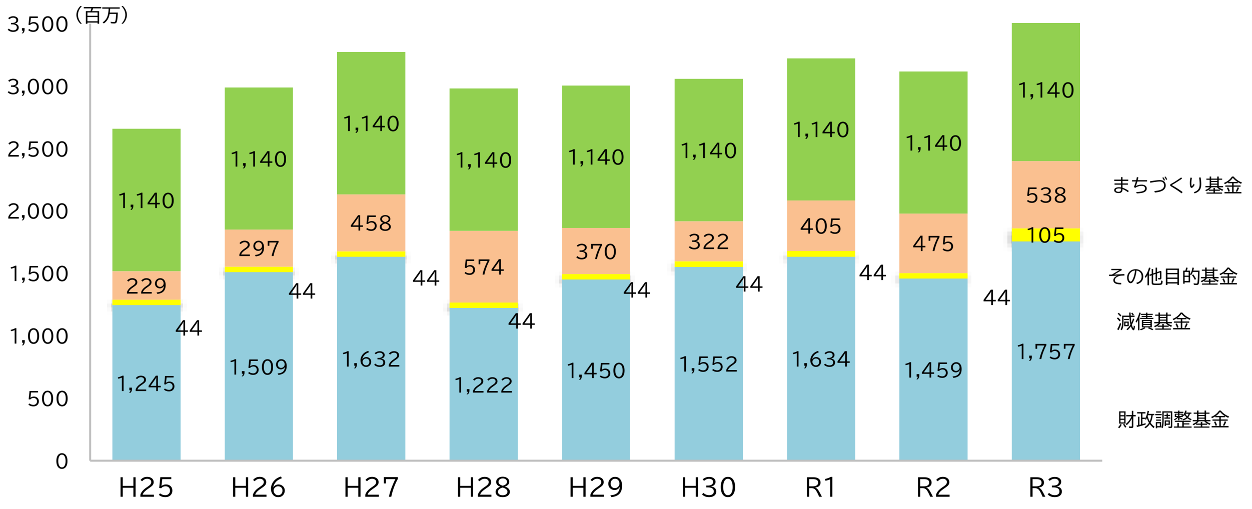
区　　分	H29	H30	R1	R2	R3
下水道事業会計	837,466	901,187	914,338	896,215	796,638
後期高齢者医療事業特別会計	234,233	234,429	244,212	258,908	239,602
介護保険事業特別会計	208,812	216,479	224,557	235,353	235,630
国民健康保険事業特別会計	148,089	134,117	133,980	132,539	128,061
農業集落排水事業特別会計	10,464	9,135	9,209	9,135	11,916
合併処理浄化槽事業特別会計	4,440	3,995	4,609	4,441	1,263
大栄歴史文化学習館特別会計	13,618	12,932	0	0	0
合　　計	1,457,122	1,512,274	1,530,905	1,536,591	1,413,110



基金残高の推移

（単位：千円）

区　　分	H29	H30	R1	R2	R3
財政調整基金	1,450,063	1,551,691	1,633,660	1,459,187	1,756,617
減債基金	44,036	44,049	44,058	44,062	104,680
その他目的基金	370,044	321,750	404,732	474,502	537,876
まちづくり基金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000
合　　計	3,004,143	3,057,490	3,222,450	3,117,751	3,539,173

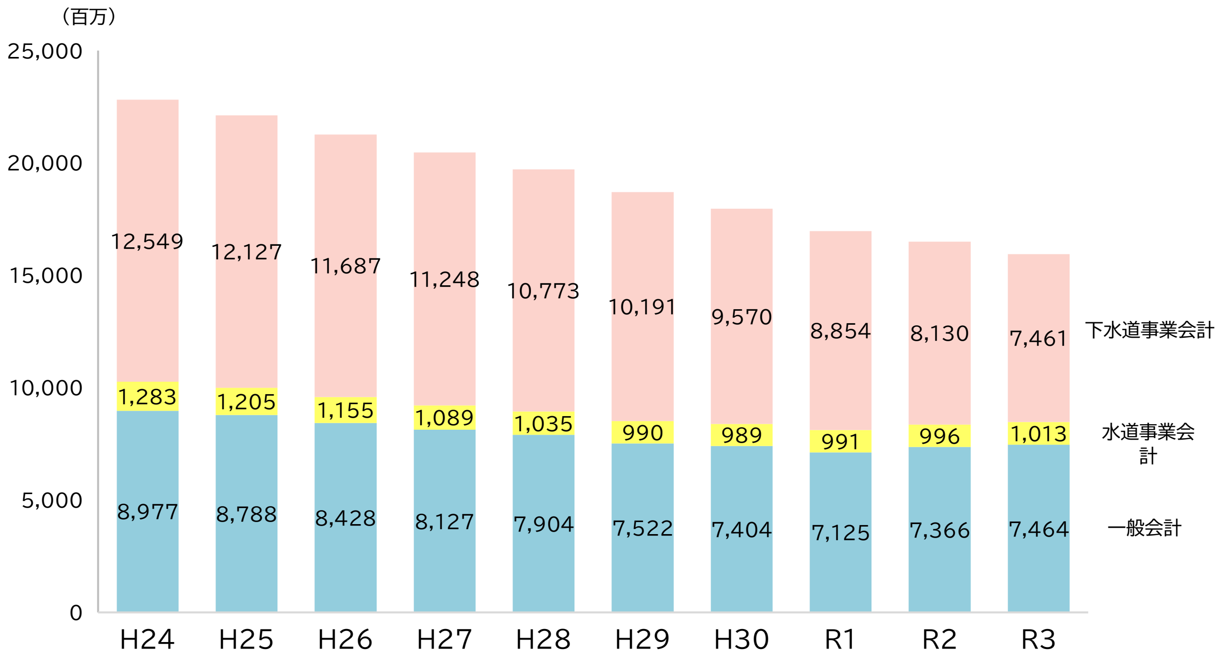


地方債残高の推移（各会計）

会　計　名		H29	H30	R1	R2	R3
一　般　会　計		7,522	7,404	7,125	7,366	7,464
特　別　会　計		116	104	92	80	69
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	3	2	1	0	0
	農業集落排水事業特別会計	70	60	51	42	33
	介護保険事業特別会計	0	0	0	0	0
	合併処理浄化槽事業特別会計	43	42	40	38	36
	大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
公　営　企　業　会　計		11,241	10,559	9,845	9,126	8,474
	水道事業会計	990	989	991	996	1,013
	下水道事業会計	10,191	9,570	8,854	8,130	7,461
	風力発電事業会計	60	0	0	0	0
合　計		18,879	18,067	17,062	16,572	16,007

※ 一般会計及び特別会計は出納閉鎖の5月末時点。

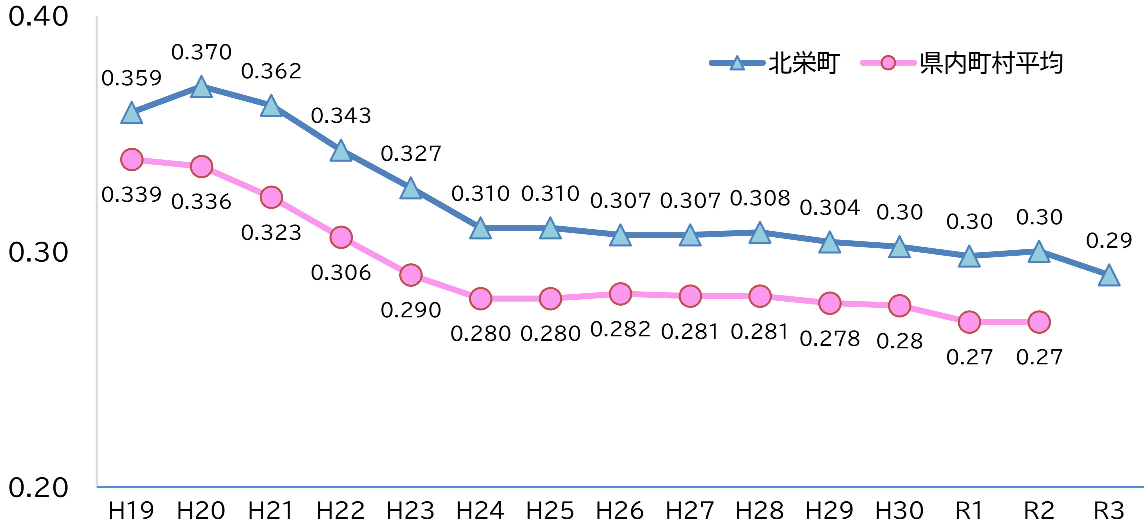
※ 公営企業会計は3月末時点。（下水道事業会計、風力発電事業会計はR1から公営企業会計に移行。）



財政力指数の推移

財政力指数

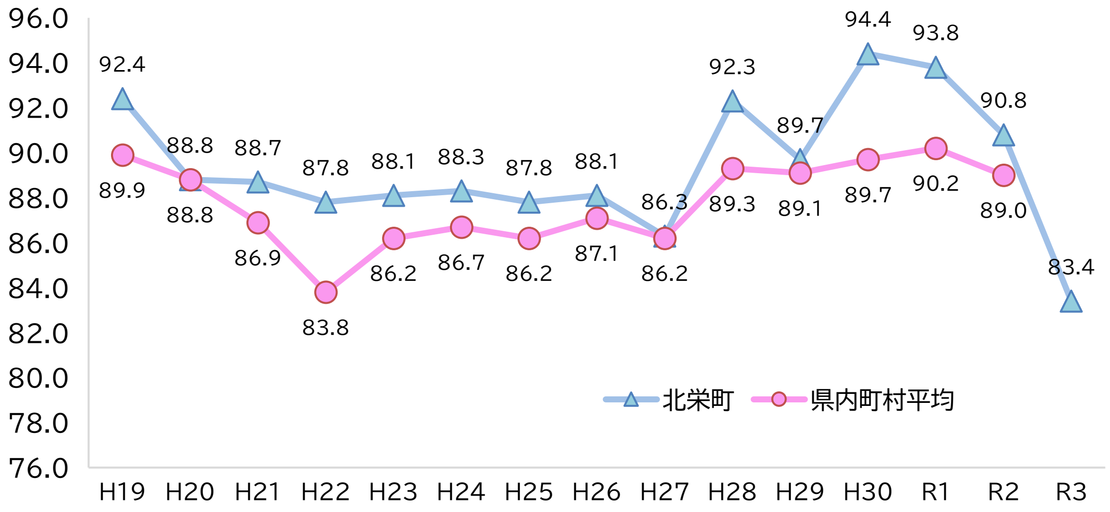
地方公共団体の財政力を示す指数。標準的な行政サービスを行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを示します。
★この数値が大きいほど財政力が強く、1未満の場合は国から普通交付税が交付されます。



経常収支比率の推移

経常収支比率

地方税、普通交付税のように使途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように義務的に支出される経費に充てた割合。
★財政構造の弾力性を示す指標で、この比率が低いほど弾力性が大きいことを示します。



1 健全化判断比率及び資金不足比率の概要

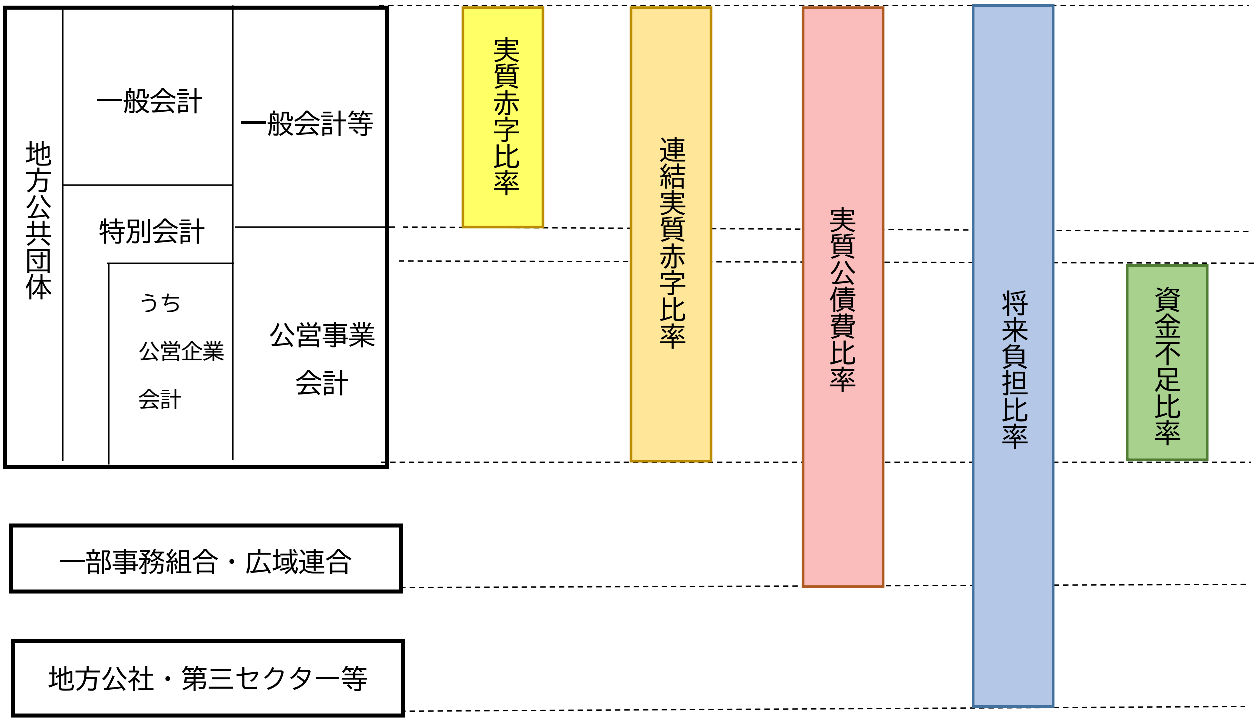
１　概　要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年 6 月 22 日公布)」に基づき算定するもので、地方公共団体の財政の健全度を表す「健全化判断比率（①実質赤字比率　②連結実質赤字比率　③実質公債費比率　④将来負担比率）と公営企業の健全度を表す「資金不足比率」を公表します。

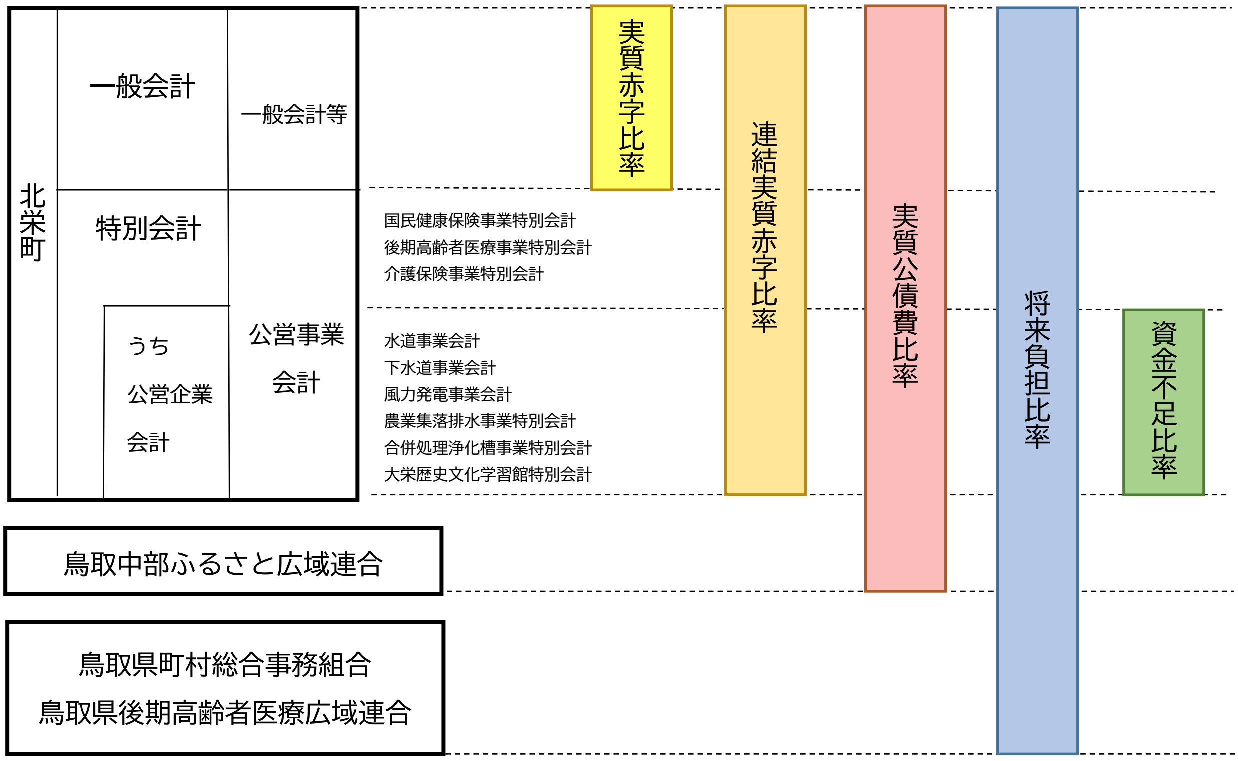
※毎年度、監査委員の審査に付した上で、議会に報告し、公表しなければならないとされています。

２　対象会計

≪総務省で示している対象会計≫



≪北栄町の会計に置き換え≫



Ⅱ　令和３年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果

令和３年度決算に基づいて、健全化判断比率を算定したところ、いずれも国の示した早期健全化基準を大きく下回っており、「健全」な状況となっています。

指標		令和３年度	令和２年度	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	―（赤字なし）	―（赤字なし）	14.57%※	20%
	②連結実質赤字比率	―（赤字なし）	―（赤字なし）	19.57%※	30%
	③実質公債費比率	10.4%	12.1%	25%	35%
	④将来負担比率	64.8%	79.3%	350%	
⑤資金収支比率		―（資金不足なし）	―（資金不足なし）	経営健全化基準 20%	

※実質収支または連結実質収支は黒字であるため、「－」表示となります。

①実質赤字比率

実質赤字比率とは、地方公共団体の一般会計等の赤字額を標準財政規模の額で除して赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額（実質収支額）}}{\text{標準財政規模}}$$

（単位：千円）

区　分		実質収支額			
		令和３年度	令和２年度	増減額	増減率
一般会計等	一般会計	377,790	240,434	137,356	57.1%
	住宅新築資金等特別会計	—	0	—	—
計		377,790	240,434	137,356	
標準財政規模		5,737,156	5,505,444	231,712	4.2%
実質赤字比率（%）		—	—	—	—

※実質収支＝歳入総額—歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

※住宅新築資金等特別会計は令和 2 年度末廃止

令和 3 年度の実質赤字比率は、一般会計等の実質収支が黒字だったため、算定されませんでした。

②連結収支赤字比率

連結実質赤字比率とは、すべての会計の黒字や赤字を合算し、標準財政規模の額で除して地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額（実質収支額または資金不足額・剰余額）}}{\text{標準財政規模}}$$

（単位：千円）

区　　分	実質収支額		
	令和３年度	令和２年度	増減率
一般会計	377,790	240,434	57.1%
住宅新築資金貸付事業特別会計	－	0	－
国民健康保険事業特別会計	104,622	86,243	21.3%
後期高齢者医療事業特別会計	313	16	1856.3%
介護保険事業特別会計	69,064	44,209	56.2%
水道事業会計	350,574	303,349	15.6%
下水道事業特別会計	265,737	268,087	△0.9%
風力発電事業会計	306,591	324,509	△5.5%
農業集落排水事業特別会計	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	0	0	0
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0
計	1,474,691	1,266,847	

標準財政規模	5,737,156	5,505,444	4.2%
実質赤字比率（%）	—	—	—

令和３年度の連結実質赤字比率は、すべての会計において、実質収支は黒字で資金不足が生じた会計はなかったため、算定されませんでした。

③実質公債費比率

実質公債費比率とは、借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し、赤字団体になる可能性が高まります。

$$実質公債費比率 = \frac{公債費及び公債費に準ずる額－特定財源－普通交付税算入額}{標準財政規模－普通交付税算入額}$$

分子の計算

（単位：千円）

項　　目	令和３年度	令和２年度	令和元年度	増減額
①公債費の元利償還金の額	803,888	795,072	853,230	8,816
②積立不足額を考慮して算定した額	0	0	0	0
③満期一括償還の元金償還金	0	0	0	0
④公営企業の公債費に要する繰入金	701,214	813,701	826,227	△112,487
⑤一部事務組合等の公債費負担金等	18,365	15,505	14,081	2,860
⑥公債費に準ずる債務負担行為	1,452	1,714	1,714	△262
⑦一時借入金利子	0	0	0	0
公債費等額（①～⑦の計）A	1,524,919	1,625,992	1,695,252	△101,073
⑧特定財源　B	3,473	3,120	3,841	353
⑨普通交付税算入額　C	1,130,858	1,148,840	1,185,107	△17,982
分子　計（A－B－C）	390,588	474,032	506,304	△83,444

分母の計算

項　　目	令和３年度	令和２年度	令和元年度	増減額
⑩標準財政規模　D	5,737,156	5,505,444	5,426,216	231,712
⑪普通交付税算入額　E	1,130,858	1,148,840	1,185,107	△17,982
分母　計（D—E）	4,606,298	4,356,604	4,241,109	249,694

過去 3 カ年の実質公債費比率は、令和元年度が 11.9%、令和 2 年度が 10.9%、令和 3 年度が 8.5%で、３か年の平均は 10.4%となり、早期健全化基準の 25.0%を大きく下回っており、良好な状況となっています。

◆単年度比率

令和元年度＝ (A 1,695,252－B 3,841—C 1,185,107) / (D 5,426,216—E 1,185,107) ＝ 506,304 / 4,241,109 ＝11．9%

令和２年度＝ (A 1,625,992－B 3,120—C 1,148,840) / (D 5,505,444—E 1,148,840) ＝ 474,032 / 4,356,604 ＝10．9%

令和３年度＝ (A 1,524,919－B 3,473—C 1,130,858) / (D 5,737,156—E 1,130,858) ＝ 390,588 / 4,606,298 ＝　8．5%

令和３年度実質公債費比率（３カ年平均）＝<u>１０．４％</u>

令和 3 年度決算では、令和 2 年度の 12.1%に対し 1.7%減の 10.4%となりました。また、単年度の比率は、令和 2 年度の単年度比率に対して 2.5%の減となっています。

単年度の比率が、令和 2 年度と比較して減となった主な原因は次のとおりです。

（分子：△83,530 千円）

・公営企業の公債費の財源として認められる繰出金が 112,487 千円の減

（分母：＋249,694 千円）

・標準財政規模が 231,712 千円の増

以上のように、分子の減少、分母の増加により、単年度比率では約 2.4%の減少となっています。過去のピーク時である平成 21 年度の 22.4%と比較すると、12%減少しています。

④将来負担比率

将来負担比率とは、地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。この比率が高い場合は、標準財政規模に比べ将来負担額が大きいということであり、今後、実質公債費比率が増大することにより、財政上の問題が生じる可能性が高くなります。

将来負担比率 ＝ 将来負担額－充当可能財源等 ／ 標準財政規模－算入公債費等の額

分子の計算　（単位：千円）

項　　目	令和３年度	令和２年度	増減額
①地方債の残高	7,463,965	7,366,453	97,512
②債務負担行為に基づく支出予定額	4,322	5,772	△1,450
③公営企業債等繰入見込額	6,433,343	7,329,515	△896,172
④組合等負担等見込額	232,237	265,084	△32,847

⑤退職手当負担見込額	798,437	774,024	24,413
⑥設立法人の負債額等負担見込額	0	0	0
⑦連結実質赤字額	0	0	0
⑧組合等実質赤字負担見込額	0	0	0
将来負担額（①～⑧の計）A	14,932,304	15,740,848	△885,297
⑨充当可能基金	2,580,529	2,208,698	371,831
⑩充当可能特定収入	365,426	368,118	△2,692
⑪基準財政需要額算入見込額	8,998,822	9,708,972	△710,160
充当可能財源等Ｂ（⑨～⑪の計）	11,944,777	12,285,788	△341,011
分子　計（Ａ－Ｂ）	2,987,527	3,455,060	△467,533

分母の計算

項　　目	令和３年度	令和２年度	増減額
⑫標準財政規模　Ｃ	5,737,156	5,505,444	231,712
⑬普通交付税算入額　Ｄ	1,130,858	1,148,840	△17,982
分母　計（Ｃ－Ｄ）	4,606,298	4,356,604	249,694

◆将来負担比率

$$将来負担比率＝\frac{Ａ\ 14,932,304－Ｂ\ 11,944,777}{Ｃ\ 5,737,156－Ｄ\ 1,130,858}＝\frac{2,987,527}{4,606,298}＝６４．８％$$

令和３年度将来負担比率＝６４．８％

令和 3 年度決算では、令和 2 年度の 79.3%に対し 14.5%減の 64.8%となりました。
令和 2 年度と比較して減となった主な原因は次のとおりです。

（分子：△544,286 千円）
- 公営企業の公債費の財源として認められる繰出金が 896,172 千円の減
- 基準財政需要額算入見込額が 710,160 千円の減

（分母：＋249,694 千円）
- 標準財政規模が 231,712 千円の増

以上のように、分子の減少、分母の増加により、単年度比率では 14.5%の減少となっています。過去のピーク時である平成 20 年度の 205.3%と比較すると、140.5%減少しています。今後しばらくは現在の水準が続くと見込んでいます。

⑤資金不足比率の状況

資金不足比率とは、公営企業の資金不足額または剰余額を、公営企業の事業規模である料金収入等の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額または剰余額}}{\text{事業規模}}$$

（単位：千円）

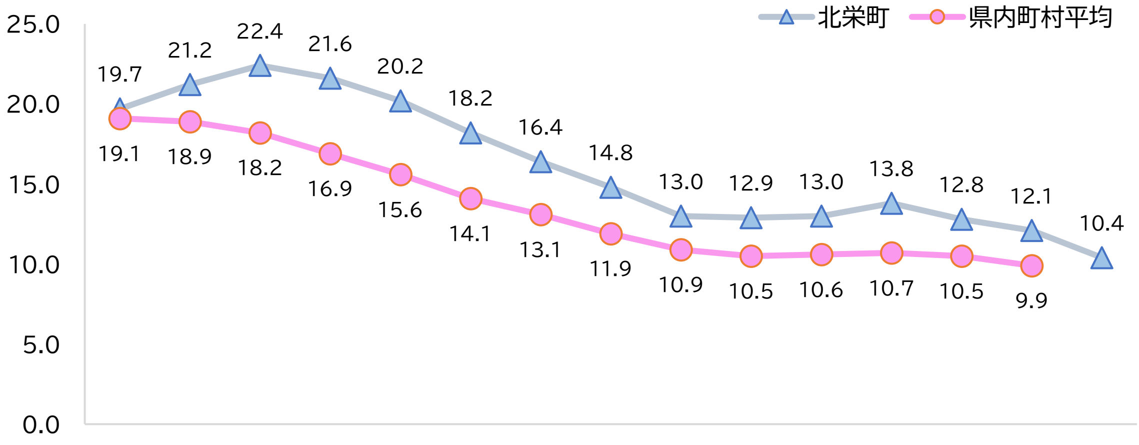
区　分	令和３年度			令和２年度		
	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金不足比率	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金不足比率
水道事業会計	350,574	238,199	—	303,349	212,186	—
下水道事業会計	265,737	262,620	—	268,087	261,658	—
風力発電事業会計	306,591	371,400	—	324,509	417,724	—
農業集落排水事業特別会計	0	4,415	—	0	4,413	—
合併処理浄化槽事業特別会計	0	2,864	—	0	2,836	—
大栄歴史文化学習館特別会計	0	46,949	—	0	39,804	—

令和 3 年度の資金不足比率は、すべての会計において、資金不足はなかったため、算定されませんでした。

実質公債費比率の推移

実質公債費比率

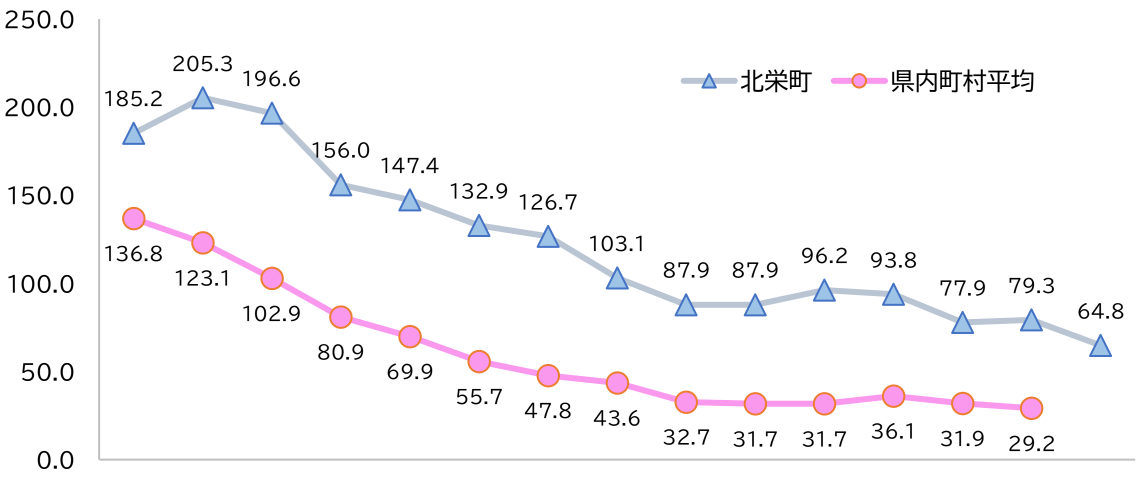
公債費や公債費に準じた経費を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、財政の硬直化をします。
★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払いなどのその年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いことを示します。



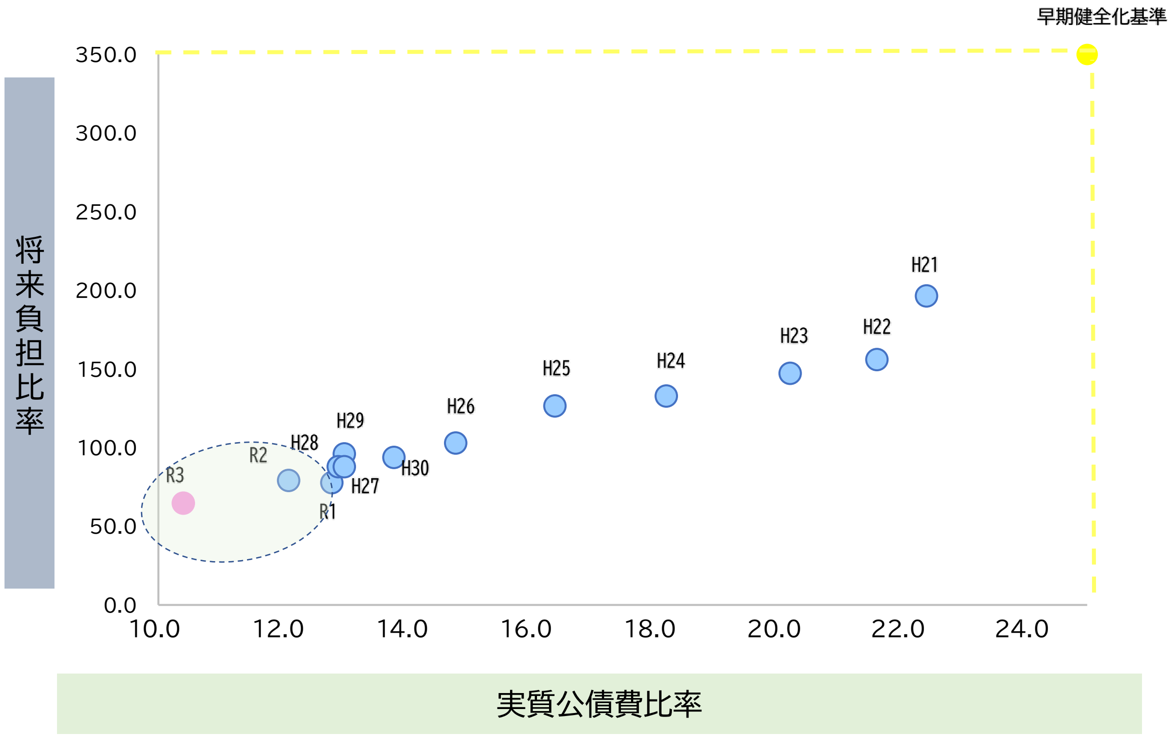
将来負担比率の推移

将来負担比率

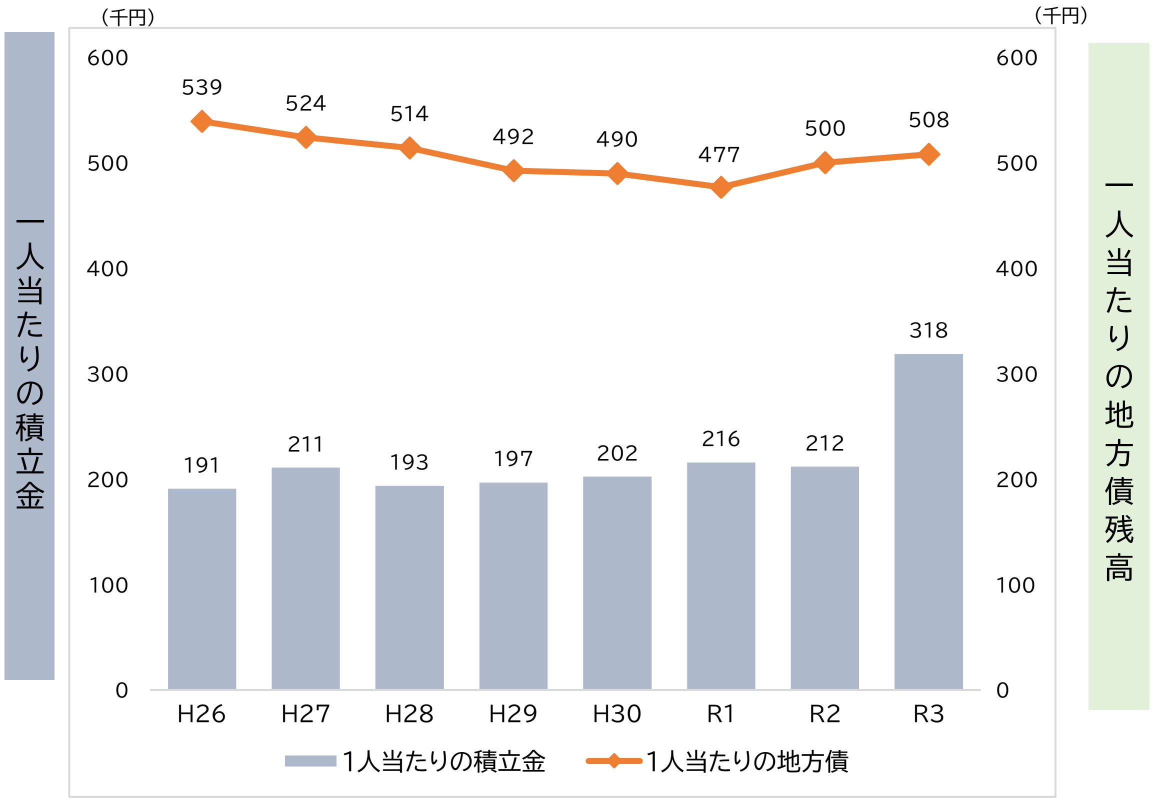
地方債の現在高など、将負担すべき債務を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、将来負担の程度を把握するものです。
★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払い残高などが、年収の3.5倍以上になると、経済的苦境に陥る状態にあることを示します。



実質公債費比率と将来負担比率における状況



町民1人当たりの地方債・積立金の推移（普通会計）



北栄町役場

大栄庁舎 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1
電話番号:0858-37-3111
FAX番号:0858-37-5339

北条支所 〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下121-1
電話番号:0858-36-3111
FAX番号:0858-36-4595